

集合住宅用セキュリティシステム  
デジタルペア線式マンションシステム(アギーオ)用  
取付工事説明書



集中制御装置	VG-C103D
OLCユニット	VG-C987D
3LCユニット	VG-C984DA
増設ユニット用ケース枠	VG-C988

共同玄関子機	VG-K547CD「 」, K548CD「 」
	VL-575A「 」, 576A「 」
	VL-545C「 」, 546C「 」

管理事務室親機	VG-E485A
変換器	VG-R300DA

## 住戸番号の設定は不要

### 工事をなさる方へのお願い

①AC電源、コンピューター、テレックス等の配線と集中制御装置からの各種接続ケーブル(管理事務室親機との配線、共同玄関子機との配線等)は30cm以上離して配線してください。

同一配管内で通線したり、近接していると、機器の動作に障害を与えます。

②集中制御装置のシグナルグランド端子は、コンピューター、テレックス等のOA機器との同一アースを避け、専用アースとしてD種(100以下)接地してください。

③集中制御装置を接続するシステムの場合は

- ・中央制御装置(VG-C101DA)は別名スレーブ側
- ・集中制御装置(VG-C103D)は別名マスター側となります。

接続されている全ての中央制御装置側は、下記のことを行ってください。

- ・OLCユニット(VG-C987D)を実装し、プログラム番号90を実装(1)に設定。
- ・プログラム番号91を、その中央制御装置のOLCメインラインが接続されている集中制御装置の系統番号に設定してください。

集中制御装置側はプログラム番号01、11~18をご確認ください。

中央制御装置と2ペア(2系統)接続することにより、通話や映像の同時接続可能な本数を2倍にすることもできます。ただし機器の接続に制限があります。

④変換器にアドレス設定は不要です。

ただし、共用部機器に接続するか住戸機器に接続するかを変換器内部のSW1にて設定してください。

⑤共用部機器は1系統~8系統の全ての端子に接続可能です。

⑥本書は、プログラム設定記録保存用としてご使用願います。

工事完了後、動作テスト確認、仕様の変更(プログラム変更登録)、経歴、各種検査、定期点検、増改築工事等の際に必要な為、保管願います。

⑦OLCユニットの実装状態に合わせてプログラム番号90を速やかに設定してください。

設定内容と実装状態が異なる場合、制御装置が定期的リセットされ設定ができない場合があります。又、システムは停止状態となります。

⑧集中制御装置を接続したシステムの場合は、中央制御装置、集中制御装置共にアナログ映像を使用するテレビカメラ付共同玄関子機(VL-545C「 」、546C「 」)を接続できません。

# 目 次

1	工事作業安全上のご注意 .....	4 ~ 10
2	工事完了後のお願い .....	11
3	点検・サービス時のお願い .....	11
4	機器構成とシステム図 .....	12 ~ 13
5	システム系統図および配線系統図 .....	15
6	24V電源への接続台数について.....	16
7	配線距離と使用する線材について.....	17 ~ 22
8	配線工事上の注意 .....	23 ~ 28
9	配線の圧着接続子について.....	29
1 .	集中制御装置 VG-C103D .....	30 ~ 35
	1 . 集中制御装置の取付方法 .....	30 ~ 32
	2 . 各種ユニットの配置について .....	33
	3 . 端子配置および雑音防止コアの取付方法 .....	34 ~ 35
2 .	OLCユニット VG-C987D .....	36 ~ 37
	1 . 概要.....	36
	2 . OLCユニットの外観.....	36
	3 . OLCユニットの取付方法.....	37
3 .	3LCユニット VG-C984DA .....	38 ~ 39
	1 . 概要.....	38
	2 . 3LCユニットの外観.....	38
	3 . 3LCユニットの取付方法.....	39
4 .	増設ユニット用ケース枠 VG-C988 [ 別売 ] .....	40
	1 . 概要.....	40
	2 . 増設ユニット用ケース枠の取付方法.....	40
5 .	共同玄関子機 VL-575A, VL-576A, VG-K547CD, VG-K548CD .....	41
6 .	管理事務室親機 VG-E485A .....	41
7 .	変換器 VG-R300DA .....	41
8 .	集住映像伝送アダプター VG-R900D .....	42

9.	工事後の点検およびサービスについて	42 ~ 49
	1. 各端末～集中制御装置間デジタル通信線路の配線チェック方法	42
	2. 集中制御装置のメイン基板MPU部のLEDについて	42
	3. 3LCユニットおよびOLCユニットのLEDについて	42
	4. 変換器のLEDについて	42
	5. プログラムボード異常表示	43 ~ 44
	6. 異常表示内容と主な対応処置箇所	45 ~ 48
	7. 中央制御装置のメモリーバックアップ用電池の交換方法	49
	8. 絶縁抵抗試験（500Vメガテスト）/耐電圧試験（AC1kV）について	49
	9. 共同玄関子機について	49
	10. 管理事務室親機のメモリーバックアップについて	49

10.	機器間の呼び出し制限について	50 ~ 51
	1. 中央制御装置に接続された共用部機器から	50
	2. 中央制御装置に接続された室内親機から	50
	3. カラーモニター室内親機から	50
	4. 集中制御装置に接続された管理事務室親機から	51

**集中制御装置 VG-C103D用**

1	プログラム表の作成と登録	52 ~ 77
2	プログラム登録（変更）マニュアル	78 ~ 92

**各種アダプターの接続**

データ入出力アダプター（VL-M887）  
 宅配ロッカーアダプター（VL-M889）  
 通報機アダプター（VL-4852XB）

}他、各種アダプターの接続についてはそれぞれ添付の取付工事説明書を参照してください

# 1 工事作業安全上のご注意

必ずお守りください

工事作業時の事故防止と、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った工事作業をした時に生じる危害や、損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



**警告**

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



**注意**

この表示の欄は、「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵で区分し説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



**警告**

## AC100V電源接続について

電源はAC100Vを使用する。



指定以外の電圧や電源で使用すると、火災や感電の原因となります。

・電源配線工事には、電気工事士の資格が必要です。販売店に相談してください。

指定以外の端子に電気 (AC100V) を接続しない。



ショートして火災や感電の原因となります。

禁止

電源電圧 (AC100V) 直結端子の所に指定以外の電圧 (例AC200V) を接続しない。



指定以外の電圧や電源で使用すると火災や感電の原因となります。

禁止

・電源配線工事には、電気工事士の資格が必要です。販売店に相談してください。

たこ足配線はしない。



過熱してショートや火災の原因となります。

禁止

集中制御装置内部の電源ユニットに触れると感電の恐れがあります。



また、電源ユニットは、通電中非常に高熱になりますので、電源を「OFF」にした直後も注意してください。

# 警告

## 配線工事について

電源コードの上に重い物を乗せたり傷をつけたり、無理に曲げたり引っ張ったりしない。



ショートして火災や感電の原因となります。

禁止

- ・コードが損傷した場合は、ただちに電源プラグを抜いて、販売店に相談してください。

電源（AC100V）を入れたまま配線工事をしない。



感電や故障の原因となります。

禁止

- ・電源配線工事には、電気工事士の資格が必要です。販売店に相談してください。

床上配線でふまれる恐れのある場合は、ワイヤープロテクターで保護する。



ショートし火災、故障の原因となります。

屋外配線は、雷サージ保護の保護器を使用する。



雷によって周囲破損や火災の原因となります。

アースを取付ける。D種接地（100以下）  
（アース端子設置規定機器）



故障や漏電のときに感電の原因となります。

アース線接続

- ・ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線に接続しないでください。（法令で禁止されています）
- ・取付けは販売店にご相談ください。

雷のときは架空配線工事をしない。



雷によって感電や火災の原因となります。

禁止

## 警告

### 配線工事について

付属品または専用品以外を接続しない。



禁止

指定品以外の機器を使用すると火災や感電の原因となります。

誤配線やショート等がないことを確認してからAC100Vを接続してください。



感電や火災の原因となります。

チャイム線など既設の配線を利用する場合は、AC100Vが通電されていないことを確認する。



そのまま使用すると、感電、破損の原因となります。

### 機器の設置について

据置設置時、指定の固定方法で据置する。



ゆるみやはずれで転倒し、事故の原因となることがあります。

壁取付時、質量に耐える指定の取付方法で取付ける。



ゆるみやはずれで落下し、事故の原因となることがあります。

高所設備（2m以上）の取付時、必ず安全装置を使用する。



落下によりけがの原因となります。

放熱のための通風孔はふさがない。



禁止

内部に熱がこもり、火災の原因となります。

・周囲30cm以内に物を置かないでください。

# 警告

## 電池その他について

電池は+と-を正しく入れる。



電池の発熱や液漏れにより、火災やけが、周囲汚損の原因となります。

指定以外の電池を使ったり違う種類の電池を使用しない。



電池の発熱や液漏れにより、火災やけが、周囲汚損の原因となります。

禁止

指定以外のヒューズは使用しない。



指定以外のヒューズを使うと火災の原因となります。

禁止

・電源配線工事には、電気工事士の資格が必要です。販売店に相談してください。

接続を行うとき以外は、本体をあけたり、分解・改造しない。



感電や火災の原因となります。

分解禁止

・内部の点検や修理などは、販売店に相談してください。

充電、ショート、分解、変形、加熱、火に入れるなどしないでください。



この電池は、リチウム、有機溶媒など可燃性物質を内蔵しており、発火、発熱、破裂の原因となります。

禁止

電池は幼児の手の届かない所に置いてください。



強制

・万一飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。

## ⚠ 注意

### 機器の設置場所について

浴室などの湿気が多い場所やホコリの多いところに置かない。



火災や感電の原因となります。

禁止

直射日光、暖房設備、ボイラーなどの特に温度の上がる場所に置かない。



機器表面が変形・劣化するほか、故障の原因となります。  
(室内温度:0 ~ 40 以内  
(非結露)にて使用してください。)

禁止

水や薬品のかかる場所に置かない。



感電や火災の原因となります。

禁止

振動・衝撃のある場所に置かない。



破損や故障の原因となります。

禁止

不安定な場所に置かない。



バランスがくずれて倒れ、事故の原因となります。

禁止

硫化水素、リン、アンモニア、硫酸、炭素、酸、塵埃、有害ガス等の発生する場所に置かない。



機構および接点部に悪影響を与えるほか故障の原因となります。

禁止

磁石などの磁気を帯びたものの近くに置かない。



雑音の発生や故障の原因となります。また、映像のある機器では、画像のみだれなどの原因となります。

禁止

高周波マシン、電気溶接機など電磁波発生源のある場所に置かない。



電磁波の輻射ノイズにより、故障や誤動作の原因となります。

禁止



## ⚠ 注意

### 機器の設置場所について

ラジオ、ラジオ放送（短波放送含む）アンテナ、テレビ、コンピュータ、OA機器、電子レンジ、エアコンなどから2m以上離す。（CB等の電波影響がないことを確認してください）



機器からの輻射ノイズにより悪影響をあたえる原因となります。

集中制御装置の周囲30cm四方には、物を置かないでください。



周囲30cm以内に物を置くと放熱効果が妨げられ、火災や故障の原因となります。

禁止

集中制御装置の平置は絶対にしない。



集中制御装置は壁掛け（2方向指定）を前提として設計されています。著しく寿命が低下し、故障の原因となります。

禁止

### 配線工事について

土中埋没配線する場合は、土中での接続はしない。



絶縁劣化により、感電や故障の原因となります。

禁止

土中埋没配線する場合は、保護管を使用する。



絶縁劣化により、感電や故障の原因となります。

# お願い

配線工事及び機器取付工事には下記の資格が必要です。  
電気配線工事...「電気工事士」

電気設備技術基準189条による施工を行う。

- ・使用する埋込みボックスに、堅牢な隔壁を設ける。
- ・金属ボックスを使用する場合はD種接地を行う。
- ・線材は600V以上の絶縁電線を使用する。

電源について:電源コードは必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続する。

- (1) 電源コンセントの近くに設置し、遮断装置(電源プラグ)に容易に手が届くこと。
- (2) 接点距離が3.0mm以上有する分電盤のブレーカーに接続する。

ブレーカーは保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。

## 2 工事完了後のお願い

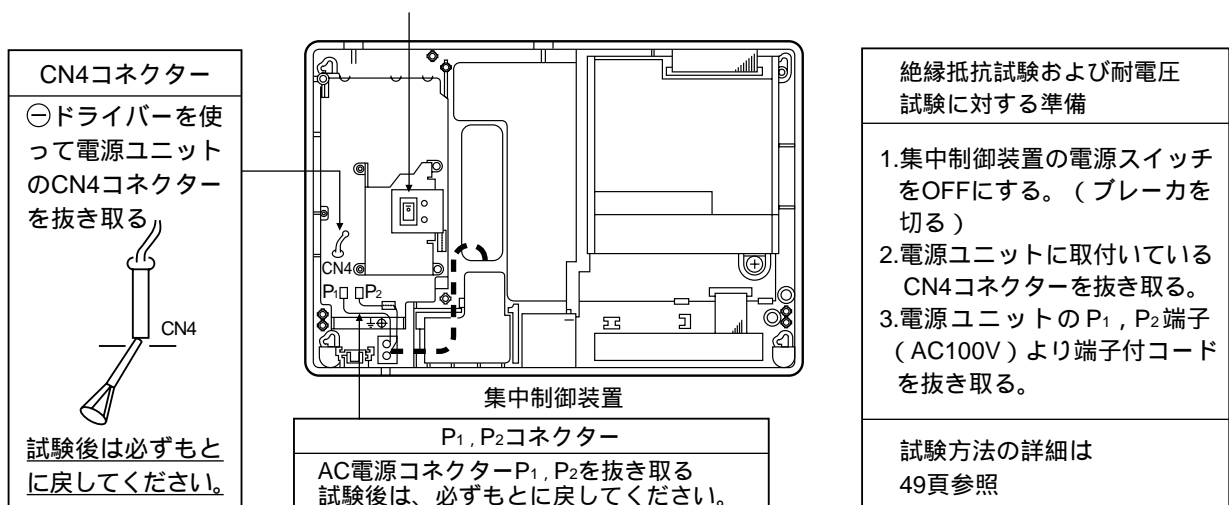
必ずお守りください

1. 誤配線やショート等がないことを確認してからAC電源を接続してください。
2. 取扱説明書にもとづいて、動作確認をしてください。
3. 「プログラム表の作成と登録」を参照し、必ずイニシャルセット（初期設定動作）を実施し、その後必要とする新規プログラム設定を行ってください。
4. 工事が完了したら、必ず次の内容をお客様へ説明してください。
  - ・集中制御装置に装備している停電用電池は7年に1回交換する必要があります。  
（ただし集中制御装置の電源SWを頻繁に入・切するような使い方や長時間電源SWを切のままにするような使い方をした場合は、1年以内に寿命となることがあります。）
  - ・停電時の取扱い方（取扱説明書を参照）
  - ・移設などで集中制御装置を移動する場合は、勝手に移動させないこと。
  - ・その他、取扱いの禁止事項や注意事項の徹底。
  - ・万一トラブルが発生した場合の連絡先。
5. 集中制御装置の周囲は他の物で塞がないでください。  
また天井の中等見えない所には絶対に取り付けしないでください。  
（保守点検、プログラム変更、また放熱の注意上）

## 3 点検・サービス時のお願い

必ずお守りください

1. 集中制御装置の各ユニットの取付け/取外しは、必ずAC電源スイッチを「OFF」にして約10秒以上経過後に行ってください。集中制御装置内部の電源ユニットに触れると感電の恐れがあります。また、電源ユニットは通電中非常に高熱になりますので「OFF」にした直後も十分気をつけてください。
2. 各ユニット内の電子部品（IC、マイコン等）や導電部には直接手を触れないでください。点検・サービス時は、静電破壊防止のため静電バンドを手首に装着し、リード線を集中制御装置のアース端子に接続してください。（静電破壊により故障や故障しかかりといった現象が発生します）
3. 電力会社で絶縁抵抗試験（500Vメガテスト）及び耐電圧試験（AC1kV）を行う時は、集中制御装置の電源ユニットに接続されている落雷対策用のZNRのもれ電流により不良と見誤ることがあります。電源ユニットに取付けられているCN4コネクタを抜いてください。その後、AC電源コネクタP<sub>1</sub>、P<sub>2</sub>も抜き試験を開始してください。（電源スイッチはOFF状態）



# 4 機器構成とシステム図

## 機器構成

	品名	品番	台数	備考
共用部	集中制御装置	VG-C103D	1台	2系統を初実装(注1)(注2)(注4)
	3LCユニット	VG-C984DA	1台	3系統(合計5系統)(注1)(注4)
		(最大2台まで実装)	2台	6系統(合計8系統)(注1)(注4)
	OLCユニット	VG-C987D	1台	系統間のフル交換時に必要
	増設ユニット用ケース枠	VG-C988	1台	3LC/OLCユニット合計3台実装時に必要
	中央制御装置	VG-C101DA	8台	2ペア接続時最大4台
	管理事務室親機 *1	VG-E485A	合計	(注3)
	外線アダプター *1	VG-J603A	8台	
	標準共同玄関子機 *1	VL-575AN, 575AY	合計 8台	N:管理事務室呼出表示なし Y:管理事務室呼出表示あり -A:ゴールド調 -S:シルバー調 (注3)
	逆マスターキー取付用共同玄関子機 *1	VL-576AN, 576AY		
	カラーカメラ付共同玄関子機	VG-K547CDN, K547CDY		
	逆マスターキー取付用 カラーカメラ付共同玄関子機	VG-K548CDN, K548CDY	合計 8台	RS-232Cまたは、 RS-422Aインターフェース
	データ入出力アダプター *1	VL-M887		
	宅配ロッカーアダプター *1	VL-M889		
	通報機アダプター *1	VL-4852XB	8台	
	集住映像伝送アダプター	VG-R900D	8台	連動可能カメラ/モニター台数はそれぞれ最大8台
	集住映像受信カード	VG-R901D		集住映像伝送アダプター1台につき1台
	自動通報機	VJ-602B	1台	音声専用(株)パナセキュリティオン専用(データ通報) 管理事務室親機、またはデータ入出力アダプターに接続
変換器	VG-R300DA	システムによる	*1の接続時に1台ずつ必要	

(注1) 1系統当たりに接続可能な台数は配線条件により変わります。配線条件により判別された台数制限と、上表の台数制限以下になる様にしてください。

2ペア接続時には偶数系統に中央制御装置以外の端末(共用部)は接続できません。

(注2) 1系統目は必ず使用してください。

(注3) 合計消費電流計算表により合計消費電流が1960mAを越える場合は別途電源が必要です。

(注4) 集中制御装置にIP変換器(IPLC)は接続できません。

## 系統に接続可能な台数

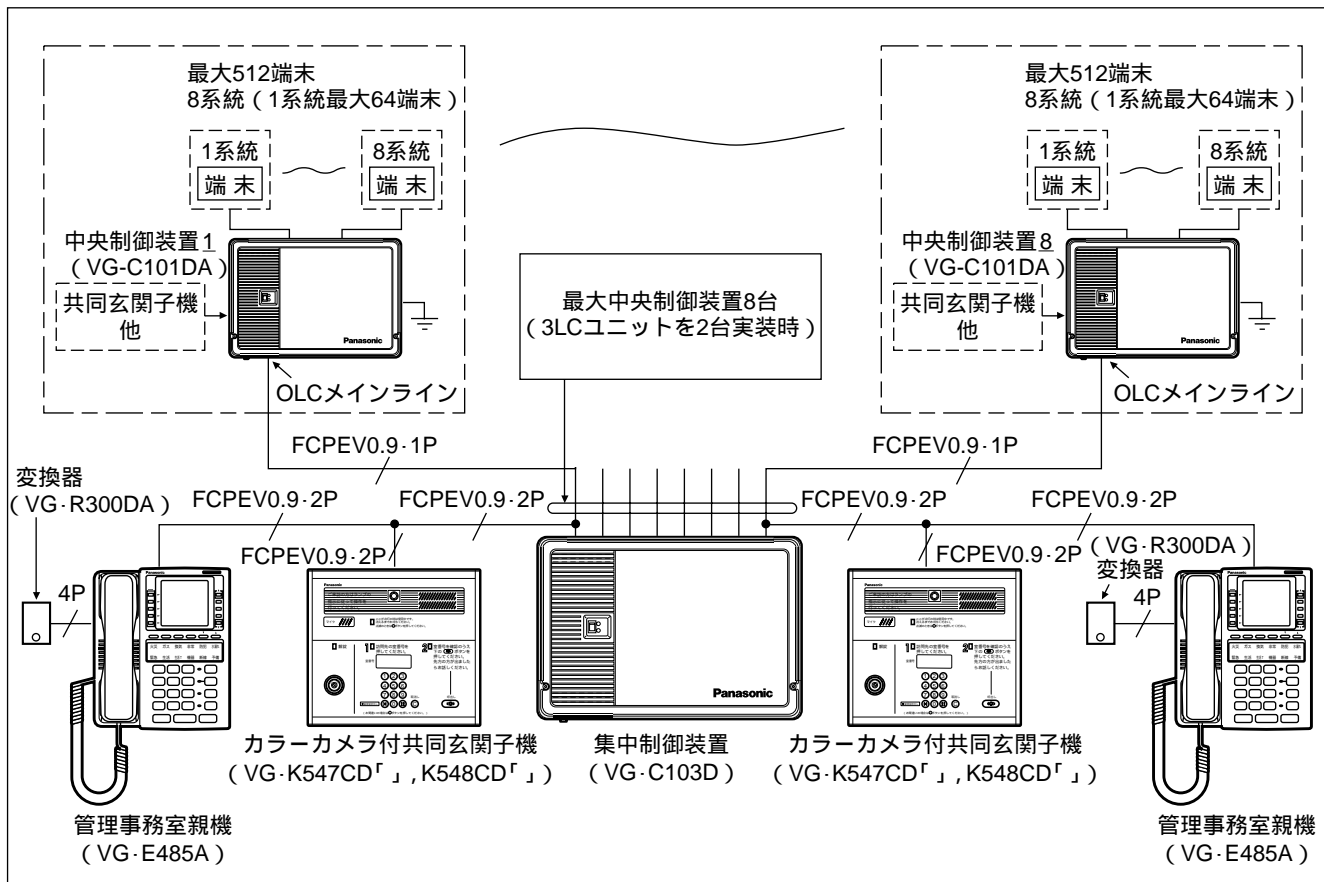
品名	品番	集中制御装置								中央制御装置(参考)					
		1つの系統				8系統合計				1つの系統		8系統合計			
		1ペア接続時		2ペア接続時		2ペア接続時		1ペア接続時		1つの系統	8系統合計	1つの系統	8系統合計		
管理事務室親機	VG-E485A	合計	最大8台	合計	最大8台	/	合計	最大8台	合計	最大8台	合計	最大8台	合計	最大8台	
外線アダプター	VG-J603A	(注1)	(注1)	(注3)	(注1)		(注1)	(注1)	(注1)	(注1)	(注1)	(注1)	(注1)		
標準共同玄関子機	VL-575AN, 575AY	合計	最大8台	合計	最大8台	/	合計	最大8台	合計	最大8台	合計	最大8台	合計	最大8台	
逆マスターキー取付用共同玄関子機	VL-576AN, 576AY														
テレビカメラ付共同玄関子機	VL-545CN, 545CY														
逆マスターキー取付用	VL-546CN, 546CY														
テレビカメラ付共同玄関子機	VG-K547CDN, K547CDY														
カラーカメラ付共同玄関子機	VG-K548CDN, K548CDY	(注3)	(注3)	(注3)	(注3)	(注3)	(注3)	(注3)	(注3)	(注3)	(注3)	(注3)	(注3)		
データ入出力アダプター	VL-M887	8台	合計	8台	合計	8台	合計	8台	合計	8台	合計	8台	合計	8台	
宅配ロッカーアダプター	VL-M889	8台	最大	8台	最大	8台	最大	8台	最大	8台	最大	8台	最大	8台	
通報機アダプター	VL-4852XB	8台	8台	8台	8台	(注3)	8台	8台	8台	8台	8台	8台	8台	8台	
集住映像伝送アダプター	VG-R900D	最大	8台	最大	8台	(注3)	最大	8台	最大	8台	最大	8台	最大	8台	
IP変換器(IPLC単位)	-														
室内親機	-														
中央制御装置	VG-C101DA	最大	1台	最大	1台	最大	1台	最大	4台	最大	8台				
合計		最大	33台	最大	33台	最大	1台	最大	36台	最大	40台	最大	64台	最大	512台
		(注2)	(注2)	(注2)	(注2)	(注2)	(注2)	(注2)	(注2)	(注2)	(注2)	(注2)	(注2)	(注2)	

(注1) 合計消費電流計算表により合計消費電流が1960mAを越える場合は別途電源が必要です。

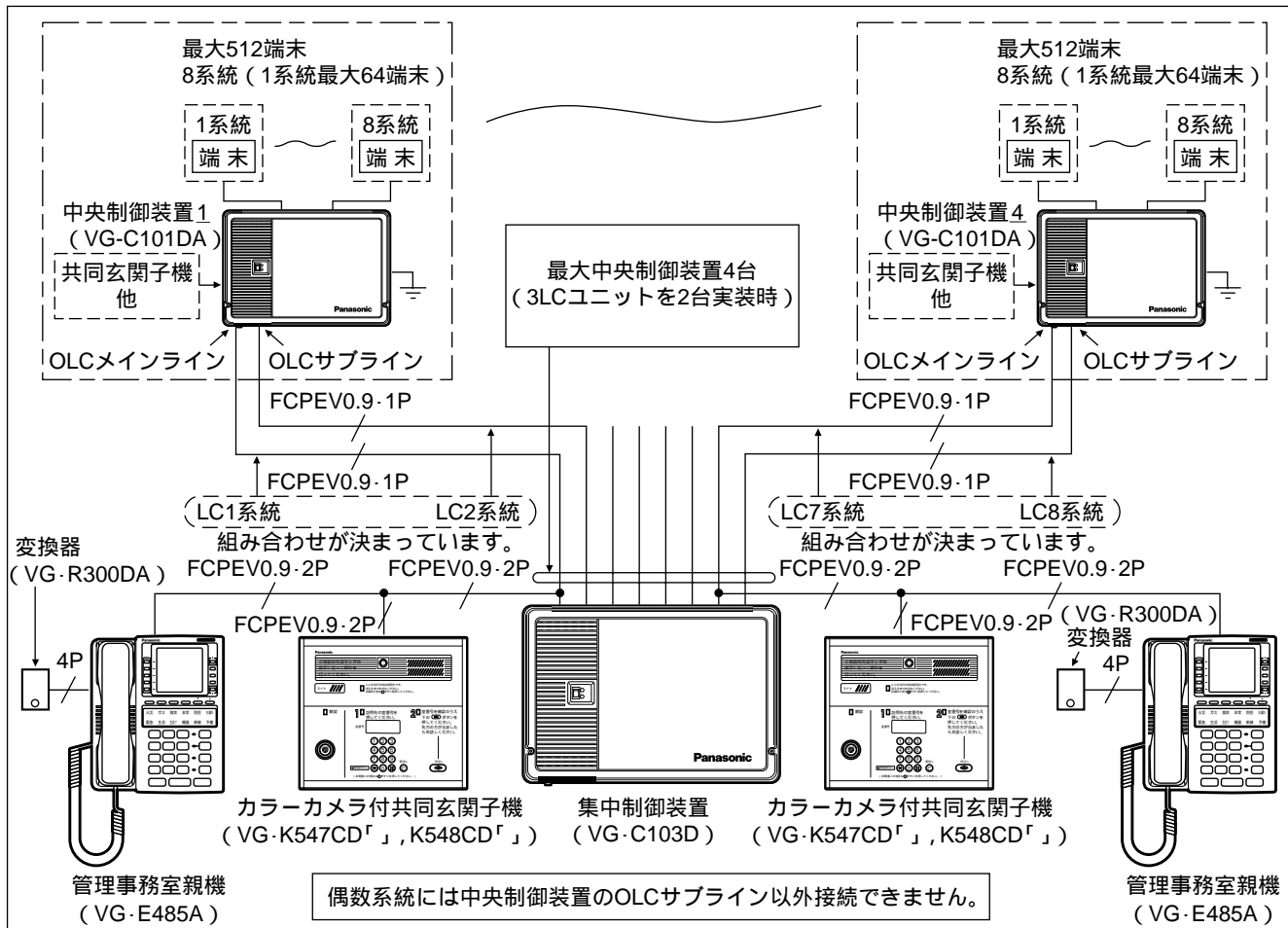
(注2) 1つの系統に接続可能な台数合計は、配線によって制限される場合があります。

(注3) 2ペア接続時は偶数系統に接続できません。

システム図 1ペア接続、カラーカメラ付き共同玄関子機（例）



システム図 2ペア接続、カラーカメラ付き共同玄関子機（例）

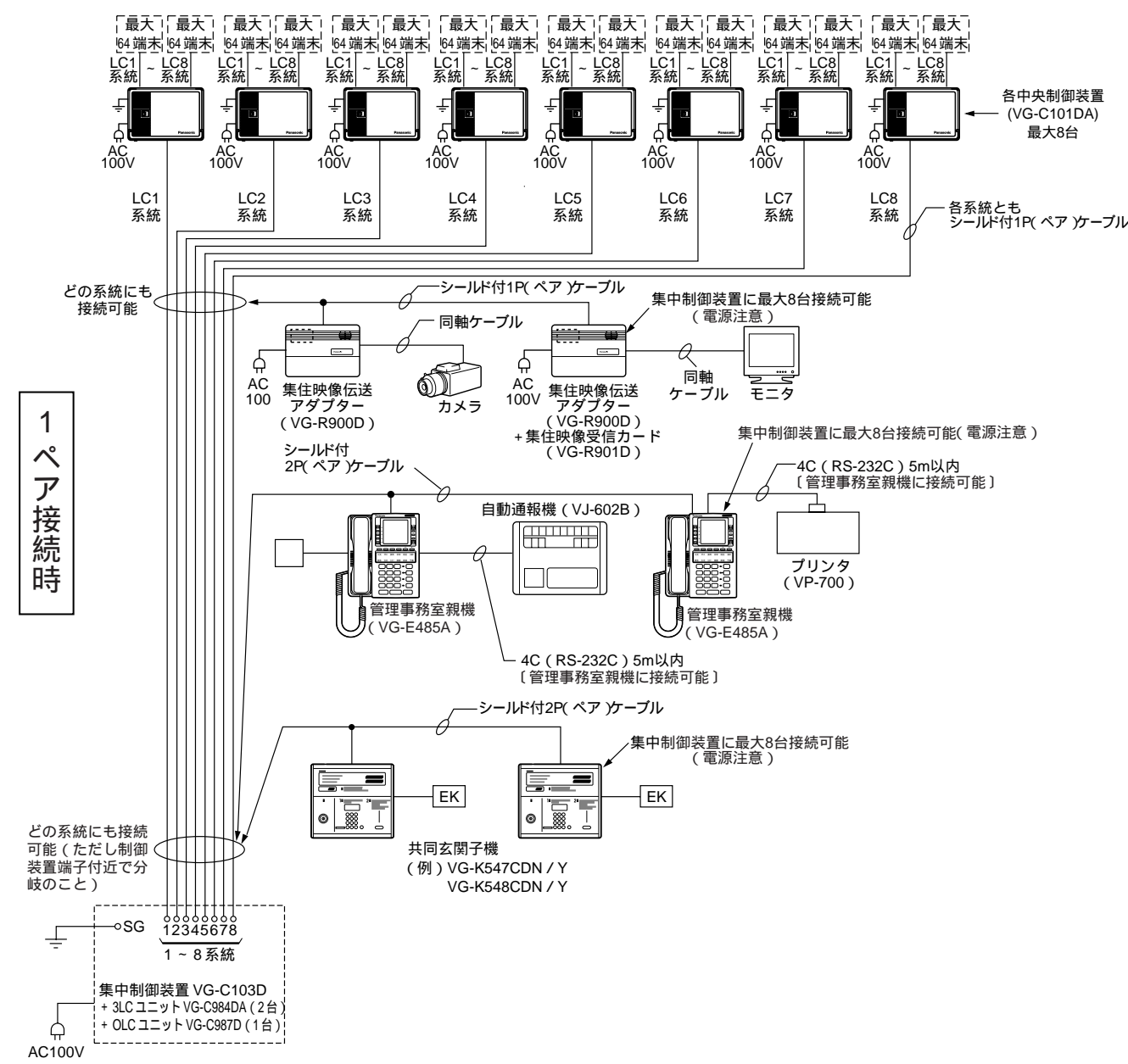




# VG-C103D

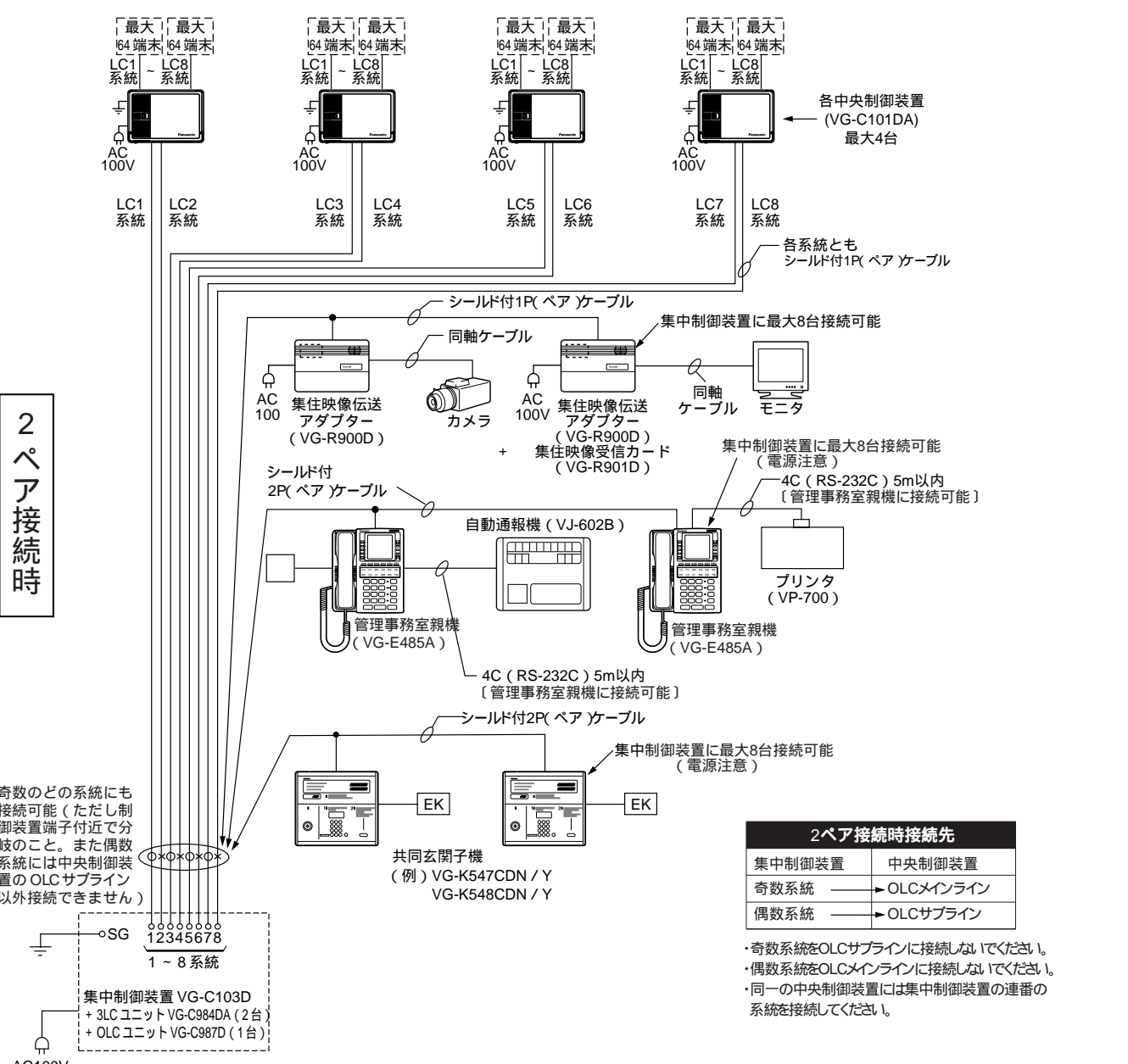
## 5 システム系統図および配線系統図

(注) 集中制御装置の1系統当りに接続可能な台数は配線条件により異なります。配線条件により判別された台数制限と、集中制御装置に接続可能な台数制限をそれぞれお守りください。  
 (注) 各中央制御装置にはOLCユニットを必ず実装してください。  
 (注) 各中央制御装置にはOLCユニットを必ず実装してください。



1 ペア接続時

(注) 集中制御装置の1系統当りに接続可能な台数は配線条件により異なります。配線条件により判別された台数制限と、集中制御装置に接続可能な台数制限をそれぞれお守りください。  
 (注) 各中央制御装置にはOLCユニットを必ず実装してください。  
 (注) 中央制御装置以外の各端末は集中制御装置の偶数系統には接続できません。  
 (注) 2ペア接続時は中央制御装置を最大4台まで接続可能となります。



2 ペア接続時

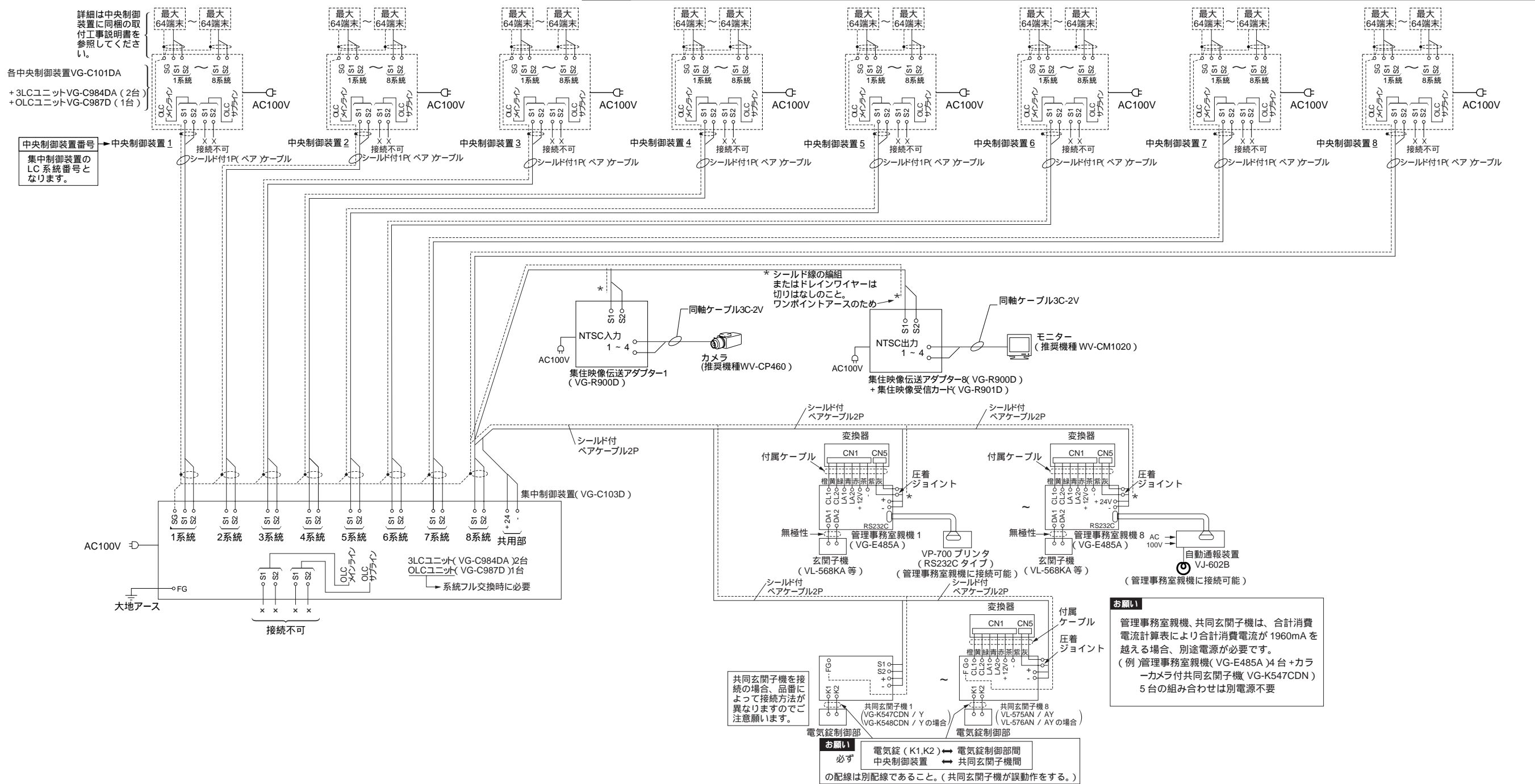
集中制御装置	中央制御装置
奇数系統	→ OLCメインライン
偶数系統	→ OLCサブライン

・奇数系統をOLCサブラインに接続しないこと。  
 ・偶数系統をOLCメインラインに接続しないこと。  
 ・同一の中央制御装置には集中制御装置の連番の系統を接続してください。

お願い 機器間でシールドベアケーブル使用箇所については接続図を参照し必ず対(ペア)で正しく配線すること。(誤動作または通話中ノイズが入ります。)

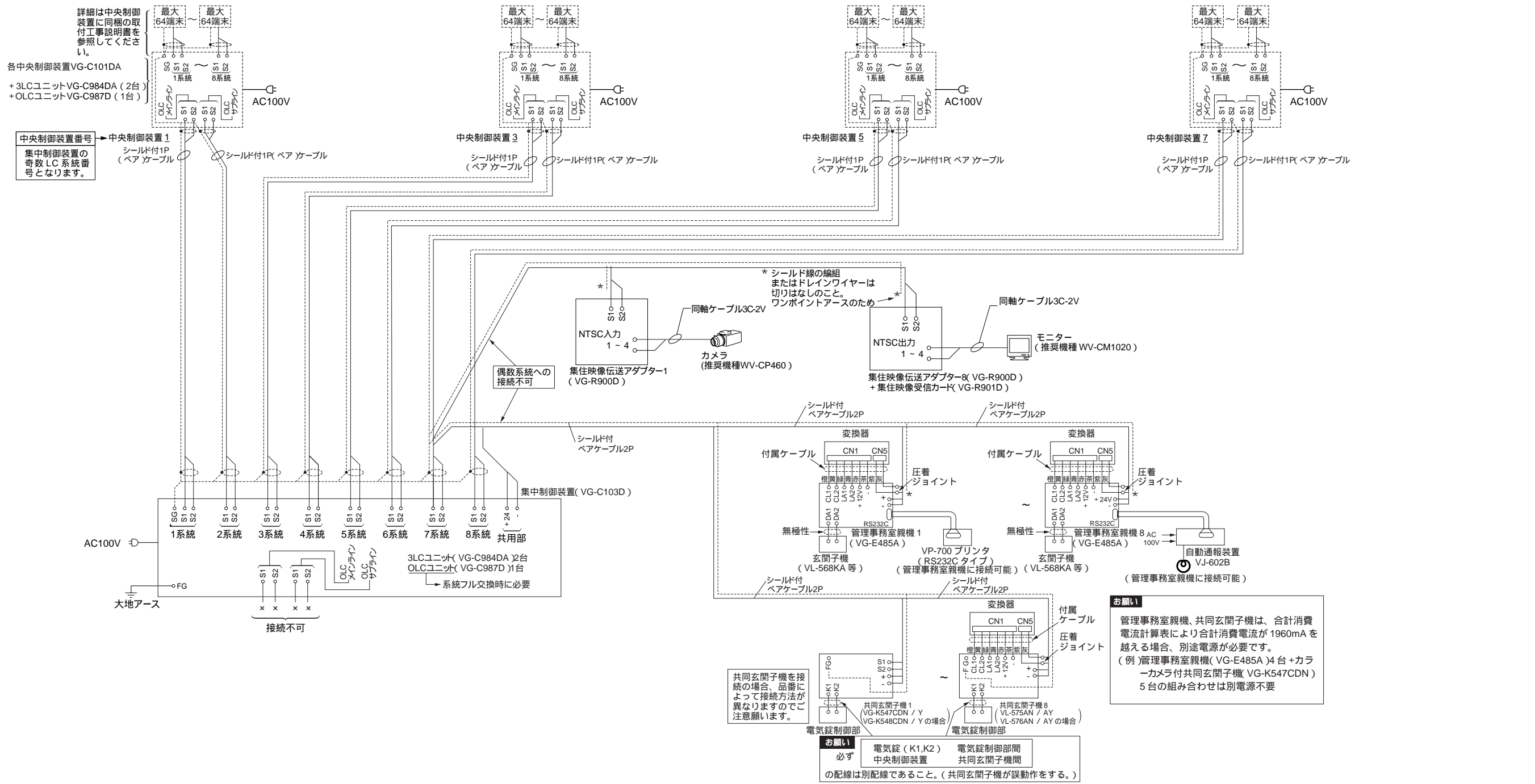
## 配線系統図

お願い 各シールド線の編組またはドレインワイヤーのアースの取付け方は、集中制御装置側では、該当するSG(シグナルグランド)端子に接続する。反対側(変換器、集住映像伝送アダプターに接続する方)は、ワンポイントアース(一点アース)にするため、編組またはドレインワイヤーは根元で切断する。但し線ショート防止のため絶縁テープによるテーピングをすること。



お願い 必ず 電気錠(K1,K2) ← 電気錠制御部  
 中央制御装置 ← 中央制御部  
 の配線は別配線であること。(共同玄関機が誤動作をする。)

お願い 管理事務室親機、共同玄関機は、合計消費電流計算表により合計消費電流が1960mAを超える場合、別途電源が必要です。(例)管理事務室親機(VG-E485A)4台+カラーカメラ付共同玄関機(VG-K547CDN)5台の組み合わせは別電源不要



お願い 必ず 電気錠(K1,K2) ← 電気錠制御部  
 中央制御装置 ← 中央制御部  
 の配線は別配線であること。(共同玄関機が誤動作をする。)

## 6 24V電源への接続台数について

制御装置の+24, - に接続可能な台数は下記に示す合計消費電流計算表より算出してください。合計消費電流が1960mAを越える場合は別途電源が必要です。

合計消費電流計算表

品名	品番	[mA/1台]	台数	小計[mA]
管理事務室親機	VG-E485A	202 *		
標準共同玄関子機	VL-575AN, 575AY	172 *		
逆マスターキー取付用共同玄関子機	VL-576AN, 576AY			
テレビカメラ付共同玄関子機	VL-545CN, 545CY			
逆マスターキー取付用 テレビカメラ付共同玄関子機	VL-546CN, 546CY	230		
カラーカメラ付共同玄関子機	VG-K547CDN, K547CDY			
逆マスターキー取付用 カラーカメラ付共同玄関子機	VG-K548CDN, K548CDY			
合計				

\* 変換器との合計値です。

1960mA以下

(例)

品名	品番	[mA/1台]	台数	小計[mA]
管理事務室親機	VG-E485A	202	4	808
カラーカメラ付共同玄関子機	VG-K547CDN, K547CDY	230	5	1150
合計			9	1958

1960mA以下



## 7 配線距離と使用する線材について

本システムでは、電源線路とデジタル通信線路で、使用できる線材の種類と配線距離、接続台数等に違いがあります。(集中制御装置を使用するシステムの場合はアナログ映像を用いるシステム動作はできません。)

### 電源線路とは...

共同玄関子機、および管理事務室親機に供給する24V電源のための線路です。+24, - に接続されます。

### デジタル通信線路とは...

本システムで新開発したデジタル伝送信号を、住戸や管理人室に伝送するための線路です。S1, S2等に接続されます。

### (1) 用いることができるケーブル種類

#### ・電源線路に用いるケーブル

0.9 以上を使用可能です。(ただし速結端子は0.9 までですので、0.9 を越える場合は速結端子に0.9 を使用し、端子引出し後に圧着してください。)

シールドなしも可能です。ただし線路抵抗により配線距離が変わります。

#### ・デジタル通信線路に用いるケーブル

0.65 、0.9 のツイストペアケーブル、カッド撚ケーブル、同心撚ケーブルを用いることができます。

シールドなしも可能です。ただし、

1. 配線条件によって、最大接続端末台数、許容総延長距離に制約が生じます。
2. 同一シース内は必ずとなり合った芯をペアとして用いてください。

注意：複数種類の線路を同一シースで利用する場合は、制約条件の厳しい方のケーブルを選定してください。

新規にケーブルを敷設する場合は、特性に優れた当社指定のシールド付デジタルペア線専用ケーブル (伸興電線製:FCPEV-DP) を推奨します。

## (2) 各線路の配線距離

### (2-1) 電源線路の配線距離

電源線路は制御装置からの最遠端距離に制限があります。最遠端距離は合計消費電流や線路抵抗により変わりますので、下記に示す最遠端距離計算式より算出してください。

#### 最遠端距離計算式

$$\text{最遠端距離} = \frac{7.5 \times 10^6}{a \times b} \text{ [ m ]}$$

a:合計消費電流 (合計消費電流計算表による)

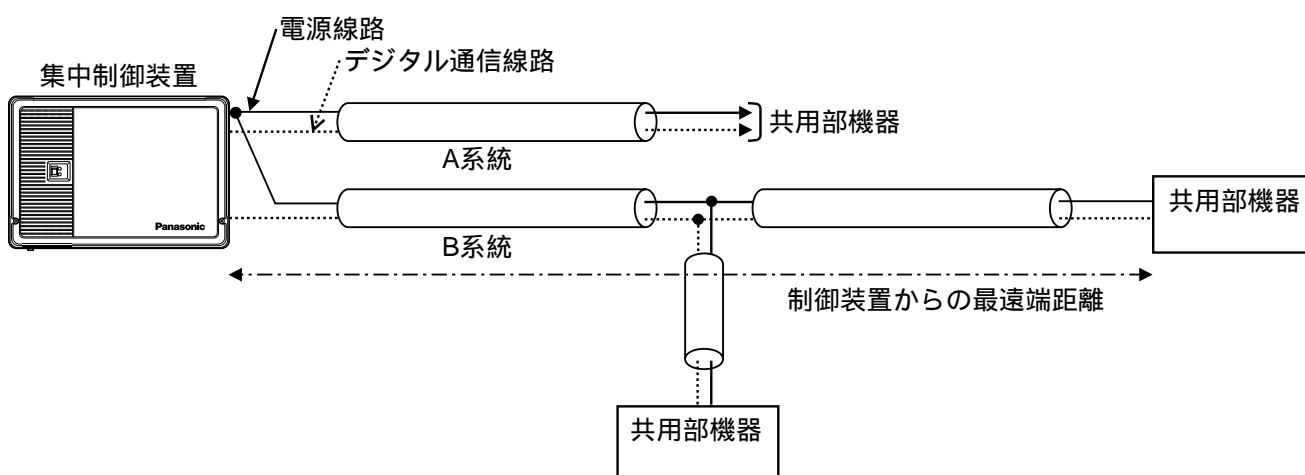
b:線路抵抗 [ /km ]

線径	線路抵抗
0.9	ループ60 [ /km ]
1.2	ループ34 [ /km ]
1.6	ループ19 [ /km ]

(例) a=1958 [ mA ]

b=60 [ /km ] ( 0.9 ) の場合

$$\begin{aligned} \text{最遠端距離} &= \frac{7.5 \times 10^6}{1958 \times 60} \\ &= \underline{63 \text{ [ m ]}} \end{aligned}$$



(2-2) デジタル通信線路の配線距離 (および台数)

推奨ケーブル:伸輿電線製 FCPEV-DP

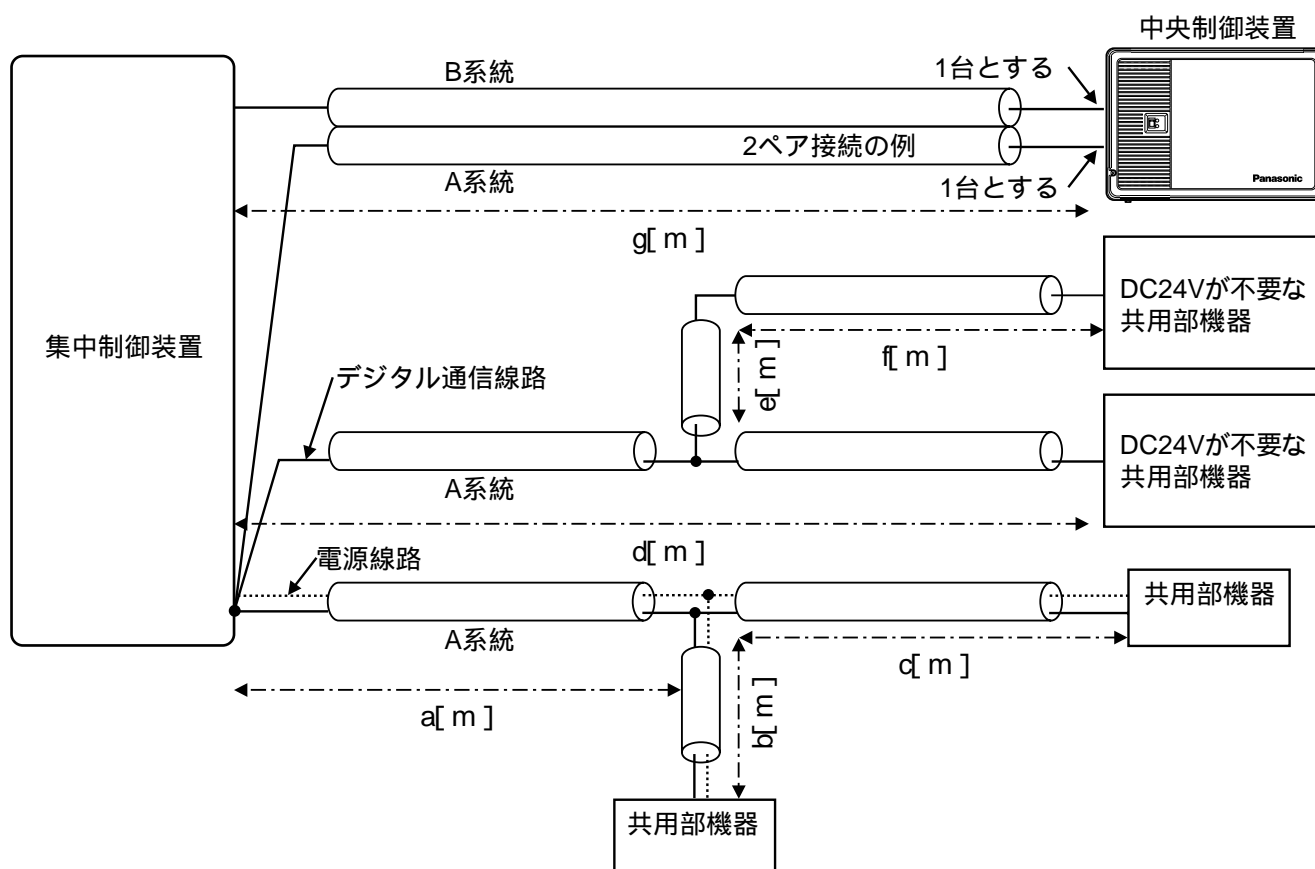
許容できる配線の総延長や最大接続端末台数は、配線条件により以下の5つのパターンに分かれます。

項目	配線距離 (1系統当たりの総延長)	接続台数 (1系統当たりの接続台数)	備考
パターン1	1km以内	64台以内	1系統当たりの総配線距離 ただし、各系統中央制御装置含む
パターン2	875m以内	56台以内	
パターン3	750m以内	48台以内	
パターン4	625m以内	40台以内	
パターン5	500m以内	32台以内	

上記表は中央制御装置と同等です。

ここに示す接続台数は通信上の台数制限です。集中制御装置に接続可能な台数制限とは異なりますので、それぞれお守りください。

又、中央制御装置も1台として加算してください。2ペア接続の場合はメインライン (奇数系統) 側/サブライン (偶数系統) 側それぞれで1台として加算してください。



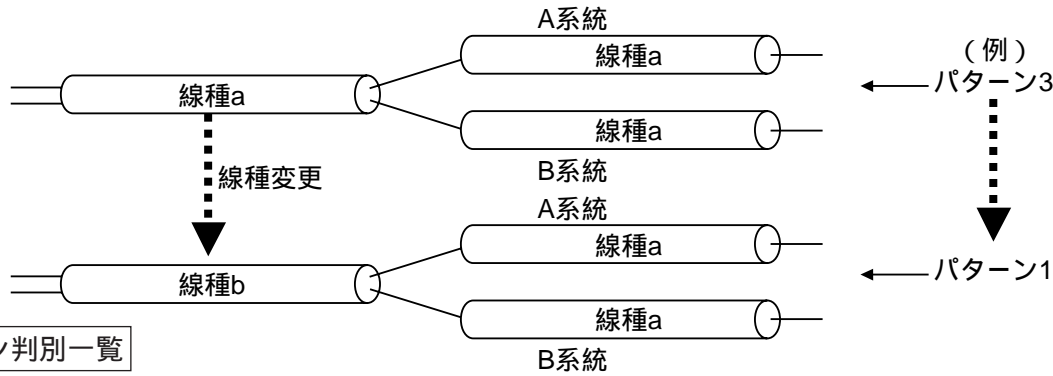
総延長 =  $a + b + c + d + e + f + g [m]$   
 (分岐線長を含む全ての合計)

パターン判別配線条件（集中制御装置の場合）

2ペア接続の場合も、対となる奇数系統と偶数系統を別系統として判別してください。

詳細は「パターン判別一覧」、および「パターン判別フロー」をご参照ください。

- ・0.65 未満、および0.9 を越える線径のケーブルは使用できません。
- ・複数の系統を同一シース配線するいずれの場合でも、同一シースにしたい部分の線種は0.9 、または0.65 のシールド付きツイストペア線のみで、同一シース内には3P（3系統）までです。
- ・複数の系統を同一シースにしたい場合、その部分の線種を変更することで同一シースにおける許容総延長および最大接続端末台数の条件を良くすることができます。（例：使用不可からパターン5へ、パターン4からパターン2へ、パターン3からパターン1へ）


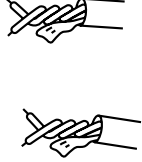


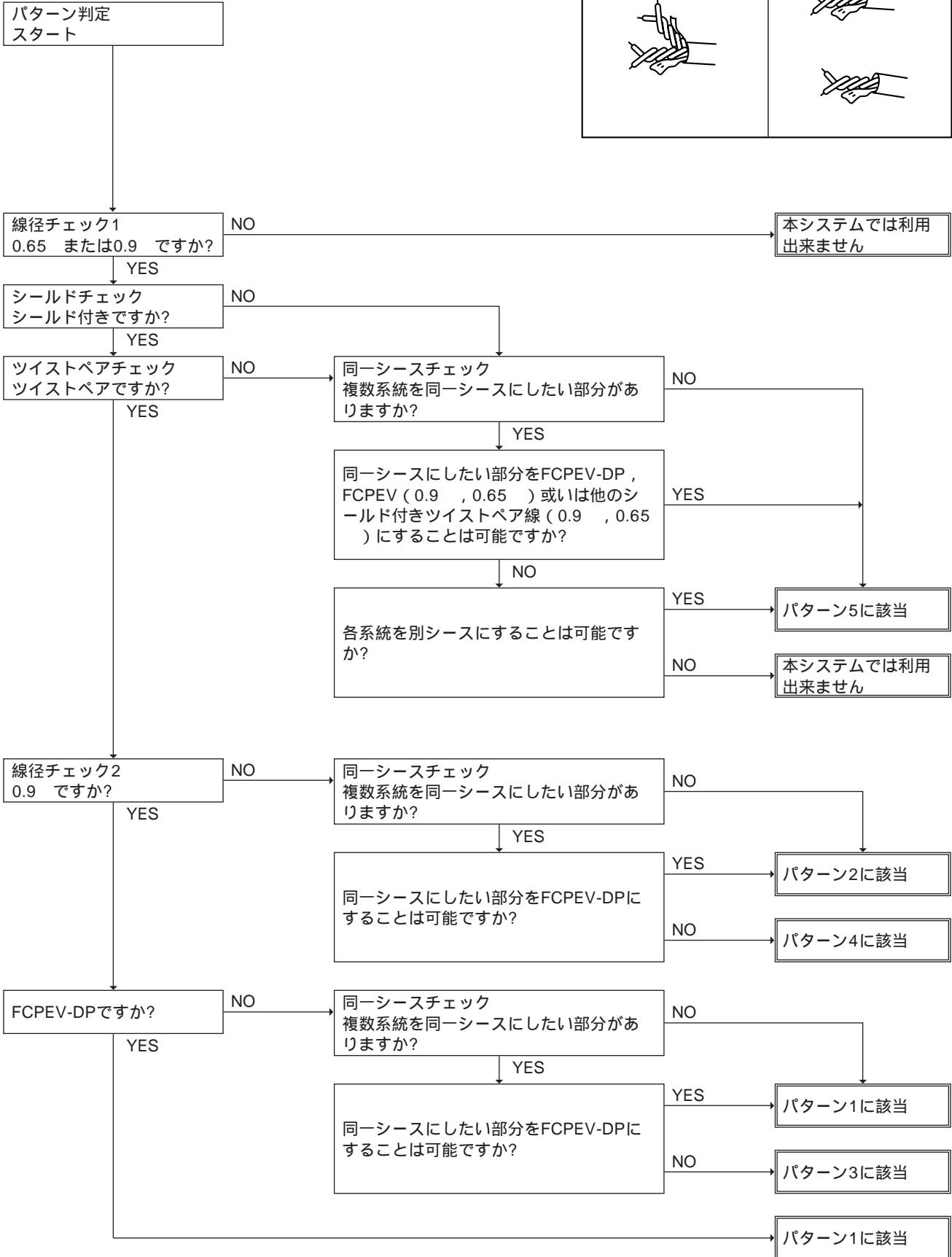
パターン判別一覧

シールド有り	ツイストペア	0.9	FCPEV-DP		同一シース部分線種変更	パターン		
			同一シース	別シース		FCPEV-DP	FCPEV	
シールド有り	ツイストペア	0.9	同一シース	パターン1	FCPEV-DP	0.9	パターン1	
			別シース	パターン1			FCPEV	0.65
		0.65	同一シース	パターン3	FCPEV-DP	0.9		
			別シース	パターン4			FCPEV	0.65
シールド無し	ツイストペア	0.9	同一シース	使用不可	FCPEV-DP	0.9		
			別シース	パターン5			FCPEV	0.65
		0.65	同一シース	使用不可	FCPEV-DP	0.9		
			別シース	パターン5			FCPEV	0.65
シールド無し	カッド撚り、又は同心撚り	0.9	同一シース	使用不可	FCPEV-DP	0.9		
			別シース	パターン5			FCPEV	0.65
		0.65	同一シース	使用不可	FCPEV-DP	0.9		
			別シース	パターン5			FCPEV	0.65

- 一覧において
- ・別シース : 同一シース内に別系統が混在しないことを示します。
  - ・同一シース : 同一シース内に複数の系統が混在することを示します。
  - ・使用不可 : システムに使用できないことを示します。

パターン判別フロー（集中制御装置の場合）

同一シース	別シース
	



複数系統を同一シース配線するいずれの場合でも、同一シースには3P（3系統）までです。  
4P以上の場合は別シースに分けてください。

・検証済みケーブル一覧表

メーカー名	品番	線径	種類	備考
伸興電線	FCPEV-DP	0.9	デジタルペア線ケーブル (シールド有)	デジタルペア線専用 設計(推奨)
伸興電線	FCPEV	0.65, 0.9	市内対ケーブル (シールド有、ツイストペア)	
伸興電線	CPEV-C	0.9	市内対ケーブル (シールド有、ツイストペア)	旧品番:生産中止
三菱電線	FCPEV	0.65, 0.9	市内対ケーブル (シールド有、ツイストペア)	
フジクラ	FCPEV	0.65, 0.9	市内対ケーブル (シールド有、ツイストペア)	
日本電線	FCPEV	0.65	市内対ケーブル (シールド有、ツイストペア)	
フジクラ	KP	0.9	警報用ケーブル (シールド無、ツイストペア)	
昭和電線	CCP-P	0.9	市内ケーブル (シールド無、カッドorツイスト)	
富士電線	FA	0.9	FAケーブル(シールド無、同心撚り)	
フジクラ	IEV	0.65	インターホンケーブル (シールド無、同心撚り)	

## 8 配線工事上の注意

通信の品質を守るために、以下の事をお守りください。

### (1) 集合住宅システム配線とAC電源等他配線との隔離

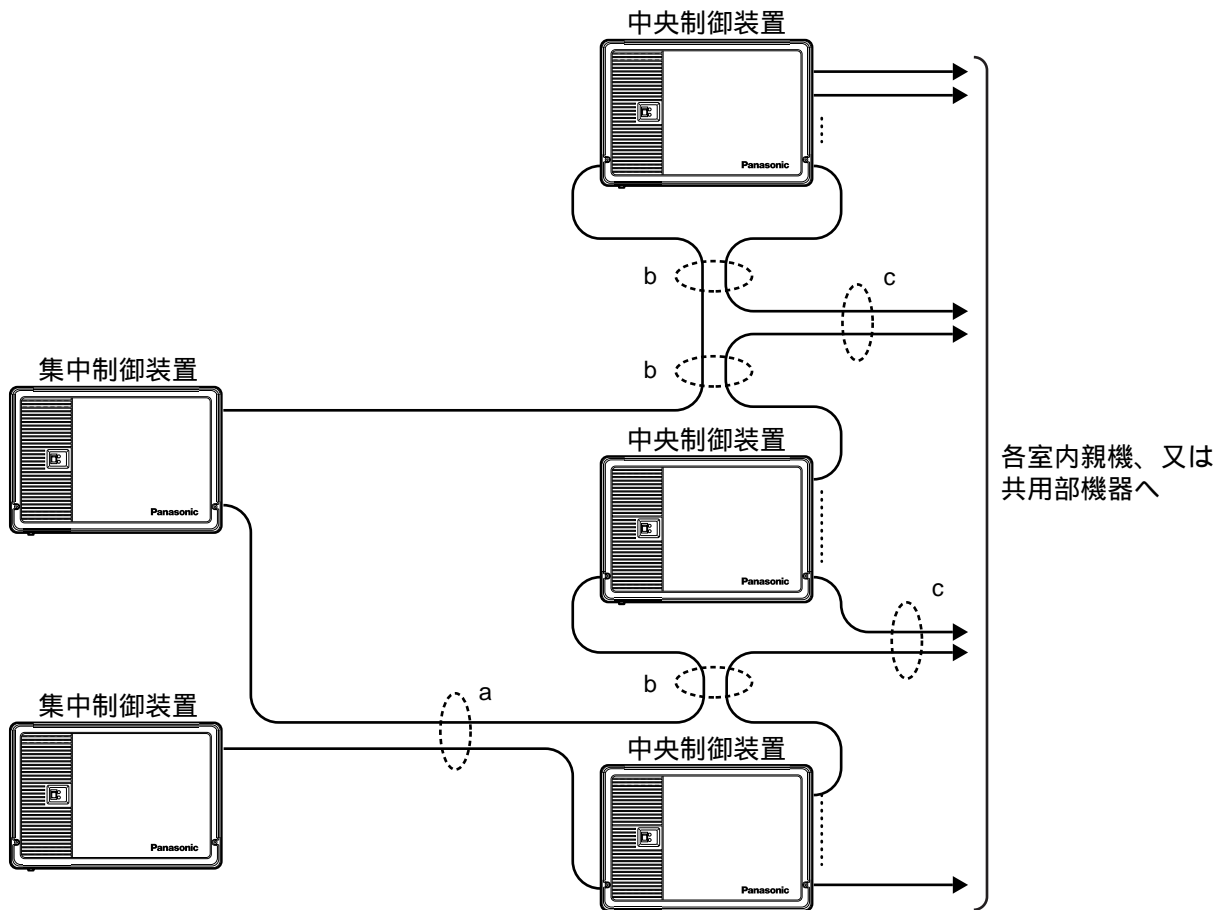
AC電源、コンピューター、テレックス等の配線と集中制御装置からの各種接続ケーブル（管理事務室親機との配線、共同玄関子機との配線等）は、30cm以上離して配線してください。

### (2) 下図 a ~ c の配線

線種にかかわらず同一シース不可

更にFCPEV等のシールドされた線種以外の線種をご使用の場合は もお守りください。

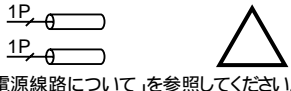

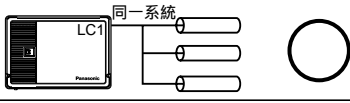
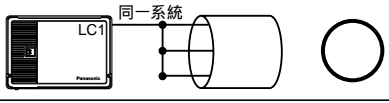

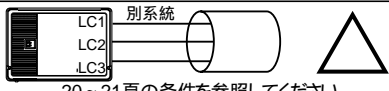
線間距離を1m以上離す。または、別配管（金属製）



- a 異なる集中制御装置の系統間。
- b 集中制御装置と中央制御装置の系統間。
- c 異なる中央制御装置の系統間。

(3) 同一シース(被膜)可/不可について

電源線路とデジタル通信線路の同一シース混在、別系統のデジタル通信線路の同一シース混在には制約があります。

集中制御装置と共同部機器間の電源線路とデジタル通信線路について	
別シース 不可	同一シース 可
 <p>1P 1P</p> <p>「(5)電源線路について」を参照してください。</p>	 <p>2P</p>
集中制御装置の同一系統のデジタル通信線路について	
別シース 可	同一シース 可
 <p>LC1 同一系統</p>	 <p>LC1 同一系統</p>
集中制御装置の別系統のデジタル通信線路について	
別シース 可	同一シース 条件付可
 <p>LC1 LC2 LC3 別系統</p>	 <p>LC1 LC2 LC3 別系統</p> <p>20～21頁の条件を参照してください</p>

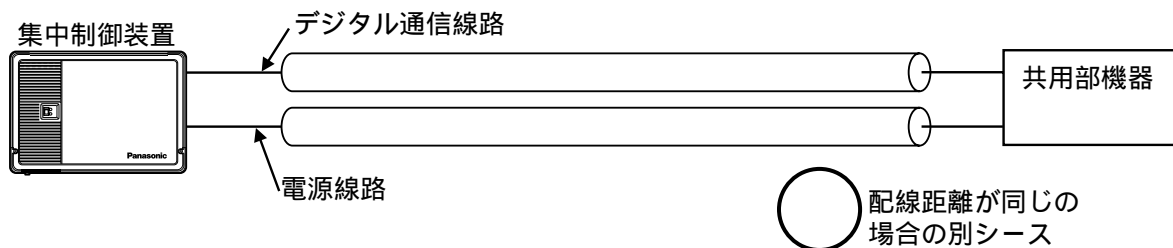
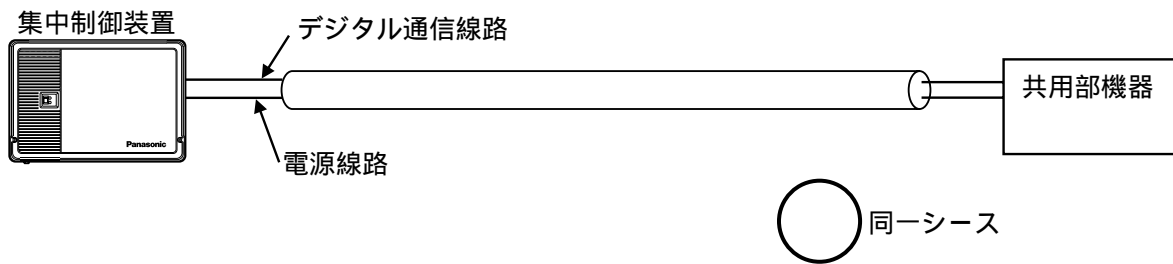
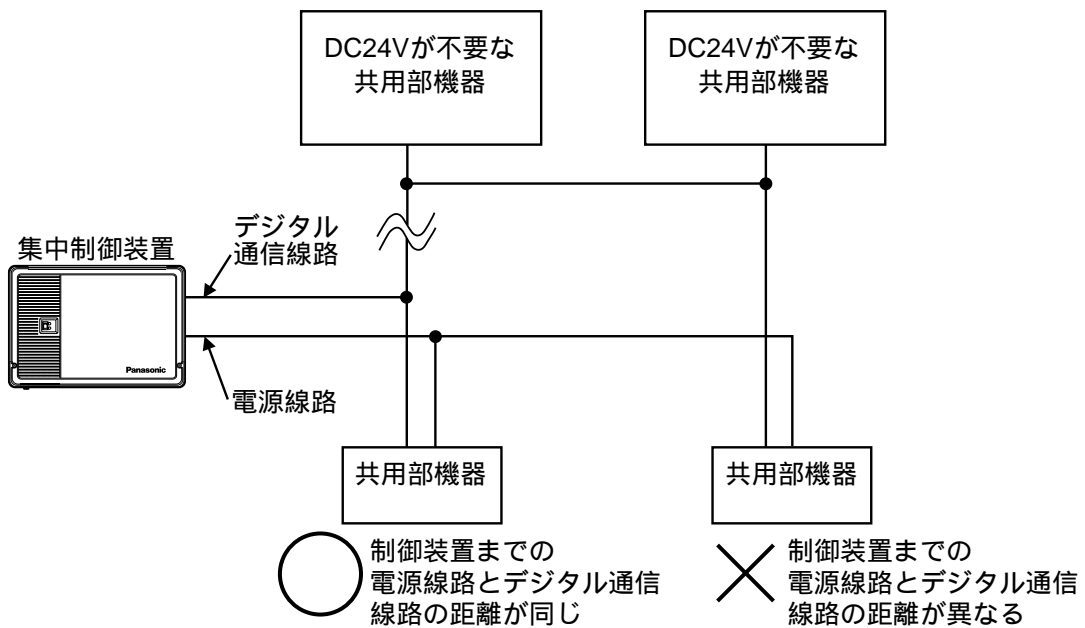
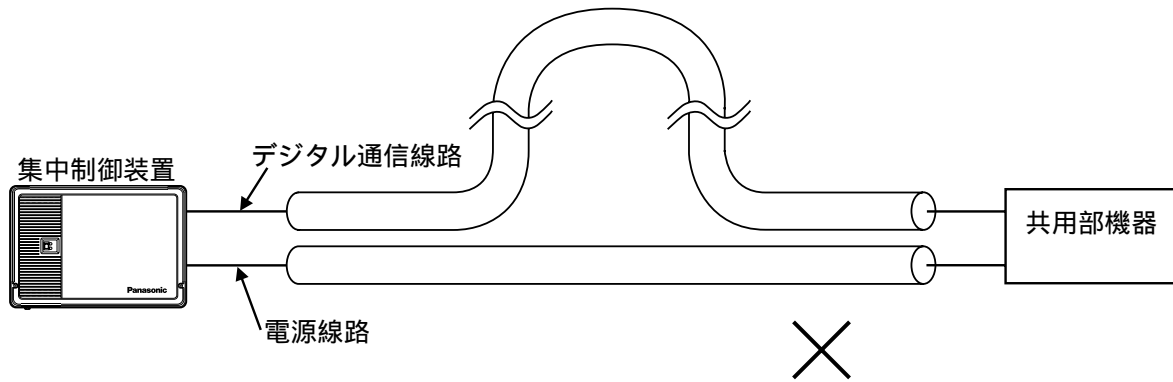
(4) 雑音防止コアの取付

制御装置から不要な雑音を出さない為に付属の雑音防止コアを取り付けてください。(雑音防止コアの取付方法は34～35頁参照)

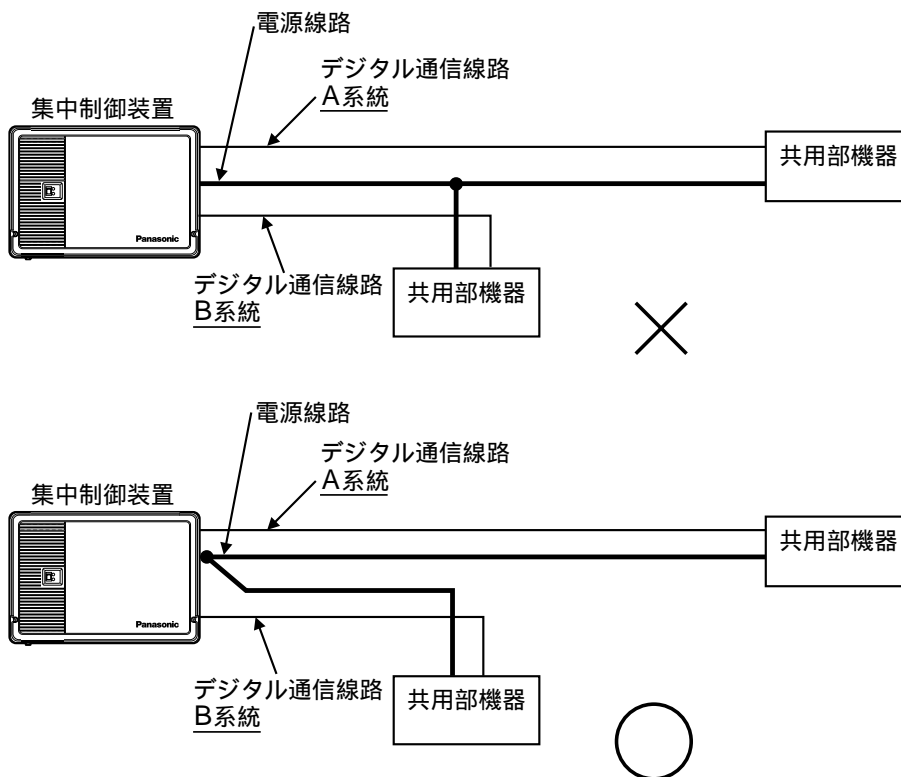


(5) 電源線路について

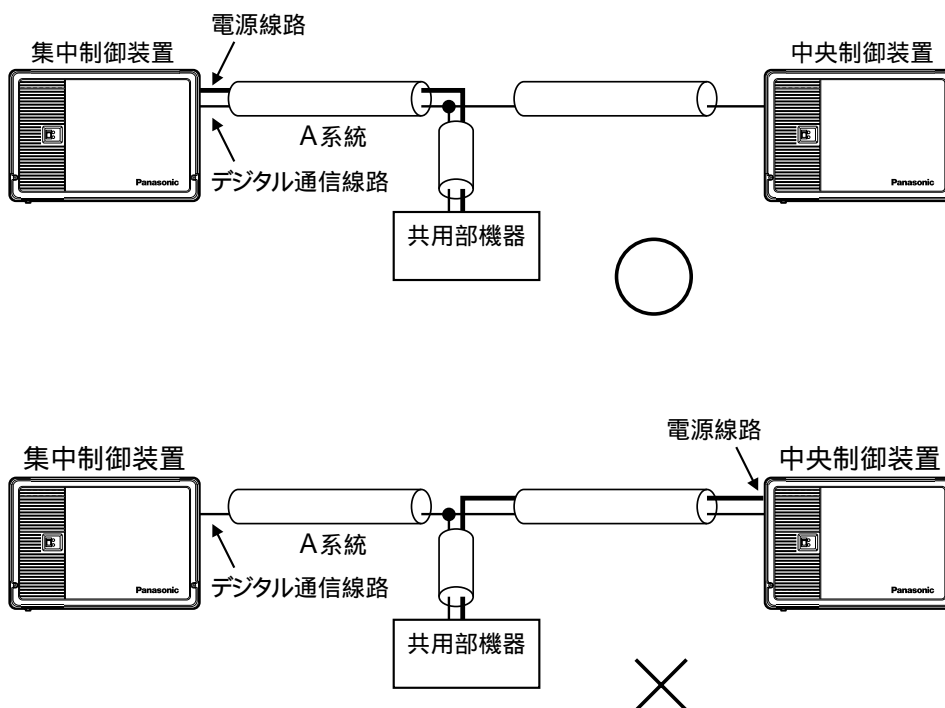
電源線路とデジタル通信線路の配線距離を同じにしてください。



異なる系統には電源線を制御装置で分岐させてください。



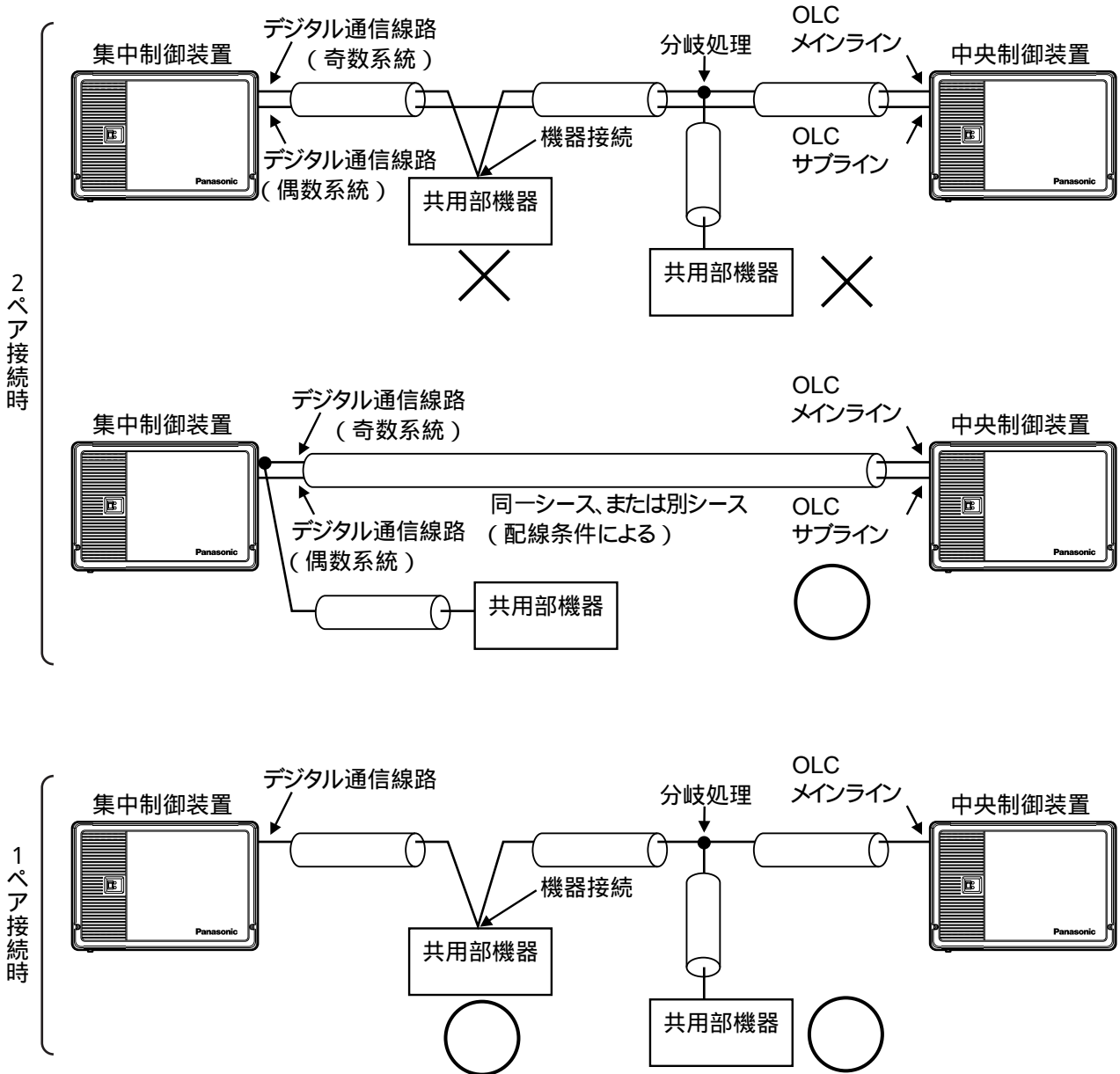
集中制御装置側の系統に接続する、制御装置から電源が必要な共用部端末の電源線路は、必ず集中制御装置側から接続してください。



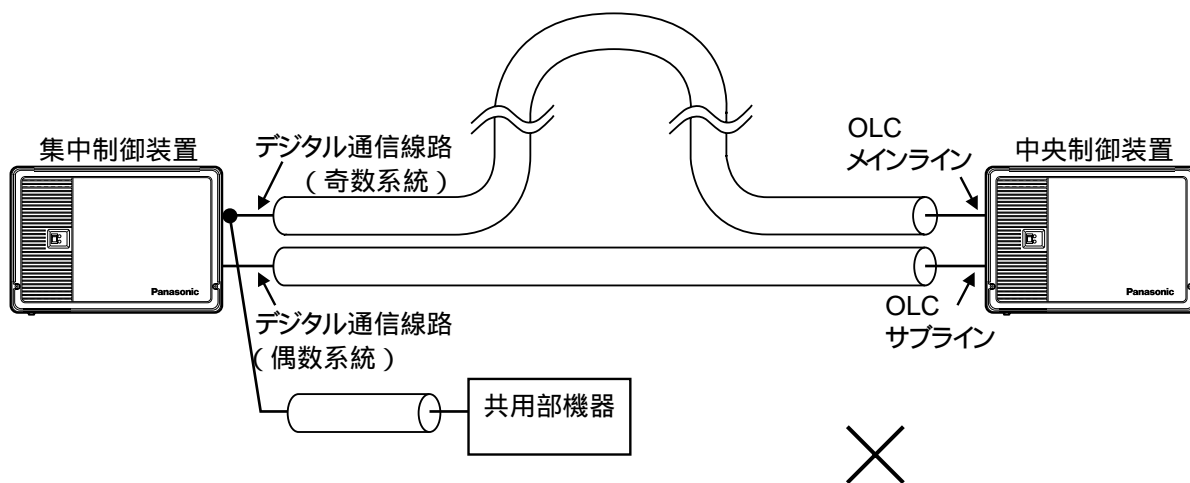
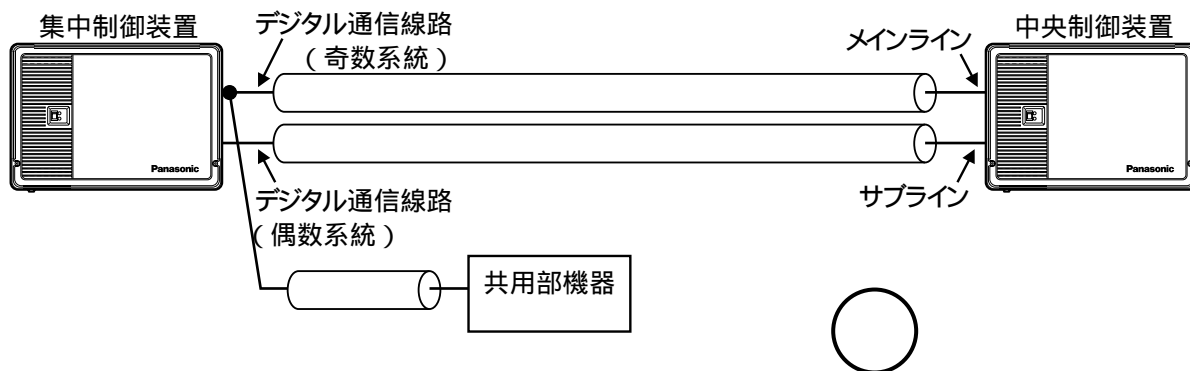
(6) デジタル通信線路について

2ペア接続の集中制御装置と中央制御装置間の配線途中に、分岐処理、または共用部機器接続をしないでください。奇数系統への共用部機器接続の場合は集中制御装置で分岐させてください。

(1ペア接続の場合の中央制御装置は、制御装置から電源が不要な共用部機器と同じ分類として接続可能です。従ってこの場合の集中制御装置と中央制御装置間の配線途中への分岐処理、または共用部機器接続は可能です。)



2ペア接続時の集中制御装置と中央制御装置間の配線において、2ペアを同一シースにできない場合、集中制御装置と中央制御装置間の配線距離を奇数系統/偶数系統共に同じにしてください。



## 9 配線の圧着接続子について

通信の品質を守るために、以下の事をお守りください。

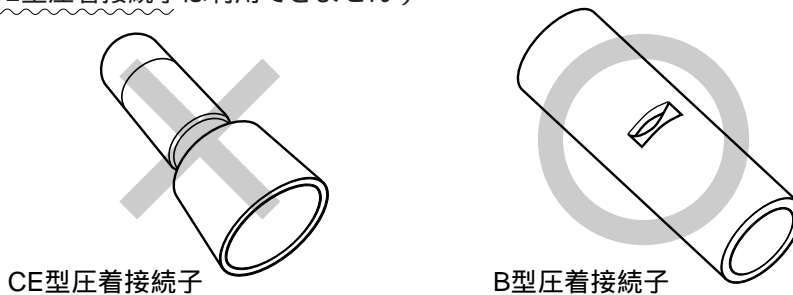
単線と撚線（変換器VG-R300DA付属ケーブルおよびボックス収納タイプ住戸分岐器VL-950）との圧着接続

単線と撚線の圧着には、適応した圧着接続子の選定が必要です。

下記のB型圧着接続子をご使用ください。

型番	適用電線範囲 (mm <sup>2</sup> )	適用圧着工具
B1.25	0.25 ~ 1.65	YHT-2210
B2	1.04 ~ 2.63	

（注：一般的なCE型圧着接続子は利用できません）



CE型圧着接続子

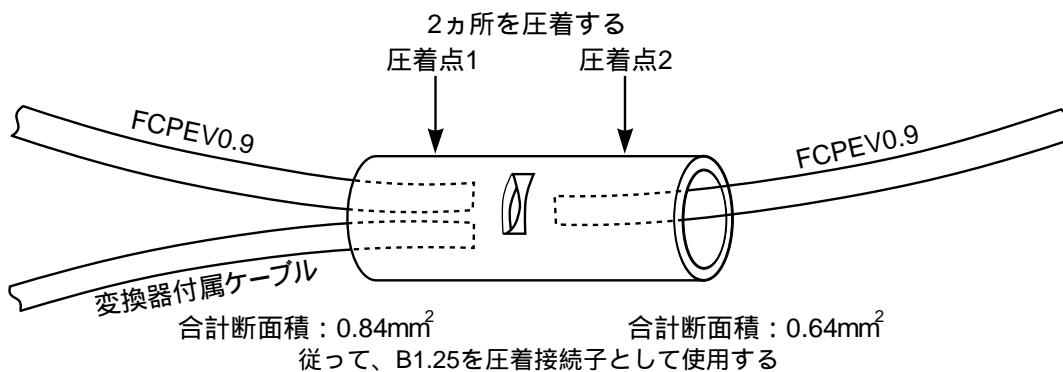
B型圧着接続子

適用電線範囲は、同時に圧着接続する線の断面積の合計です。

各ケーブルのケーブル断面積の換算表は以下に示すとおりです。

ケーブル種類	換算値
線径0.65mm（単線）	0.33mm <sup>2</sup>
線径0.9mm（単線）	0.64mm <sup>2</sup>
変換器付属ケーブル（撚線）	0.20mm <sup>2</sup>
VL-950ケーブル（撚線）	0.20mm <sup>2</sup>

圧着例:FCPEV0.9 を2本と変換器付属ケーブル1本とを圧着接続



お互いのケーブルは、巻きつけたり、よじったりせずに挿入して圧着してください。

FCPEV0.9 1本と変換器付属ケーブル1本とを接続する場合は、圧着点1側に、2本を差し込んで圧着してください。

（圧着点1側と2側、1本ずつに分けると、変換器付属ケーブルが適用電線範囲以下になります）

絶縁のため、B型圧着接続子用の絶縁カバーか絶縁テープを用いてください。

# 1. 集中制御装置 VG-C103D

## 1. 集中制御装置の取付方法

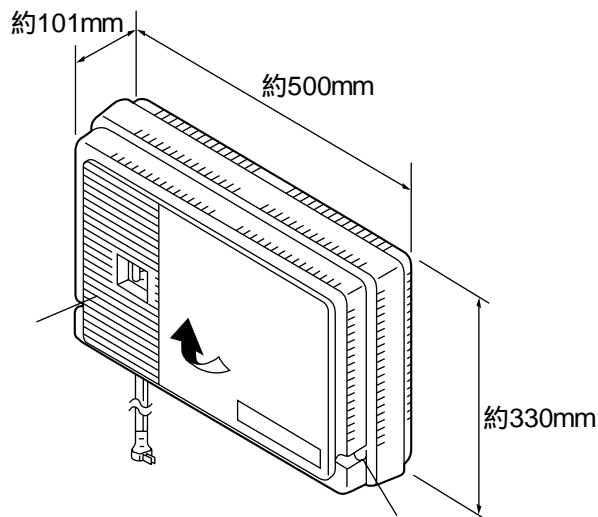
- お願い**
- ・集中制御装置の周囲30cm四方には、物を置かないでください。周囲30cm以内に物を置くと、放熱効果が妨げられ故障の原因になります。
  - ・指定方向以外に取付けをした場合は著しく電源寿命が低下する恐れがあります。
  - ・平置きは絶対に行わないでください。壁掛けまたは床置き金具を使用してください。  
(床置き金具:VB-D241製品名“床置きアダプター”)

### (1) 上カバーの開け方

手順

ねじ2本をはずす。(抜け防止ねじを使用しています)

上カバーを上を持ち上げてはずす。



### (2) 壁取付方法

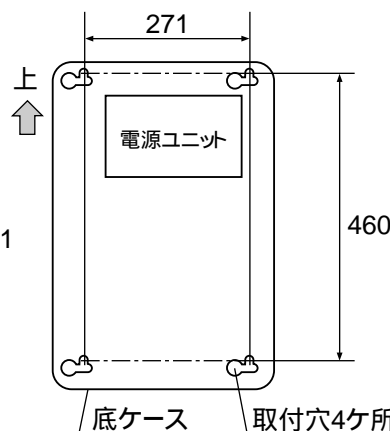
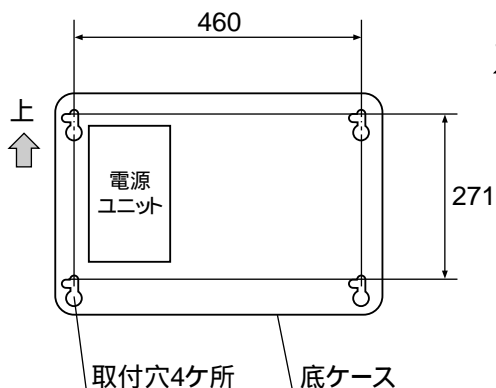
壁取付方法には、横向きと縦向きの取付方法が選べます。

- ・壁取付用ねじの取付寸法(単位mm)

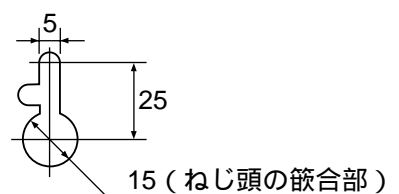
**お知らせ** 集中制御装置包装箱に同梱の寸法型紙をご活用ください。  
(型紙の収縮があるので、あらかじめ寸法を確認してください)

横向きのとき(電源ユニットは左側)

縦向きのとき(電源ユニットは上側)



必ず、電源ユニットが上になる様に設置してください。

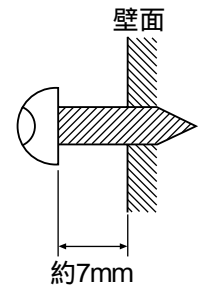


・取付ねじの固定寸法

取付ねじを壁面より約7mm（下ケースを嵌合のため）浮かして止める。

質量に耐える取付けをしてください。

（内蔵オプションを含む質量:6kg）



（例：4mm木ねじの場合）

手順

上カバーをはずす（上カバーの開け方を参照）。

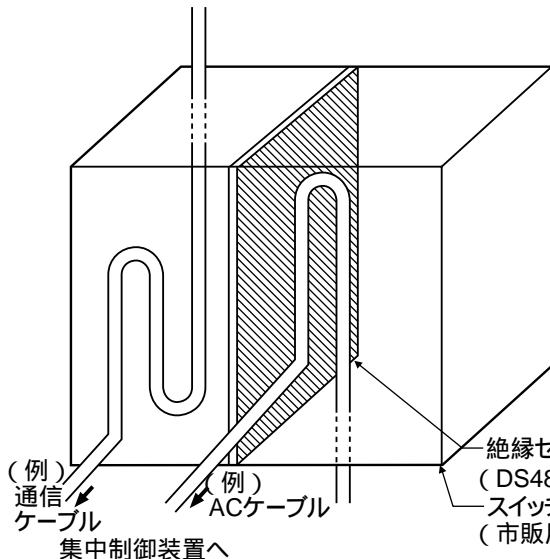
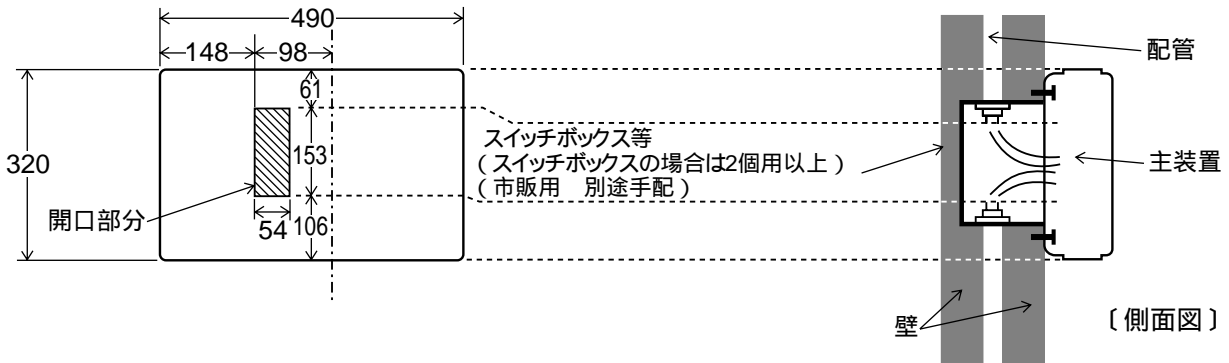
壁面に型紙を使用して指定の寸法で4ヶ所にねじ（4mm木ねじまたはボルトアンカー等）を取付ける。

底ケースの取付穴（4ヶ所）にねじを差し込んだ後、底カバーを下へ引き下げる。

4本の取付ねじを完全に締め付ける。



（3）壁取付の配線引廻し方法



絶縁セパレータ  
（DS48600 松下電工(株)製：2個用スイッチボックスの場合）  
スイッチボックス等  
（市販用 別途手配）

手順

集中制御装置の開口部分より線材を入線し、2個用以上スイッチボックス内で線材の余長処理を行ってください。

電源直結形にする場合は、2個用以上スイッチボックス内で強電側と弱電側を隔離するために、絶縁セパレータ（DS48600）を使用してください。

（例）  
（DS48600 松下電工(株)製：2個用スイッチボックスの場合）

#### (4) 床置き取付方法

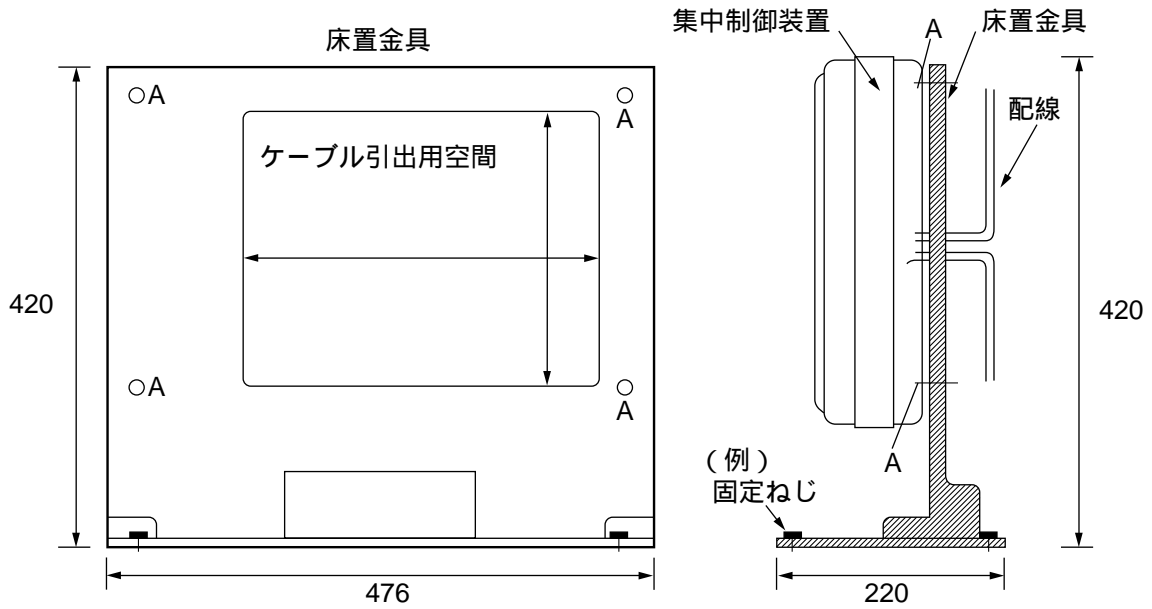
##### 手順

上カバーをはずす。

別売の「床置金具 (VB-D241)」の4ヶ所 (A) にねじを取付ける。

底ケースの取付穴にねじを差し込んだ後、底カバーを下へ引き下げる。


4本の取付ねじを完全に締め付ける。

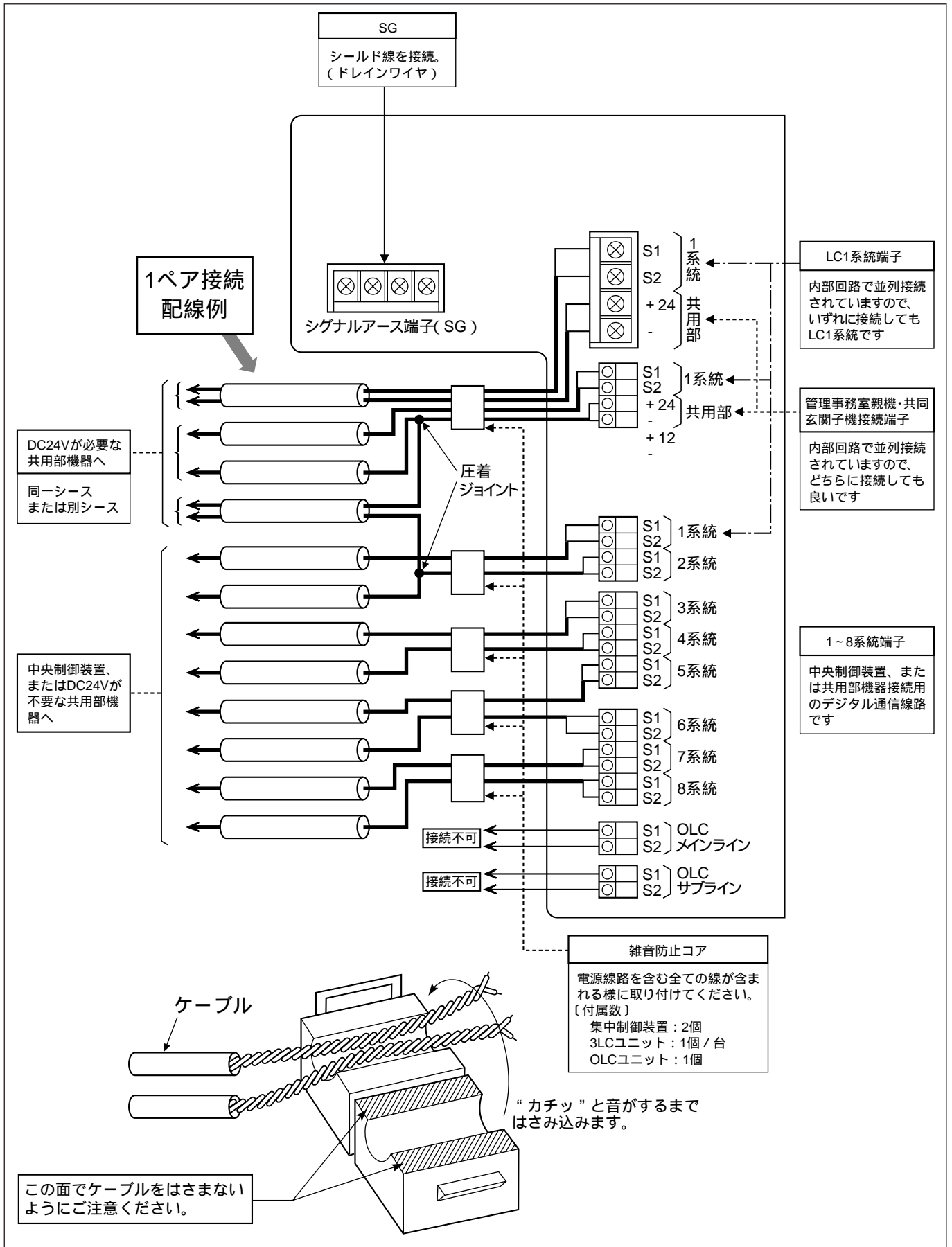




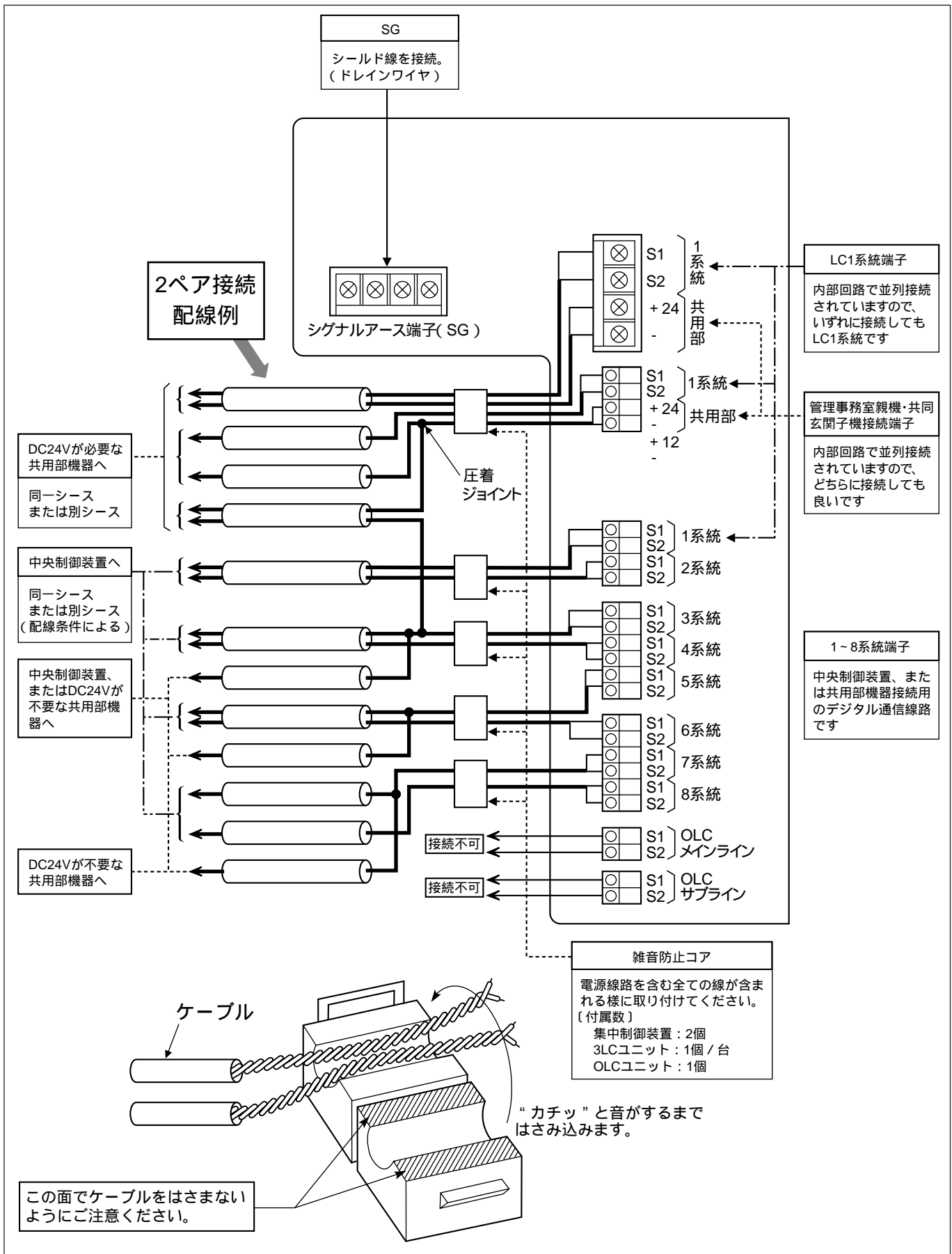


### 3. 端子配置および雑音防止コアの取付方法

前頁の  (アミカケ) 部の端子配置です。



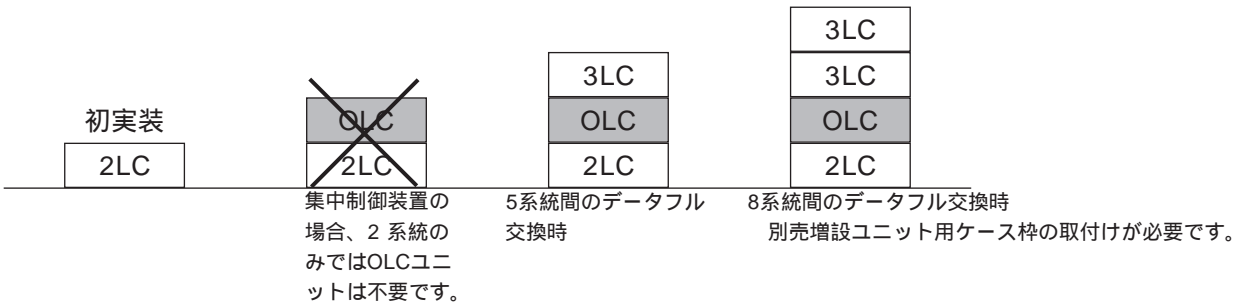
前頁の  (アミカケ) 部の端子配置です。



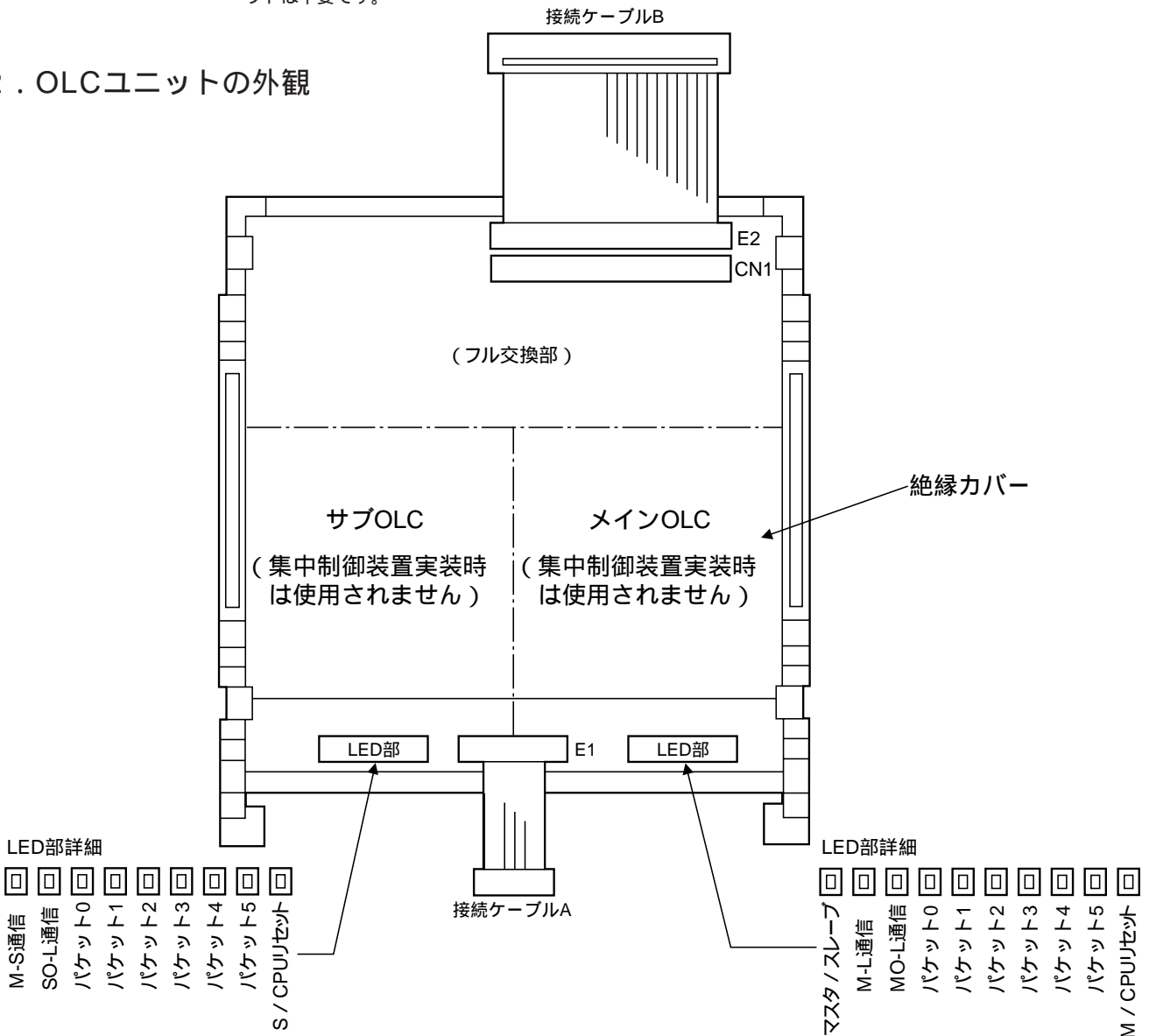
1 . 概要

OLCユニットは1～8系統のデジタルデータ（音声、映像）をフル交換するためのユニットです。  
 OLCユニットの取付方法に従って集中制御装置本体との接続を行ってください。

- お願い**
- ・作業時には、アースバンドをつける等、静電防止には十分な配慮をしてください。
  - ・OLCユニットの実装状態に合わせてプログラム番号90を速やかに設定してください。プログラム表を参照願います。
  - ・3LCユニットを実装する場合は、必ずOLCユニットの上の実装してください。



2 . OLCユニットの外観



### 3. OLCユニットの取付方法

取付け、または取外しの際は必ず電源を切った状態で行ってください。

取付ける前に、OLCユニットによく似た保護ケースを集中制御装置からとりはずしてください。

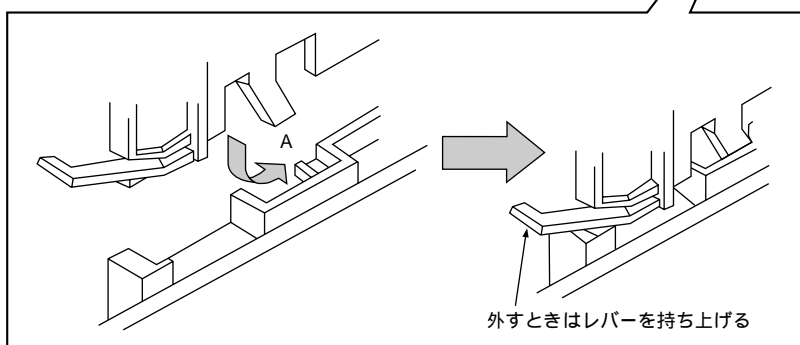
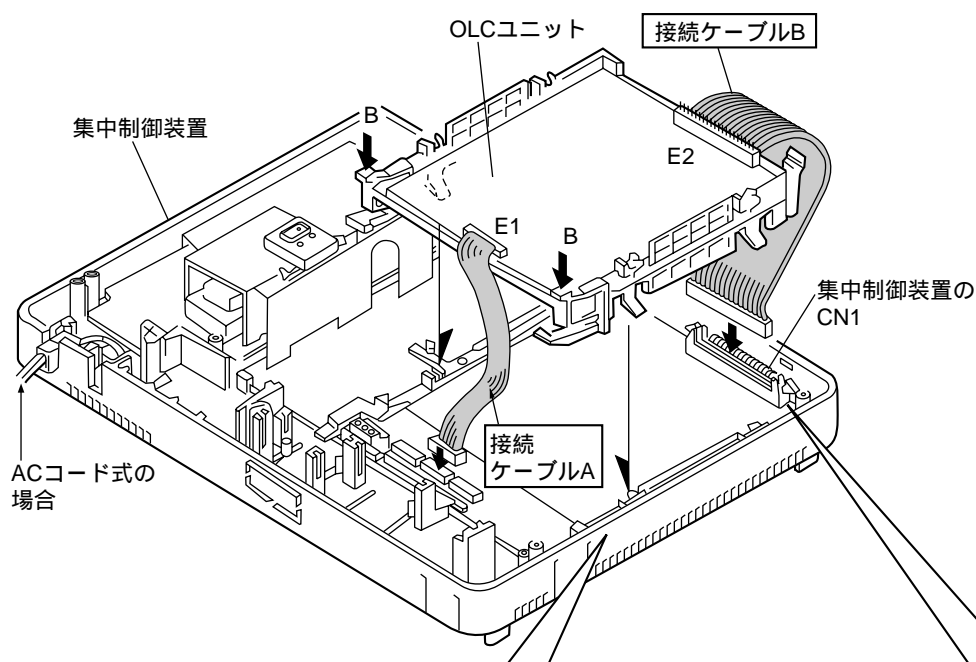
#### 手順

OLCユニットからの **接続ケーブルA** を集中制御装置のOLC (CN104) にしっかりと強く差し込みます。

OLCユニットからの **接続ケーブルB** を集中制御装置のCN1にしっかりと強く差し込みます。

集中制御装置の取付溝にOLCユニットの **Ⓐ**部を合わせ、ロックレバーにより固定されるまで (カチッと音がする) **Ⓑ**を押す。

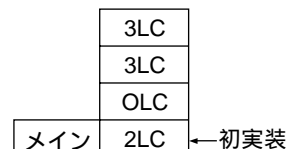
3LCユニットを実装するときはOLCユニットの上に3LCユニットを同様に重ねてください。この時3LCユニットの **接続ケーブルA**、**接続ケーブルB** は下表の接続先にしっかりと強く差し込んでください。最大8系統まで対応できます。



コネクタの接続手順【CN1 (50P)】	
(1) コネクタ受けの爪 (両方)を開ける (矢印方向に)	(1)  コネクタ受け CN1(50P)
(2) 本体部の接続コネクタを強く確実に挿入する	(2)
(3) コネクタ受けの爪 (両方)を閉じる (矢印方向に)	(3)

下表

システム	a ~ の		接続ケーブルA	接続ケーブルB
	b ~ は			
VG-C984DA	3LCユニット (上)	集中制御装置の LC8、LC7、LC6 (CN102) へ	集中制御装置の CN102 へ	3LCユニット (下) の CN100 へ
	3LCユニット (下)	集中制御装置の LC5、LC4、LC3 (CN101) へ		
VG-C987D	OLCユニット	集中制御装置の OLC (CN104) へ	集中制御装置のCN1へ	
初実装	2LC			



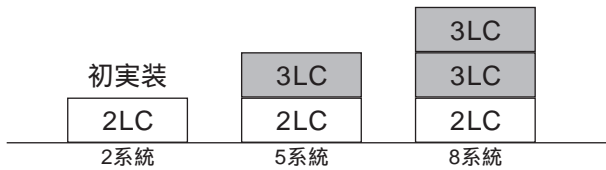
〔表の見方〕  
a 3LCユニット (上) の b 接続ケーブルAは集中制御装置のLC8、LC7、LC6 (CN102) へ接続します。太枠内は接続先です。

### 3. 3LCユニット VG-C984DA

#### 1. 概要

3LCユニット（3系統拡張）は初実装2LC（2系統用）システムに対して、系統数を拡張するためのユニットです。3LCユニットの取付方法に従って集中制御装置、または各ユニットとの接続を行ってください。（3LCユニットは最大2台接続（6系統拡張）できます）

- お願い**
- ・作業時には、アースバンドをつける等、静電防止には十分な配慮をしてください。
  - ・プログラムの設定が必要です。プログラム表を参照願います。（プログラム番号13～18）

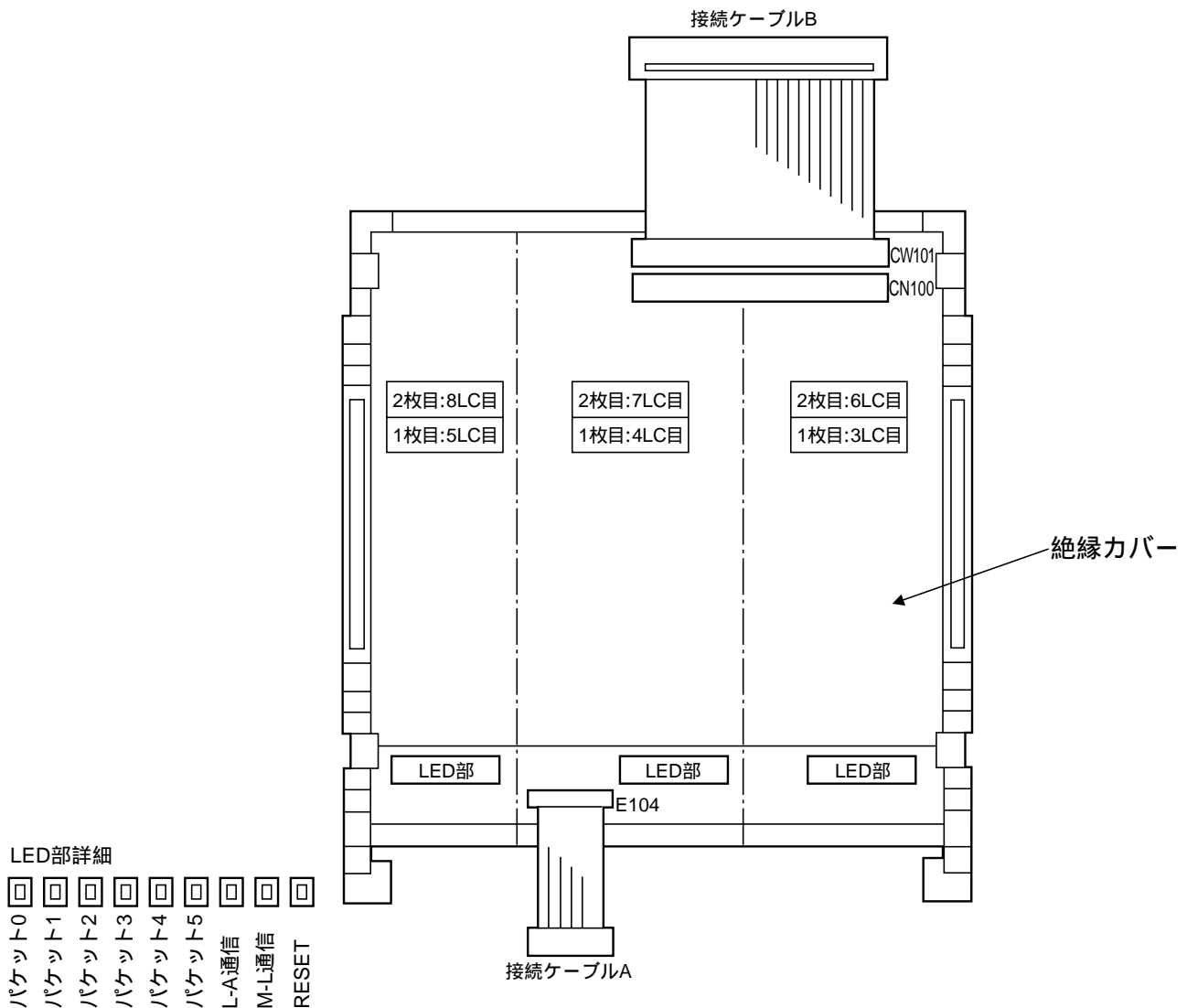


OLCユニットを実装する場合はOLCユニットの概要を参照してください。

	オプション
2系統まで（初実装）	不要
3～5系統まで	VG-C984DA(3LCユニット)
6～8系統まで	VG-C984DA(3LCユニット)2台目

・上表はOLCユニットを実装する場合も同様です。

#### 2. 3LCユニットの外観



##### LED部詳細

- |    |    |    |    |    |    |     |     |       |
|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-------|
| パケ | パケ | パケ | パケ | パケ | パケ | パケ  | パケ  | パケ    |
| ット | ット | ット | ット | ット | ット | 通信  | 通信  | RESET |
| 0  | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  | L-A | M-L |       |

### 3. 3LCユニットの取付方法

取付け、または取外しの際は必ず電源を切った状態で行ってください。

取付ける前に、3LCユニットによく似た保護ケースを集中制御装置からとりはずしてください。

#### 手順

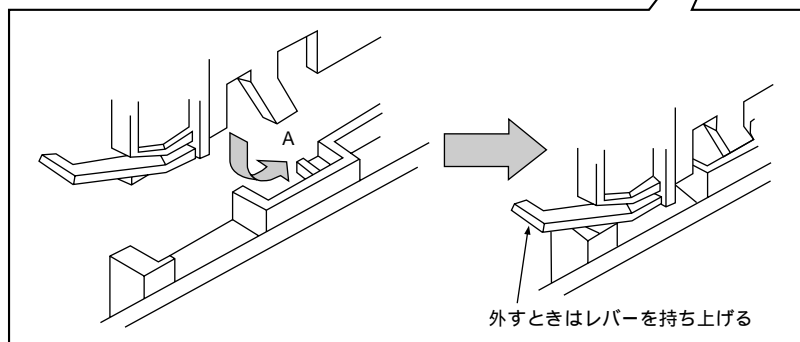
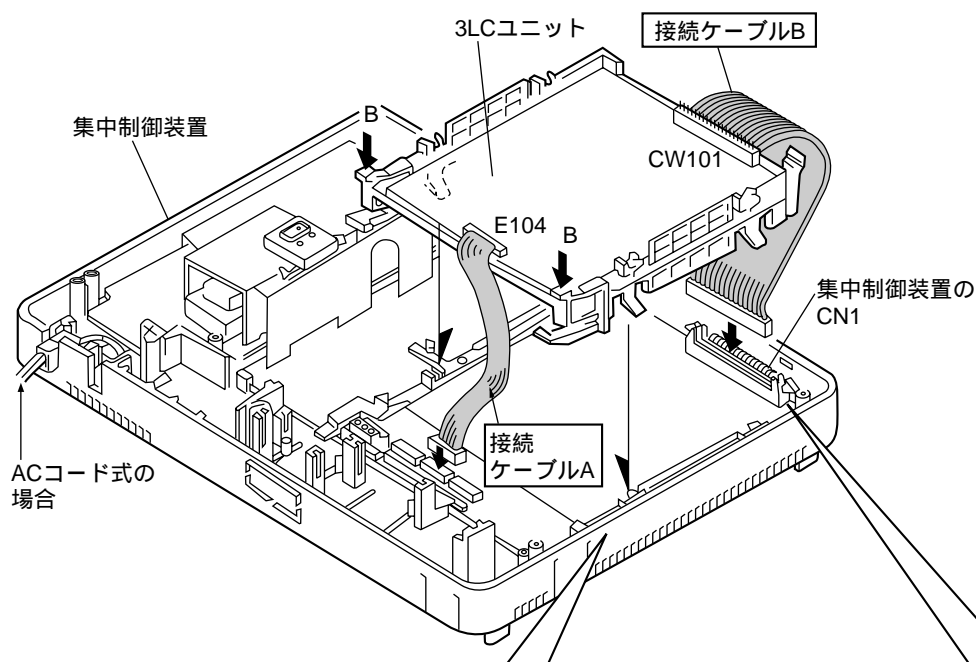
3LCユニットからの **接続ケーブルA** を集中制御装置のLC5、LC4、LC3 (CN101) にしっかりと強く差し込みます。

3LCユニットからの **接続ケーブルB** を集中制御装置のCN1 にしっかりと強く差し込みます。

集中制御装置の取付溝に3LCユニットの①部を合わせ、ロックレバーにより固定されるまで (カチッと音がする) ②を押す。

さらに拡張するときは3LCユニットの上に3LCユニットを同様に重ねてください。この時 **接続ケーブルA** は集中制御装置のLC8、LC7、LC6 (CN102) に、**接続ケーブルB** は下の3LCユニットのCN100にしっかりと強く差し込んでください。最大8系統まで対応できます。

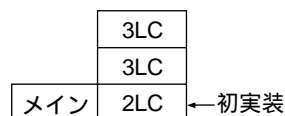
接続ケーブルA、Bについては、下表を参照してください。



コネクタの接続手順 [CN1 (50P)]	
(1) コネクタ受けの爪 (両方)を開ける(矢印方向に)	(1)  コネクタ受け CN1(50P)
(2) 本体部の接続コネクタを強く確実に挿入する	(2)
(3) コネクタ受けの爪 (両方)を閉じる(矢印方向に)	(3)

下表 (OLCユニットも実装する場合はOLCユニットの取付方法における下表を参照してください。)

システム	b ~ は		接続ケーブルA	接続ケーブルB
	a ~ の			
VG-C984DA	3LCユニット (上)		集中制御装置の LC8、LC7、LC6 (CN102) へ	3LCユニット (下) の CN100へ
	3LCユニット (下)		集中制御装置の LC5、LC4、LC3 (CN101) へ	集中制御装置のCN1へ
初実装		2LC		



〔表の見方〕  
a 3LCユニット (上) の b 接続ケーブルAは集中制御装置のLC8、LC7、LC6 (CN102) へ接続します。太枠内は接続先です。

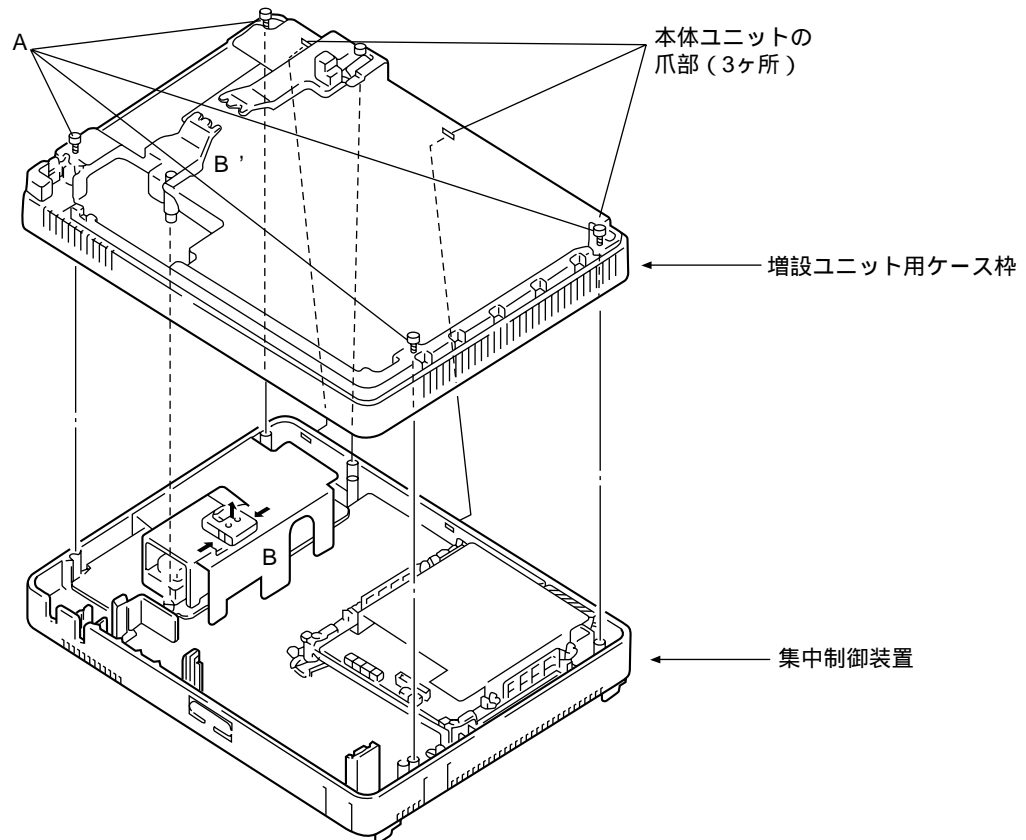
## 4. 増設ユニット用ケース枠 VG-C988〔別売〕

### 1. 概要

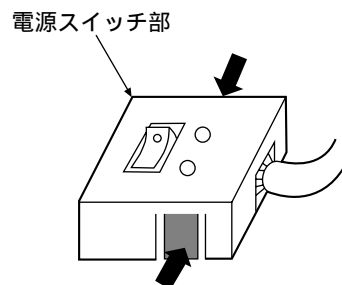
3LCユニットを2台、かつOLCユニットを1台の合計3台のユニットを実装する際に集中制御装置に取付けが必要です。

### 2. 増設ユニット用ケース枠の取付方法

集中制御装置の凹部（3ヶ所）に増設ユニット用ケース枠の爪を合わせながら取付け、ネジ6本<sup>Ⓐ</sup>で固定する。



電源スイッチ部を、<sup>Ⓑ</sup>から取り外し、増設ユニット用ケース枠の<sup>Ⓑ'</sup>部に取り付けます。  
(電源スイッチ部ははめ込み式です。)



矢印部分を押しと電源スイッチ部は、取り外せます。



5 . 共同玄関子機 VL-575A ,VL-576A ,VG-K547CD ,VG-K548CD

集中制御装置を接続するシステムの場合、中央制御装置側も含めてアナログ映像の共同玄関子機 ( VL-545C 「 J」、VL-546C 「 J」) は接続できません。従ってこの場合の接続可能な種類は下表の16種類となります。

品 名	品 番	備 考
標準共同玄関子機	VL-575AN VL-575AY	N : 管理事務室呼出表示なし Y : 管理事務室呼出表示あり { -A : ゴールド調 -S : シルバー調 品番末尾に外観色の記号が付きますが、以降本取付工事説明書では省略します。
逆マスターキー取付用 共同玄関子機	VL-576AN VL-576AY	
カラーカメラ付共同玄関子機 ( 1 )	VG-K547CDN VG-K547CDY	
逆マスターキー取付用 カラーカメラ付共同玄関子機( 1 )	VG-K548CDN VG-K548CDY	

1 デジタル映像による伝送 ( デジタルペア線式マンションシステム専用 )

**お願い** 詳細は中央制御装置 ( VG-C101DA ) に付属の取付工事説明書を参照願います。

- ・集中制御装置側への接続端子は、中央制御装置の端子名称と同じ1～8系統 ( S1、S2 ) および共用部 ( +24、 - ) です。
- ・共同玄関子機を集中制御装置、中央制御装置をそれぞれに複数接続する場合は、それぞれの制御装置内で機器番号SWを重複させないでください。
- ・プログラム設定も中央制御装置と同様の要領で集中制御装置に行ってください。

6 . 管理事務室親機 VG-E485A

**お願い** 詳細は中央制御装置 ( VG-C101DA ) に付属の取付工事説明書を参照願います。

- ・集中制御装置側への接続端子は、中央制御装置の端子名称と同じ1～8系統 ( S1、S2 ) および共用部 ( +24、 - ) です。
- ・管理事務室親機を集中制御装置、中央制御装置それぞれに複数接続する場合は、それぞれの制御装置内で機器番号の設定を重複させないでください。
- ・集中制御装置を接続するシステムの場合はアナログ映像の共同玄関子機は接続できません。従ってモニターテレビユニットは接続できません。

7 . 変換器 VG-R300DA

**お願い** 詳細は中央制御装置 ( VG-C101DA ) に付属の取付工事説明書を参照願います。

- ・集中制御装置側への接続端子は、中央制御装置の端子名称と同じ1～8系統 ( S1、S2 ) です。

## 8 . 集住映像伝送アダプター VG-R900D

**お願い** 集住映像伝送アダプターの接続および取付方法詳細は、集住映像伝送アダプター、および中央制御装置（VG-C101DA）に付属の取付工事説明書を参照願います。

- ・集中制御装置側への接続端子は、中央制御装置の端子名称と同じ1～8系統（S1、S2）です。
- ・集住映像伝送アダプターを集中制御装置、中央制御装置それぞれに複数する場合は、それぞれの制御装置内で機器番号SWを重複させないでください。

## 9 . 工事後の点検およびサービスについて

### 1 . 各端末～集中制御装置間デジタル通信線路の配線チェック方法

中央制御装置（VG-C101DA）に付属の取付工事説明書に記載の「各端末～中央制御装置間デジタル通信線路の配線チェック方法」と同様の要領で行ってください。

### 2 . 集中制御装置のメイン基板MPU部のLEDについて

中央制御装置（VG-C101DA）に付属の取付工事説明書に記載の「中央制御装置のメイン基板MPU部のLEDについて」と同様です。

### 3 . 3LCユニットおよびOLCユニットのLEDについて

中央制御装置（VG-C101DA）に付属の取付工事説明書に記載の「3LCユニットおよびOLCユニットのLEDについて」と同様です。

### 4 . 変換器のLEDについて

中央制御装置（VG-C101DA）に付属の取付工事説明書に記載の「変換器のLEDについて」と同様です。

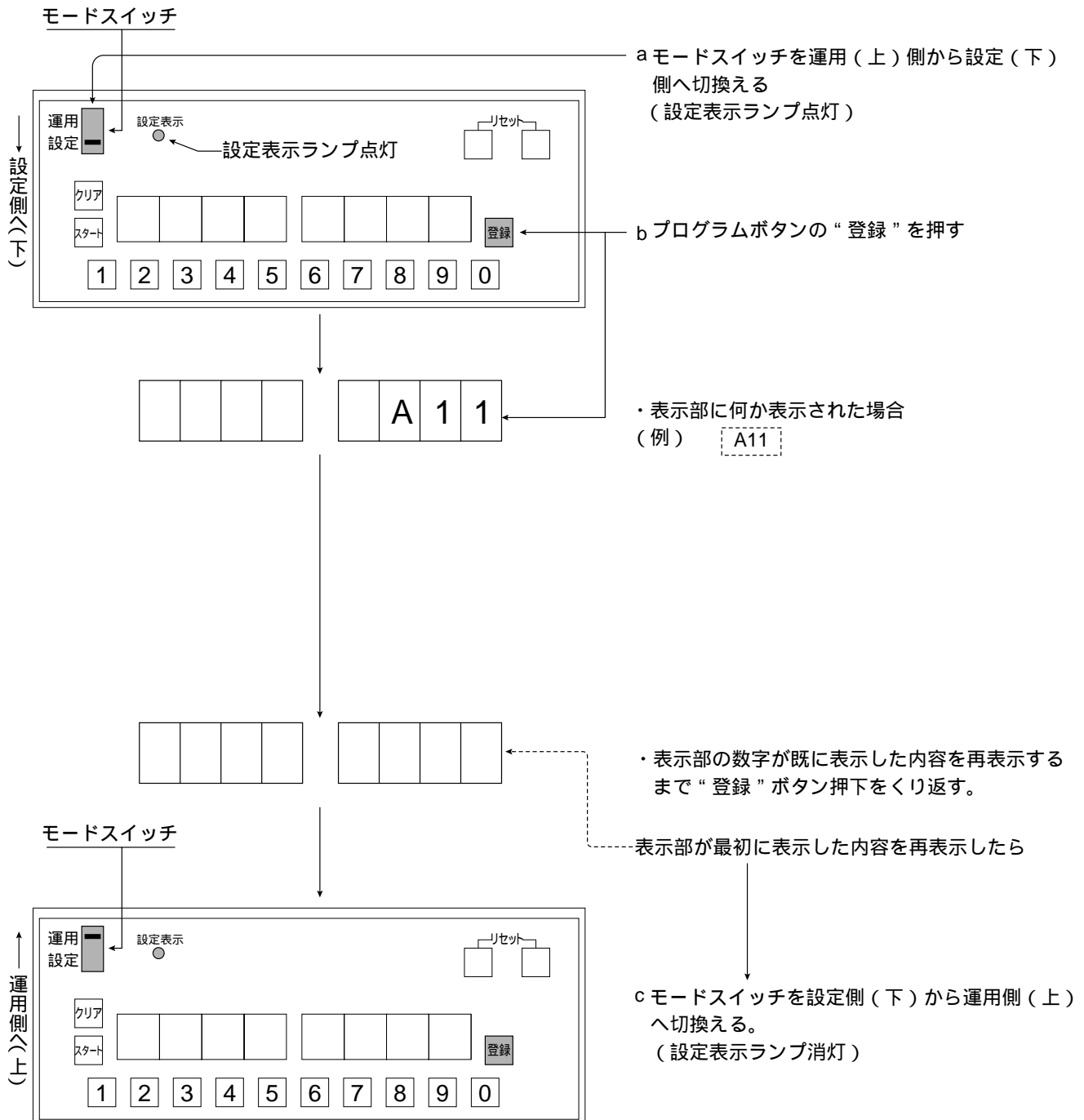
## 5. プログラムボード異常表示

プログラム設定後、集中制御装置のプログラムボードに異常表示がされるかを確認する。

異常表示内容については

「異常表示内容と主な対応処置箇所」の項目を参照し、対応処置願  
います。

管理事務室親機がない場合は、異常音が鳴りませんので、必ずシステム動作点検前にプログラムボードにて中央制御装置や集中制御装置に接続される共用部機器の点検を行ってください。



プログラムボード表示とは別に  
管理事務室親機接続時は、異常灯が点滅し、異常音（ピーピー...）が鳴動。  
 ハンドセットをとり上げると異常箇所機器番号を表示することができます。  
 (注) ただし、プログラム設定が必要で、プログラム番号「08」管理事務室  
 親機からの通信異常情報出力有り/無し設定を、「有り」にすること。  
 [出荷時状態は「無し」]  
 「プログラム表の作成と登録」参照

管理事務室親機

VG-E485A

異常ランプ点滅 ハンドセットを上げる 音ストップ 異常箇所の表示 { 例  
 ・ エントランス1  
 共同玄関子機( 機器番号1の異常)

診断ボタンを押すと次の異常箇所が表示される (巡回表示)

クリアボタンを押すとその異常表示がクリアされる (全ての異常表示をクリアすると異常ランプ消灯)

異常ランプが消灯していても診断表示します。

ハンドセットを上げる 診断ボタンを押す 異常箇所の表示 診断ボタンを押すと次の異常箇所が表示される (巡回表示)  
 (異常がない場合は“キキジョウナシ”を表示)

異常表示内容の詳細は、次頁参照願います。

プログラム設定後の異常の表示 (プログラムボード)	対応処置方法	備考
A11	<ul style="list-style-type: none"> <li>初期設定 (出荷時状態) でプログラム設定は、共同玄関子機1が集中制御装置のLC1系統目に接続設定されています。共同玄関子機1をLC1系統に接続するとA11が消えます。</li> <li>集中制御装置と集中制御装置に接続の共同玄関子機間の配線を確認する。</li> </ul>	
A01	<ul style="list-style-type: none"> <li>初期設定 (出荷時状態) でプログラム設定は、管理事務室親機1が集中制御装置のLC1系統目に接続設定されています。管理事務室親機1をLC1系統に接続すると、A01が消えます。</li> <li>集中制御装置と集中制御装置に接続の管理事務室親機間の配線を確認する。</li> </ul>	

## 6. 異常表示内容と主な対応処置箇所

プログラムボードにおける異常表示内容	管理事務室親機における異常表示内容 別途接続し、制御装置のプログラム番号「08」通信情報出力「有り」に設定した場合	主な対応処置箇所
A01 1	カンリ1 1	機器番号1に該当する管理事務室親機の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A02	2	機器番号2に該当する管理事務室親機の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A03	3	機器番号3に該当する管理事務室親機の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A04	4	機器番号4に該当する管理事務室親機の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A05	5	機器番号5に該当する管理事務室親機の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A06	6	機器番号6に該当する管理事務室親機の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A07	7	機器番号7に該当する管理事務室親機の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A08	8	機器番号8に該当する管理事務室親機の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A11 1	エントランス1	機器番号1に該当する共同玄関子機の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A12	2	機器番号2に該当する共同玄関子機の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A13	3	機器番号3に該当する共同玄関子機の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A14	4	機器番号4に該当する共同玄関子機の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A15	5	機器番号5に該当する共同玄関子機の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A16	6	機器番号6に該当する共同玄関子機の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A17	7	機器番号7に該当する共同玄関子機の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A18	8	機器番号8に該当する共同玄関子機の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。

- 1 イニシャル（初期設定・出荷時状態）でプログラム設定は管理事務室親機<sub>1</sub>がLC1系統に1台と、共同玄関子機<sub>1</sub>がLC1系統に1台になっています。機器を接続すると、A01 [カンリ1]、A11 [エントランス1] が消えます。

プログラムボードにおける異常表示内容	管理事務室親機における異常表示内容 別途接続し、制御装置のプログラム番号「08」通信情報出力「有り」に設定した場合	主な対応処置箇所
A31	アダプター1	機器番号1に該当するデータ入出力アダプター（VL-M887）などの未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A32	2	機器番号2に該当するデータ入出力アダプター（VL-M887）などの未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A33	3	機器番号3に該当するデータ入出力アダプター（VL-M887）などの未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A34	4	機器番号4に該当するデータ入出力アダプター（VL-M887）などの未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A35	5	機器番号5に該当するデータ入出力アダプター（VL-M887）などの未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A36	6	機器番号6に該当するデータ入出力アダプター（VL-M887）などの未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A37	7	機器番号7に該当するデータ入出力アダプター（VL-M887）などの未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A38	8	機器番号8に該当するデータ入出力アダプター（VL-M887）などの未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A41	2	機器番号1に該当する映像伝送アダプター（VG-R900D）の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A42	2	機器番号2に該当する映像伝送アダプター（VG-R900D）の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A43	2	機器番号3に該当する映像伝送アダプター（VG-R900D）の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A44	2	機器番号4に該当する映像伝送アダプター（VG-R900D）の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。

2 VG-C103Dのみ表示されます。

プログラムボードにおける異常表示内容	管理事務室親機における異常表示内容 別途接続し、制御装置のプログラム番号「08」通信情報出力「有り」に設定した場合	主 な 対 応 処 置 箇 所
A45 2	—————	機器番号5に該当する映像伝送アダプター（VG-R900D）の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A46 2	—————	機器番号6に該当する映像伝送アダプター（VG-R900D）の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A47 2	—————	機器番号7に該当する映像伝送アダプター（VG-R900D）の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
A48 2	—————	機器番号8に該当する映像伝送アダプター（VG-R900D）の未接続又は不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
L-1	LC1	LC1に該当する回路の不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
L-2	LC2	LC2に該当する回路の不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
L-3	LC3	LC3に該当する回路の不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
L-4	LC4	LC4に該当する回路の不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
L-5	LC5	LC5に該当する回路の不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
L-6	LC6	LC6に該当する回路の不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
L-7	LC7	LC7に該当する回路の不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
L-8	LC8	LC8に該当する回路の不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
oE-1 2	—————	OLCユニットの不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。
oE-2 2	—————	OLCユニットの未装着または不具合。対応処置後プログラムボードのリセットボタンでリセットを行う。

2 VG-C103Dのみ表示されます。

プログラムボードにおける異常表示内容	管理事務室親機における異常表示内容 別途接続し、制御装置のプログラム番号「08」通信情報出力「有り」に設定した場合	主な対応処置箇所
EL-1	シュウチュウ1	系統1に接続された中央制御装置との通信障害時に表示されます。
EL-2	シュウチュウ2 3	系統2に接続された中央制御装置との通信障害時に表示されます。
EL-3	シュウチュウ3	系統3に接続された中央制御装置との通信障害時に表示されます。
EL-4	シュウチュウ4 3	系統4に接続された中央制御装置との通信障害時に表示されます。
EL-5	シュウチュウ5	系統5に接続された中央制御装置との通信障害時に表示されます。
EL-6	シュウチュウ6 3	系統6に接続された中央制御装置との通信障害時に表示されます。
EL-7	シュウチュウ7	系統7に接続された中央制御装置との通信障害時に表示されます。
EL-8	シュウチュウ8 3	系統8に接続された中央制御装置との通信障害時に表示されます。
Lm-Ln	トウチョウフクm-n	中央制御装置mと中央制御装置nの棟番号設定が重複している時に表示されます。 (m、n：中央制御装置が接続されている集中制御装置のLC番号) 詳細は中央制御装置(VG-C101DA)に同梱の「プログラム表の作成と登録」に記載のプログラム番号11～18を参照してください。

3 集中制御装置のプログラム番号1が2(2ペア接続)の場合は表示されません。



## 7. 集中制御装置のメモリーバックアップ用電池の交換方法

中央制御装置 (VG-C101DA) の要領と同様です。

## 8. 絶縁抵抗試験 (500Vメガテスト) / 耐電圧試験 (AC1kV) について

中央制御装置 (VG-C101DA) の要領と同様です。

## 9. 共同玄関子機について

共同玄関子機取付後のご注意

共同玄関子機は防雨構造になっていますが、タイル水洗いの際、水がかからないよう共同玄関子機をはずしてください。または共同玄関子機に防水のシート等をかぶせてください。

## 10. 管理事務室親機のメモリーバックアップについて

中央制御装置 (VG-C101DA) に付属の取付工事説明書を参照願います。

### 1 . 中央制御装置に接続された共用部機器から

中央制御装置に接続された共用部機器（共同玄関子機等）からの呼び出しは、同一の中央制御装置に接続された室内親機（以下カラーモニター室内親機を含む）、または同一中央制御装置および集中制御装置に接続された共用部機器（管理事務室親機等）に限られます。異なる中央制御装置に接続された室内親機、共用部機器を呼び出すことはできません。

### 2 . 中央制御装置に接続された室内親機から

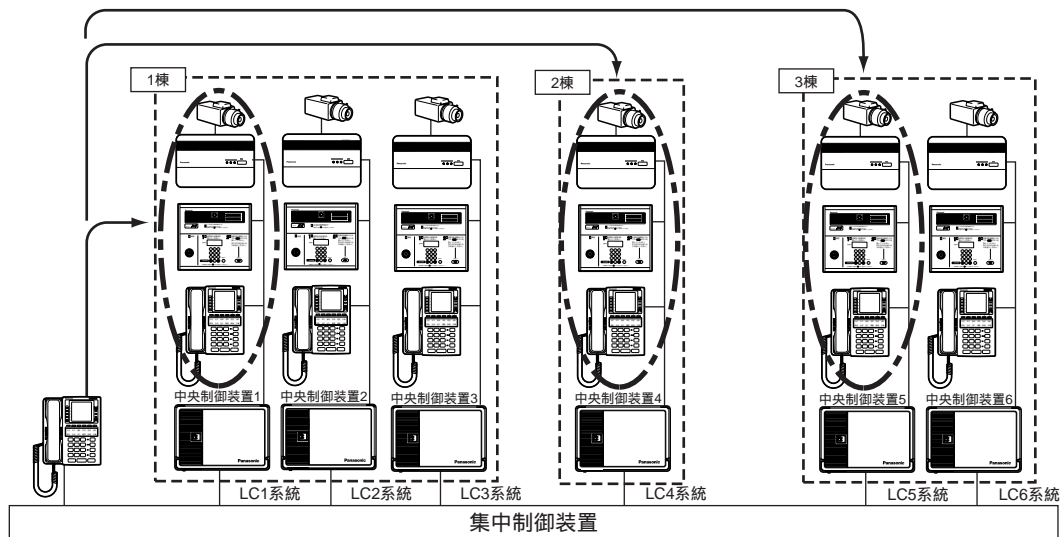
中央制御装置に接続された室内親機からの呼び出しは、同一の中央制御装置に接続された室内親機、または同一の中央制御装置および集中制御装置に接続された共用部機器（管理事務室親機等）に限られます。異なる中央制御装置に接続された共用部機器を呼び出すことはできません。ただし、中央制御装置に接続された室内親機からの住戸間通話は、他の中央制御装置に接続された室内親機と可能です。

### 3 . カラーモニター室内親機から

カラーモニター室内親機から閲覧できる監視カメラの映像は、同一の中央制御装置および集中制御装置に接続された集住映像伝送アダプターに限られます。異なる中央制御装置に接続された集住映像伝送アダプターの監視カメラ映像を閲覧することはできません。

#### 4. 集中制御装置に接続された管理事務室親機から

複数の中央制御装置に同一棟が存在する場合において、集中制御装置に接続された管理事務室親機から中央制御装置に接続された共用部端末への呼び出しは、その共用部端末の機器番号に関係なく、集中制御装置の最若番のLC系統に接続される中央制御装置に接続されたものに限られます。

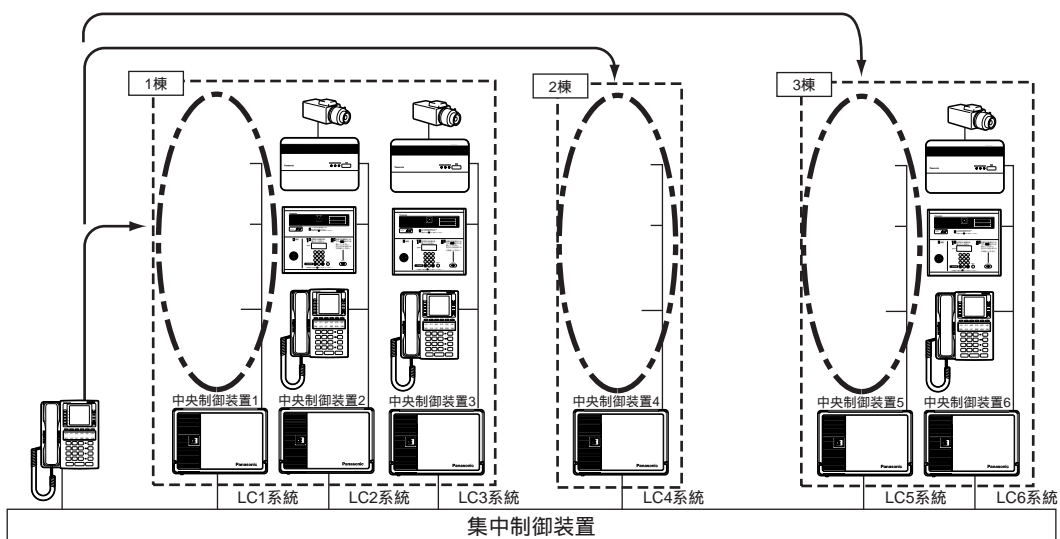


中央制御装置n：集中制御装置のLCn系統に接続された中央制御装置（2ペア接続の場合は奇数系統側）

従って下図の様に、

- ・最若番以外の共用部機器は常に呼び出しができません。
- ・最若番の中央制御装置に共用部機器が接続されていない場合は、その棟の呼び出しができません。

あらかじめ共用部を最若番に集中して接続するか、集中制御装置側に接続してください。（ただし各箇所の接続台数にご注意ください。）



集合住宅用セキュリティシステム  
デジタルペア線式マンションシステム(アギーオ)用

集中制御装置VG-C103D用

1 プログラム表の作成と登録

2 プログラム登録(変更)マニュアル

住戸番号の設定は不要

様	年	月	日	設定者
---	---	---	---	-----

工事をなさる方へのお願い

集中制御装置を接続するシステムの場合は

- ・中央制御装置(VG-C101DA)は別名スレーブ側
- ・集中制御装置(VG-C103D)は別名マスター側となります。

接続されている全ての中央制御装置側は、下記のことを行ってください。

- ・OLCユニット(VG-C987D)を実装し、プログラム番号90を実装(1)に設定。
- ・プログラム番号91を、その中央制御装置のOLCメインラインが接続されている集中制御装置の系統番号に設定してください。

集中制御装置側はプログラム番号01、11~18をご確認ください。

中央制御装置と2ペア(2系統)接続することにより、通話や映像の同時接続可能な本数を2倍にすることもできます。ただし機器の接続に制限があります。

変換器にアドレス設定は不要です。

但し、共用部機器に接続するか住戸機器に接続するかを変換器内部のSW1にて設定してください。

本書は、プログラム設定記録保存用としてご使用願います。

- ・工事完了後、動作テスト確認、仕様の変更(プログラム変更登録)経歴、各種検査、定期点検、増改築工事等の際に必要な為、保管願います。

OLCユニットの実装状態に合わせてプログラム番号90を速やかに設定してください。

設定内容の実装状態が異なる場合、制御装置が定期的にはリセットされ設定ができない場合があります。又、システムは停止状態となります。

具体的なプログラム設定の方法は、78頁の「**2** プログラム登録(変更)マニュアル」を参照願います。

中央制御装置で設定する棟分け設定に関する注意は、中央制御装置に同梱のプログラム表(プログラム番号11~18)の(注3)を参照願います。

## 工事をなさる方へのお願い

下記フローチャートにしたがい、取付工事を行ってください。(例)

- 1 各中央制御装置、および中央制御装置側に接続される共用部機器、室内親機の取付・配線工事、プログラム設定をする。

(全ての中央制御装置には別売のOLCユニット(VG-C987D)実装してください)



- 2 各中央制御装置に接続されている機器の動作確認をする。



- 3 集中制御装置(3LCユニット、OLCユニット)、共同玄関子機、管理事務室親機等の取付・配線工事(各中央制御装置と集中制御装置間の配線工事含む)



- 4 集中制御装置のAC電源を供給する。制御装置の電源ONする。



- 5 プログラム番号90の設定を集中制御装置のプログラムボードで確認、または変更する。



- 6 プログラム番号01の設定を集中制御装置のプログラムボードで確認、または変更する。



- 7 プログラム番号11~18の設定を制御装置のプログラムボードで確認、または登録・変更する。



- 8 使用する機器間の動作確認をする。

## 目 次

プログラム設定の具体的な方法は、78頁以降の「2 プログラム登録（変更）マニュアル」を参照願います。

項 目		頁
プログラム番号一覧		55～58
プログラム番号 00	(設定不要)	59
プログラム番号 01	1ペア/2ペア接続方式設定	59
プログラム番号 02	一斉放送有り/無し設定	60
プログラム番号 03	警報音停止有り/無し設定	61
プログラム番号 04	共同玄関子機1～8の接続系統番号設定	61
プログラム番号 05	管理事務室親機1～8の接続系統番号設定	62
プログラム番号 07	(設定不要)	62
プログラム番号 08	管理事務室親機からの通信異常情報出力有り/無し設定	62
プログラム番号 09	共同玄関電気錠のセキュリティによる解錠有り/無し設定	63
プログラム番号 10	管理事務室親機からの共同玄関電気錠のワンタッチ解錠有り/無し設定	63
プログラム番号 11～18	系統別LC1～8の接続状態設定	64
プログラム番号 19	各種同時接続本数設定	65
プログラム番号 21～28	共同玄関子機1～8が属する棟番号設定	66
プログラム番号 30	管理事務室親機グループ着信有り/無し設定	66
プログラム番号 31～38	管理事務室親機1～8が管理する棟番号設定	67
プログラム番号 40	暗証番号2の種別設定	68
プログラム番号 41～48	共同玄関子機1～8の電気錠暗証番号1、2設定	69
プログラム番号 50	(設定不要)	69
プログラム番号 51～58	共同玄関子機1～8の電気錠解錠時間帯1、2設定	70
プログラム番号 60	年月日(日付の)設定	71
プログラム番号 61	時分秒(時刻の)設定	71
プログラム番号 63	監視カメラ映像最大接続時間設定	72
プログラム番号 64	共用部通話最大接続時間設定	72
プログラム番号 65	住戸間通話最大接続時間設定	72
プログラム番号 66	ガス断線発報の有り/無し設定	72
プログラム番号 68	報知音鳴動時間帯設定	72
プログラム番号 71～78	共同玄関子機1～8の電気錠解錠時間設定	73
プログラム番号 80	(設定不要)	73
プログラム番号 81	集住映像伝送アダプター1～8の接続系統番号設定	74
プログラム番号 82	(設定不要)	75
プログラム番号 83	監視カメラ1～8の連動指定設定	75
プログラム番号 84	管理事務室親機1～8のモニター連動指定設定	76
プログラム番号 90	OLCユニット実装/未実装設定	77
プログラム番号 92	アダプター1～8の接続系統番号設定	77

プログラム表

# プログラム番号一覧

一覧表上の印の意味は以下の通りです

印：管理事務室親機のダイヤルにより設定可能な項目

印：管理事務室親機の「メニュー」ボタンにより設定可能な項目

または 印のないプログラムは中央制御装置で設定します。

プログラム番号	設定内容	初期値	備考
00		【空白】-	設定しないでください
01	1ペア/2ペア接続方式	【1】1ペア接続	【2】2ペア接続
02	一斉放送有り/無し	【0】無し	【1】一斉有り【2】一斉、フロア一斉有り
03	警報音停止有り/無し	【0】無し	【1】有り(除く火災、ガス、非常)
04	1 共同玄関1 接続系統番号	【1】1系統	【1~8】接続系統番号 【空白】未接続
	2 " 2 "	【空白】未設定	
	{ }	【空白】未設定	
	8 " 8 "	【空白】未設定	
05	1 管理事務室親機1 接続系統番号	【1】1系統	【1~8】接続系統番号 【空白】未接続
	2 " 2 "	【空白】未設定	
	{ }	【空白】未設定	
	8 " 8 "	【空白】未設定	
07		【0】	設定しないでください
08	管理事務室親機からの通信異常情報出力有り/無し	【0】無し	【1】有り
09	共同玄関のセキュリティによる解錠有り/無し	【0】無し	【0】無し【1】火災【2】ガス【3】火災ガス
10	管理事務室親機からの共同玄関電気錠のワンタッチ解錠有り/無し	【0】無し	【1】有り
11	LC1接続状態	【0】共用部のみ接続	【0】共用部のみ接続
12	LC2 "	【0】共用部のみ接続	【1】共用部/中央制御装置混在接続 【空白】未実装時、または未接続 プログラム番号11(LC1)は未 設定【空白】にできません
13	LC3 "	【空白】未設定	
14	LC4 "	【空白】未設定	
15	LC5 "	【空白】未設定	
16	LC6 "	【空白】未設定	
17	LC7 "	【空白】未設定	
18	LC8 "	【空白】未設定	
19	1 映像付き共同玄関同時接続本数	【2】2本	【0~2】本数
	2 監視カメラ映像同時接続本数	【6】6本	【0~6】本数
	3 映像なし通話同時接続本数	【3】3本	【0~3】本数

注1) 室内親機がVL-365Cの場合は、フロア別に一斉放送はできません。

- お願い (1) OLCユニットの実装状態に合わせてプログラム番号90を速やかに設定してください。  
設定内容と実装状態が異なる場合、制御装置が定期的によりリセットされ設定ができない場合があります。又、システムは停止状態となります。
- (2) 接続されている各中央制御装置側のプログラム番号91を、その中央制御装置のOLCメインラインが接続されている集中制御装置の系統番号に設定してください。
- (3) プログラム番号01が2ペア接続(2)設定の場合、プログラム番号12、14、16、18(偶数系統)の設定は不要です。(設定内容は無効となります。)
- (4) プログラム番号01が2ペア接続(2)設定の場合、プログラム番号04、05、81、92への偶数系統番号設定は無効です。(2ペア接続(2)設定の場合は偶数系統にその機器を接続しないでください。)
- (5) **設定内容** は、本説明書の **プログラム表の作成と登録** および **プログラム登録マニュアル** に記入して管理してください。
- (6) 本説明書は、仕様の変更(プログラム変更登録)および経歴、各種検査、定期点検、増改築工事等の際に必要な為、集中制御装置の近くに保管願います。

プログラム番号	設定内容	初期値	備考
21	共同玄関1が属する棟番号	【00】全棟指定	【00】全棟指定 【01～98】棟指定 未設定【空白】にしないでください 全棟または1つの棟を指定
22	” 2 ”	【00】全棟指定	
23	” 3 ”	【00】全棟指定	
24	” 4 ”	【00】全棟指定	
25	” 5 ”	【00】全棟指定	
26	” 6 ”	【00】全棟指定	
27	” 7 ”	【00】全棟指定	
28	” 8 ”	【00】全棟指定	
30	管理事務室親機グループ着信有り/無し	【0】無し	【1】有り:グループ着信設定時、不在転送機能は無効
31	1 管理事務室親機1が管理する棟番号	【00】全棟管理	【00】全棟管理 【01～98】棟指定管理 【空白】未設定 サブ項目1～8全てを未設定にしないでください。
	2 ”	【空白】未設定	
	〕	【空白】未設定	
	8 ”	【空白】未設定	
32	1 管理事務室親機2が管理する棟番号	【00】全棟管理	
	2 ”	【空白】未設定	
	〕	【空白】未設定	
	8 ”	【空白】未設定	
33	1 管理事務室親機3が管理する棟番号	【00】全棟管理	
	2 ”	【空白】未設定	
	〕	【空白】未設定	
	8 ”	【空白】未設定	
34	1 管理事務室親機4が管理する棟番号	【00】全棟管理	
	2 ”	【空白】未設定	
	〕	【空白】未設定	
	8 ”	【空白】未設定	
35	1 管理事務室親機5が管理する棟番号	【00】全棟管理	
	2 ”	【空白】未設定	
	〕	【空白】未設定	
	8 ”	【空白】未設定	
36	1 管理事務室親機6が管理する棟番号	【00】全棟管理	
	2 ”	【空白】未設定	
	〕	【空白】未設定	
	8 ”	【空白】未設定	
37	1 管理事務室親機7が管理する棟番号	【00】全棟管理	
	2 ”	【空白】未設定	
	〕	【空白】未設定	
	8 ”	【空白】未設定	
38	1 管理事務室親機8が管理する棟番号	【00】全棟管理	
	2 ”	【空白】未設定	
	〕	【空白】未設定	
	8 ”	【空白】未設定	
40	暗証番号2の種別	【0】住戸用	【1】業者用 *1
41	1 共同玄関1の電気錠暗証番号1	【空白】未設定	【0000～9999】暗証番号 【空白】未登録
	2 ” 2	【空白】未設定	
42	1 共同玄関2の電気錠暗証番号1	【空白】未設定	
	2 ” 2	【空白】未設定	

\*1：住戸用【0】に設定するとプログラム番号51～58の解錠時間帯で解錠状態になり、業者用【1】に設定するとプログラム番号51～58の解錠時間帯で解錠状態にならず、業者用の暗証番号(暗証番号2)で解錠可能有効時間帯となります。



プログラム番号	設定内容	初期値	備考	
43	1 共同玄関3の電気錠暗証番号1	【空白】未設定	【0000～9999】暗証番号 【空白】未登録	
	2 " 2	【空白】未設定		
44	1 共同玄関4の電気錠暗証番号1	【空白】未設定		
	2 " 2	【空白】未設定		
45	1 共同玄関5の電気錠暗証番号1	【空白】未設定		
	2 " 2	【空白】未設定		
46	1 共同玄関6の電気錠暗証番号1	【空白】未設定		
	2 " 2	【空白】未設定		
47	1 共同玄関7の電気錠暗証番号1	【空白】未設定		
	2 " 2	【空白】未設定		
48	1 共同玄関8の電気錠暗証番号1	【空白】未設定		
	2 " 2	【空白】未設定		
50		【0】		設定しないでください
51	1 共同玄関1の電気錠解錠時間帯1	【空白】未設定		【0000～2359】-【0000～2359】 解錠時間帯1（住戸用） 暗証番号2の有効時間1（業務用） 【空白】未登録
	2 " 2	【空白】未設定		
52	1 共同玄関2の電気錠解錠時間帯1	【空白】未設定	同上 備考）住戸用、業務用はプログラム番号 40で指定する	
	2 " 2	【空白】未設定		
53	1 共同玄関3の電気錠解錠時間帯1	【空白】未設定		
	2 " 2	【空白】未設定		
54	1 共同玄関4の電気錠解錠時間帯1	【空白】未設定		
	2 " 2	【空白】未設定		
55	1 共同玄関5の電気錠解錠時間帯1	【空白】未設定		
	2 " 2	【空白】未設定		
56	1 共同玄関6の電気錠解錠時間帯1	【空白】未設定		
	2 " 2	【空白】未設定		
57	1 共同玄関7の電気錠解錠時間帯1	【空白】未設定		
	2 " 2	【空白】未設定		
58	1 共同玄関8の電気錠解錠時間帯1	【空白】未設定		
	2 " 2	【空白】未設定		
60	年月日設定	【010101】01年1月1日	【YYMMDD】YY年MM月DD日	
61	時分秒設定	【000000】0時0分0秒	【HHMMSS】HH時MM分SS秒	
63	監視カメラ映像最大接続時間	【30】30秒	【30～120】秒単位	
64	共用部通話最大接続時間	【03】3分	【01～10】分単位	
65	住戸間通話最大接続時間	【01】1分	【01～10】分単位	
66	ガス断発報有り/無し	【1】有り	【0】無し	
68	報知音鳴動時間帯	【0700-1900】 7時0分-19時0分	【0000～2359】-【0000～2359】鳴動時間帯 【空白】鳴動無し	
71	共同玄関1の電気錠解錠時間	【15】15秒	【01～60】秒単位	
72	" 2 "	【15】15秒		
73	" 3 "	【15】15秒		

プログラム番号	設定内容	初期値	備考
74	共同玄関4の電気錠解錠時間	【15】15秒	【01～60】秒単位
75	" 5 "	【15】15秒	
76	" 6 "	【15】15秒	
77	" 7 "	【15】15秒	
78	" 8 "	【15】15秒	
80		【0】	設定しないでください
81	1 集住映像伝送アダプター1 接続系統番号	【空白】未設定	【1～8】接続系統番号
	{ }	【空白】未設定	【空白】未接続
	8 " 8 "	【空白】未設定	
82	1	【0】	設定しないでください
	{ }	【0】	
	8	【0】	
83	1 監視カメラ1 連動指定	【空白】未設定	【11～84】連動指定
	{ }	【空白】未設定	上位の桁:集住映像伝送アダプターの機器番号 下位の桁:集住映像伝送アダプターの入力端子
	8 " 8 "	【空白】未設定	【空白】連動無し
84	1 管理事務室親機1 モニター連動指定	【空白】未設定	【11～84】連動指定
	{ }	【空白】未設定	上位の桁:集住映像伝送アダプターの機器番号 下位の桁:集住映像伝送アダプターの出力端子
	8 " 8 "	【空白】未設定	【空白】連動無し
90	OLCユニット実装/未実装 注意: <input type="checkbox"/> の(1)を参照願います	【0】未実装	【0】未実装 【1】実装
92	1 アダプター1 接続系統番号	【空白】未設定	【1～8】接続系統番号
	{ }	【空白】未設定	【空白】未接続
	8 " 8 "	【空白】未設定	

# 集中制御装置VG-C103D用プログラム表

プログラム番号	設定内容	初期値 (出荷時状態)	設定記入欄	プログラム指定確認欄
00	設定不要です。	- (空白)		
01	1ペア/2ペア接続方式設定 各中央制御装置と1ペア(1つの系統)で接続するか、 2ペア(2つの系統)で接続するかの設定です。	1ペア接続(1)	2ペア接続(2)	

1ペア接続の場合	2ペア接続の場合
<ul style="list-style-type: none"> <li>中央制御装置を最大8台接続可能。</li> <li>集中制御装置の各系統に中央制御装置のOLCメインラインを接続。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央制御装置を最大4台接続可能。</li> <li>集中制御装置の奇数系統に中央制御装置OLCメインラインを接続。(中央制御装置のOLCサブラインを接続しないでください。)</li> <li>集中制御装置の偶数系統に中央制御装置のOLCサブラインを接続。(中央制御装置のOLCメインラインを接続しないでください。)</li> <li>同一の中央制御装置には集中制御装置の連番の系統を接続してください。</li> </ul> <p>(良い例)</p> <p>(悪い例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いずれの系統にも共用部接続可能。</li> <li>奇数系統のみ共用部接続可能。(偶数系統に共用部を接続しないでください。)</li> <li>特に2ペアの配線条件にご注意ください。(取付工事説明書参照)</li> </ul>

## 他のプログラム番号の関係(例)

プログラム番号	設定内容	1ペア接続 設定時の動作	2ペア接続 設定時の動作
11	1	中央制御装置1接続設定	中央制御装置1接続設定
12	1	中央制御装置2接続設定	中央制御装置1接続設定により中央制御装置1のOLCサブラインと通信
13	1	中央制御装置3接続設定	中央制御装置3接続設定
14	未設定	LC4系統の未実装、または未接続動作	中央制御装置3接続設定により中央制御装置3のOLCサブラインと通信
15	0	中央制御装置未接続設定	中央制御装置未接続設定
16	1	中央制御装置6接続設定	中央制御装置未接続設定によりLC6系統の未実装、または未接続動作
17	未設定	LC7系統の未実装、または未接続動作	LC7系統の未実装、または未接続動作
18	0	中央制御装置未接続設定	LC7系統の未実装、または未接続動作によりLC8系統の未実装、または未接続動作
04	1	1	LC1系統に共同玄関子機1を接続設定
	2	2	LC2系統に共同玄関子機2を接続設定
	3	4	LC4系統に共同玄関子機3を接続設定していてもLC4が未実装設定のため無効
05	1	5	LC5系統に管理事務室親機1を接続設定
	2	8	LC8系統に管理事務室親機2を接続設定

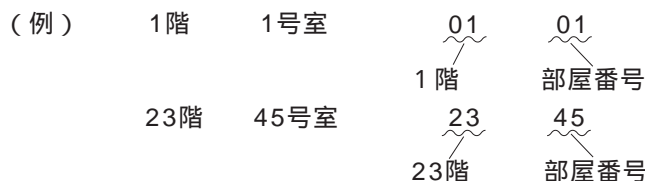
プログラム番号	設定内容	初期値 (出荷時状態)	設定記入欄	プログラム 指定確認欄
02	一斉放送有り/無し設定 ・管理事務室親機により全棟一斉放送、フロア別一斉放送、棟別放送、全棟緊急一斉放送、フロア別緊急一斉放送、棟別緊急放送を出すかの指定です。	一斉放送 無し(0)	全棟一斉(緊急)放送 } 有り(1) 棟別一斉(緊急)放送 } 全棟一斉(緊急)放送 } フロア別一斉(緊急)放送 } 有り(2) 棟別一斉(緊急)放送 }	

## フロア別一斉放送・フロア別緊急放送の使用上の条件

フロア別の一斉放送及び緊急放送をする場合は住戸番号と棟番号の設定に条件があります。

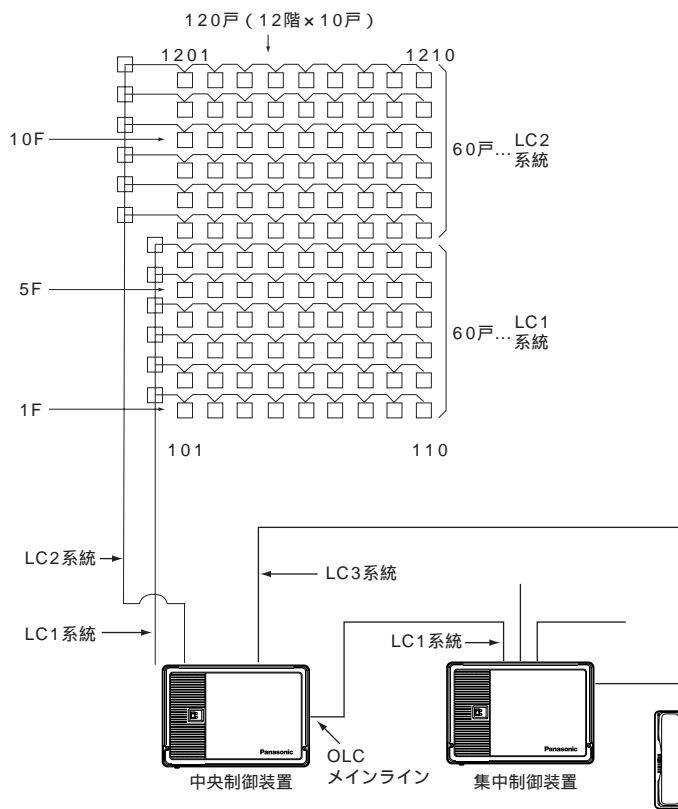
### (1) 住戸番号

住戸番号4桁の上位2桁が階を表わします。



### (2) 棟番号

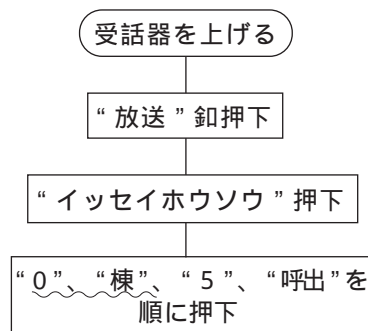
フロア一斉、フロア緊急放送をする場合に棟指定が必要になります。



### (例)

5階のみにフロア一斉をする場合

管理事務室親機操作



中央制御装置の系統(LCユニット)が複数混在した場合でも住戸番号の上位2桁が階番号になります。

(上図で住戸番号“1210”は1棟12階10号室です。)

(注意：室内親機がVL-365Cの場合は、フロア別一斉放送はできません。)

プログラム 番号	設 定 内 容	初期値 (出荷時状態)	設定記入欄	プログラム 指定確認欄
03	警報音停止有り/無し設定 ・住戸内の室内親機、室内子機および戸外表示付玄関子機の警報音を管理事務室親機から停止させる。 (感知器作動・火災確定・ガス漏れ・非常の警報音は止められません)	警報音停止 無し(0)	有り(1)	

共同玄関子機 (VG-K547CD「J」、K548CD「J」、他) を集中制御装置の何系統に接続するかの設定です。  
系統番号は1桁〔1～8〕←

プログラム 番号	対 象	初期値	接続する系統番号を記入する 1桁(1～8)	確認 チェック欄	
		1	共同玄関子機 1 設定用	1	
04	2	共同玄関子機 2 設定用	空白		
	3	共同玄関子機 3 設定用	空白		
	4	共同玄関子機 4 設定用	空白		
	5	共同玄関子機 5 設定用	空白		
	6	共同玄関子機 6 設定用	空白		
	7	共同玄関子機 7 設定用	空白		
	8	共同玄関子機 8 設定用	空白		

1桁

1～8：接続系統番号

空白：未接続

(注1) 集中制御装置1台に接続できる台数と機種

最大8台～最小0台

共同玄関子機 (VG-K547CD「J」、K548CD「J」、VL-575A「J」、576A「J」、545C「J」、546C「J」)

(注2) 共同玄関子機の電源については、取付工事説明書に記載の「24V電源への接続台数について」を参照願います。

(注3) 1系統に接続可能な台数は最大8台ですが、他の共用部機器と中央制御装置含めた1系統合計台数が64台(配線条件により減ります)を越えないように接続してください。

(注4) 接続されていない共同玄関子機に1～8を設定すると異常情報が上がります。

(共同玄関子機を1台も接続しない場合は、プログラム番号04-1を「空白」に設定してください。)

(注5) プログラム番号01が2ペア接続(2)設定の場合、偶数系統番号の設定は無効となります。

管理事務室親機（VG-E485A）を集中制御装置の何系統に接続するかの設定です。

→ 系統番号は1桁〔1～8〕

プログラム 番号	対 象	初期値	接続する系統番号を記入する 1桁（1～8）	確認 チェック欄
		05	1	管理事務室親機 1 設定用
2	管理事務室親機 2 設定用		空白	
3	管理事務室親機 3 設定用		空白	
4	管理事務室親機 4 設定用		空白	
5	管理事務室親機 5 設定用		空白	
6	管理事務室親機 6 設定用		空白	
7	管理事務室親機 7 設定用		空白	
8	管理事務室親機 8 設定用		空白	

1桁

1～8：接続系統番号

空白：未接続

（注1）集中制御装置1台に接続できる台数と機種

最大8台～最小0台

管理事務室親機（VG-E485A）

（注2）管理事務室親機の電源については、取付工事説明書に記載の「24V電源への接続台数について」を参照願います。

（注3）1系統に接続可能な台数は最大8台ですが、他の共用部機器と中央制御装置含めた1系統合計台数が64台（配線条件により減ります）を越えないように接続してください。

（注4）接続されていない管理事務室親機に1～8を設定すると異常情報が上がります。

（管理事務室親機を1台も接続しない場合は、プログラム番号05-1を「空白」に設定してください。）

（注5）プログラム番号01が2ペア接続（2）設定の場合、偶数系統番号の設定は無効となります。

プログラム番号06番は欠番です。

プログラム 番号	設 定 内 容	初期値 （出荷時状態）	設定記入欄	プログラム 指定確認欄
07	初期設定でお使いください。	0		
08	管理事務室親機からの通信異常情報出力有り/無し 設定 変換器、室内親機等の故障、配線断線等が発生した ときにその異常アラームを管理事務室親機へ出力表 示させるかさせないかの設定です。 注）工事中は0にすること...室内親機の電源OFFで 出力表示されるため	通信異常 情報出力 無し（0）	有り（1）	

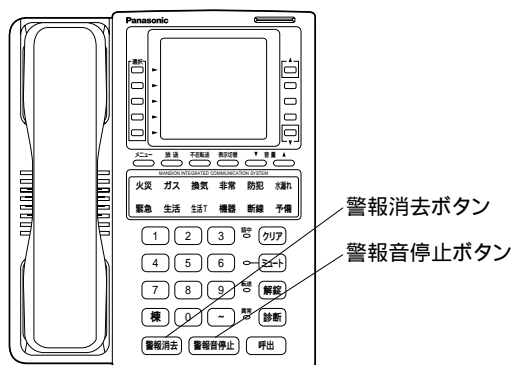
プログラム番号	設定内容	初期値 (出荷時状態)	設定記入欄	プログラム 指定確認欄
09	共同玄関電気錠のセキュリティによる解錠有り/無し設定 火災・ガスもれ発生時に共同玄関の電気錠を自動的に解錠するか、しないかの設定です。	セキュリティ 解錠 無し(0)	火災発生時(1) ガス漏れ発生時(2) 火災及びガス漏れ 発生時(3)	

↑  
[ ご注意 ]

- (1) 管理事務室親機 (VG-E485A) が接続されないシステムの場合は、プログラム番号 [09] で「共同玄関電気錠のセキュリティによる解錠有り/無し設定」で有り [1] にしてもセキュリティによる解錠機能はできません。(復旧機能がないため)  
よって、管理事務室親機が接続されていても、これらが障害中(故障中)の場合もセキュリティによる共同玄関解錠はできません。
- (2) 管理事務室親機が接続されたシステムで、プログラム番号 [09] の設定が3の場合、火災・ガス漏れ発生時に共同玄関電気錠は解錠します。電気錠の復旧方法は、下記のとおりです。

<共同玄関子機の電気錠復旧方法>

火災・ガスもれ発生時の操作・状態	電気錠復旧
火災・ガスセンサの復旧時	→ 復旧せず
室内親機 (VL-M367FA, VJ-M368FA, VG-M376D, VG-M377D等) の警報音停止ボタンを押したとき	→ 復旧せず
管理事務室親機の警報音停止ボタンと、警報消去ボタンを順に押したとき	→ 復旧します



管理事務室親機

プログラム番号	設定内容	初期値 (出荷時状態)	設定記入欄	プログラム 指定確認欄
10	管理事務室親機からの共同玄関電気錠のワンタッチ解錠 有り/無し設定	ワンタッチ解錠 無し(0)	有り(1)	

- (1) 管理事務室親機が共同玄関子機より呼び出されなくてもオンフック状態でワンタッチ解錠可能です。

## 集中制御装置の系統別LCユニット (ラインカード)の接続状態設定

(注) 出荷時はLC1とLC2の2系統分は実装されています。

プログラム 番号	対 象	接続状態を記入する 1桁 (0,1)		
		初期値		確認 チェック欄
11	LC1系統の接続状態	0		
12	LC2系統の接続状態	0		
13	LC3系統の接続状態	空白		
14	LC4系統の接続状態	空白		
15	LC5系統の接続状態	空白		
16	LC6系統の接続状態	空白		
17	LC7系統の接続状態	空白		
18	LC8系統の接続状態	空白		

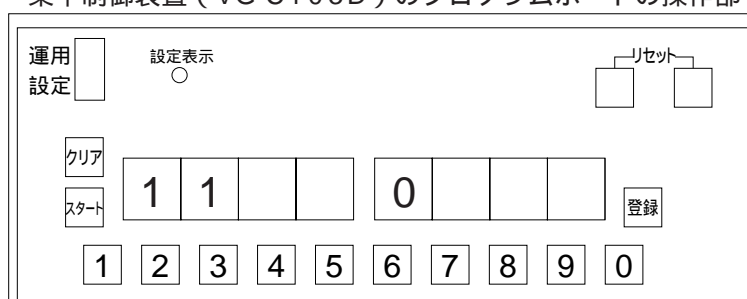
1桁

0: 共用部のみ接続

1: 共用部/中央制御装置混在接続

空白: 未実装時、または未接続

集中制御装置 (VG-C103D) のプログラムボードの操作部



(例)

LC1系統に共用部のみ接続し、  
中央制御装置は接続しない場合

プログラムボタンで(0,1)を登録する

- (注1) 接続されていないLC系統分に(0)または(1)をプログラム登録すると異常が上がるので、該当のLC系統箇所のみ登録してください。
- (注2) LC1系統は未設定(空白)にできません。
- (注3) 2ペア接続(2)に設定した場合は、プログラム番号12、14、16、18(偶数系統)への設定は不要です。



それぞれを同時に使用しようとした場合に、各系統（1ペア）当たりで、何本を同時に多重接続許可するかの設定です。 本数1桁 ←

通常は初期値のままお使いください。（話中等になりにくい、最も効率の良い値となっています）  
 この設定は、例えば監視カメラの使用頻度が極端に高くなり、他の通話等の呼び出しがかかりにくいなどが発生した場合の調整用の設定です。

プログラム番号	設定内容	初期値	設定記入欄	プログラム指定確認欄
19-1	映像付き共同玄関同時接続本数 1つの系統内で、映像や通話等が全く使用されていない状態中に、映像を伴う共同玄関からの呼び出し通話を同時に何本接続許可するかの設定 1本につき、映像用に1パケット、双方向通話用に2パケット、合計3パケット使用します。	2	0~2本 (0~2)	
19-2	監視カメラ映像同時接続本数 1つの系統内で、映像や通話等が全く使用されていない状態中に、異なる監視カメラへの接続を同時に何本接続許可するかの設定 1本につき、映像用に1パケット使用します。	6	0~6本 (0~6)	
19-3	映像なし通話同時接続本数 1つの系統内で、映像や通話等が全く使用されていない状態中、映像を伴わない通話（カメラなし共同玄関通話、住戸間通話等）の呼び出し通話を同時に何本接続許可するかの設定 1本につき、双方向通話用に2パケット使用します。	3 ↑ 同時3通話を許可する設定値です	0~3本 (0~3)	

（注1）各同時接続本数は他に使用されていない状態中についての値です。従って、例えば19-2：「6」、19-1：「2」の設定の場合でも、異なる監視カメラが1つの系統で6本接続されている間は、その系統で例えば映像を伴う共同玄関からの呼び出し通話できません。  
 映像付き共同玄関の呼び出し通話が、他の動作（監視カメラ映像、住戸間通話等）に依存されず確実に1本を確保したい場合は次の設定をしてください。

プログラム番号	設定値
19-1	1以上
19-2	0
19-3	1以下

- 但し、
1. 監視カメラは使用できない設定となります。
  2. 3系統以上使用するシステムの場合には、必ずOLCユニットを実装してください。
  3. 通話のみ（映像なし）の共同玄関の場合には、共同玄関通話専用として確実に1本を確保することはできません。

（注2）この設定値を下げた場合、下げた部分はつながりにくくなり、その他はつながり易くなる傾向となります。

中央制御装置に接続されている共同玄関子機（VG-K547CD「」、K548CD「」他）が何号棟に属するかの設定です。棟番号は2桁〔01～98〕

プログラム番号20は欠番です。

プログラム 番号	対 象	初期値	属する号棟を記入する 2桁（01～98）	確認 チェック欄
		21	共同玄関子機 1 設定用	00
22	共同玄関子機 2 設定用	00		
23	共同玄関子機 3 設定用	00		
24	共同玄関子機 4 設定用	00		
25	共同玄関子機 5 設定用	00		
26	共同玄関子機 6 設定用	00		
27	共同玄関子機 7 設定用	00		
28	共同玄関子機 8 設定用	00		

2桁
00：全棟指定
01～98：棟指定

プログラム表の指定空欄に号棟を正確に記入してください。

（注1）中央制御装置の設定が全棟指定00の場合は、本設定を全棟指定00にしてください。

（注2）中央制御装置の設定が棟指定01～98の場合で、

- ・本設定を全棟指定00にした場合、共同玄関子機からの呼び出しの際、部屋番号の前に必ず棟番号を入力する必要があります。
- ・本設定を棟指定01～98にした場合、共同玄関子機が属する棟以外の住戸を呼び出す際に部屋番号の前に棟番号を入力する必要があります。

（注3）1台の共同玄関子機が複数の棟に属する指定はできません。（1つの棟に複数台（2～8台）の共同玄関子機が属する指定は可能です。）

（注4）未設定（空白）にはしないでください。

### 管理事務室親機グループ着信有り / 無し設定

プログラム番号29番は欠番です。

プログラム 番号	設 定 内 容	初期値 (出荷時状態)	設定記入欄	プログラム 指定確認欄
30	管理事務室親機が複数(2台～8台まで)接続されたシステムにおいて、各室内親機又は共同玄関子機より同一の棟を管理している全ての管理事務室親機に呼び出し音を鳴らす(1:有)か鳴らさない(0:無)の設定です。	無し(0)	有り(1)	

(1:有り)グループ着信有り設定時、管理事務室親機の不在転送はできなくなります。

集中制御装置に接続されている管理事務室親機が何号棟を管理するかの設定です。

棟番号は2桁〔01～98〕

□...空白です。

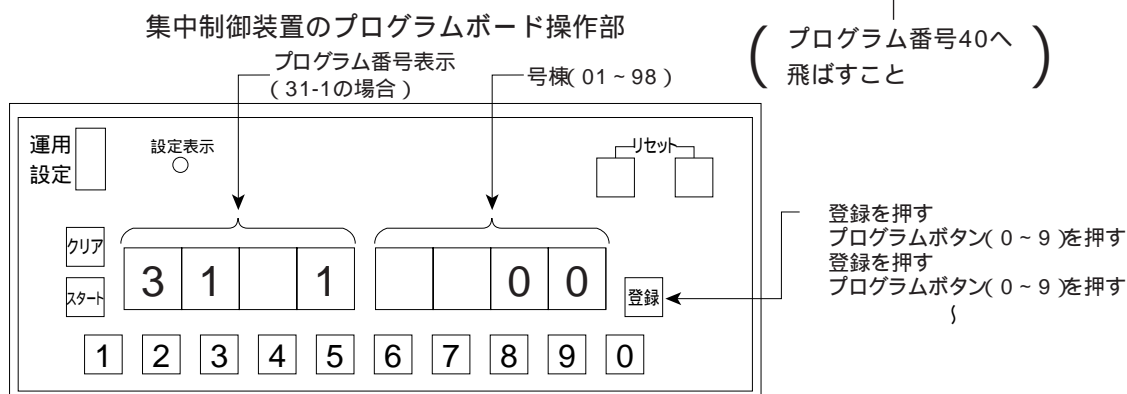
下表は初期値です。(出荷時状態)

プログラム番号	対 象	プログラムボード上のプログラム番号表示								2桁(01~98)号棟記入欄
		31-1	31-2	31-3	31-4	31-5	31-6	31-7	31-8	
31	管理事務室親機 1 設定用	00								
32	管理事務室親機 2 設定用	00								
33	管理事務室親機 3 設定用	00								
34	管理事務室親機 4 設定用	00								
35	管理事務室親機 5 設定用	00								
36	管理事務室親機 6 設定用	00								
37	管理事務室親機 7 設定用	00								
38	管理事務室親機 8 設定用	00								

プログラム表の指定空欄に号棟を正確に記入してください。

・各管理事務室親機(1台)で最大8ヶ所(01~98号棟の内)の号棟を管理できます。

(注1) 1棟のみ(棟管理がないとき)の場合は、プログラム番号31~38の登録不要です。



(例) 管理事務室親機1に1棟、2棟、3棟を管理させ、管理事務室親機2に4棟、5棟、6棟を管理させる場合(プログラム番号11~18で複数の棟が設定されていることとなりますので、管理事務室親機からの呼び出し時に必ず棟入力が必要です。)

プログラム番号	対 象	プログラムボード上のプログラム番号表示								2桁(01~98)号棟記入欄
		31-1	31-2	31-3	31-4	31-5	31-6	31-7	31-8	
31	管理事務室親機 1 設定用	01	02	03						
32	管理事務室親機 2 設定用	04	05	06						

## 暗証番号2の種別設定

〔暗証番号の住戸用と業者用（新聞配達員等）に設定分けができます。〕

プログラム番号40設定後、次頁のプログラム番号41-1(-2)～48-1(-2)で具体的に電気錠暗証番号を登録します。

プログラム番号39番は欠番です。

プログラム番号	設定内容	初期値 (出荷時状態)	設定記入欄	プログラム 指定確認欄
40	プログラム番号41～48で設定する暗証番号2を住戸用か業者用のいずれかに設定できます。	住戸用(0)	業者用(1)	

プログラム番号40で0(住戸用)を設定した場合は、プログラム番号51～58の共同玄関子機の解錠時間帯に共同玄関子機が解錠状態になり、解錠時間帯以外は暗証番号1と2が有効になります。

また、プログラム番号40で1(業者用)を設定した場合は、プログラム番号51～58の共同玄関子機の解錠時間帯に共同玄関子機は解錠状態にはならず、暗証番号1と2で解錠できます。

解錠時間帯以外は、暗証番号2での解錠は不可になり、暗証番号1のみ有効になります。

### ・暗証番号2の種別による機能の違い

設定値	プログラム番号 41-2～48-2(暗証番号2)	プログラム番号 51～58の解錠時間帯	プログラム番号 51～58の時間帯以外
住戸用 0 (初期設定)	住戸用暗証番号2 (いつでも解錠可能)	解錠状態	通常施錠状態で、暗証番号1と2で解錠可能
業者用 1	業者用暗証番号 (プログラム番号51～58の 解錠時間帯のみ解錠可能)	施錠状態で住戸用及び業者用 暗証番号で解錠可能	施錠状態で住戸用暗証番号1 でのみ解錠可能 業者用暗証番号では解錠不可

集中制御装置に接続されている共同玄関子機の電気錠暗証番号設定登録

プログラム 番号		対 象	電気錠暗証番号					
			千位	百位	十位	一位		
41	1	共同玄関子機 1 設定用					暗証番号1	
	2						暗証番号2	
42	1	共同玄関子機 2 設定用					暗証番号1	
	2						暗証番号2	
43	1	共同玄関子機 3 設定用					暗証番号1	
	2						暗証番号2	
44	1	共同玄関子機 4 設定用					暗証番号1	
	2						暗証番号2	
45	1	共同玄関子機 5 設定用					暗証番号1	
	2						暗証番号2	
46	1	共同玄関子機 6 設定用					暗証番号1	
	2						暗証番号2	
47	1	共同玄関子機 7 設定用					暗証番号1	
	2						暗証番号2	
48	1	共同玄関子機 8 設定用					暗証番号1	
	2						暗証番号2	

(注1) ・電気錠暗証番号(必ず4桁)は任意で暗証番号を必ず記入してください。  
 ・4桁目“0”でもよい。(例 0123,0000)  
 ・暗証番号として登録できない番号(3桁以下)

(注2) 共同玄関子機1台に対して、電気錠暗証番号は1種類又は、未登録でも運用動作します。  
 (例 プログラム番号41-1... のみ)

(注3) プログラム番号40で1(業者用)を登録した場合は、プログラム番号41-2、42-2、43-2、44-2、45-2、46-2、47-2、48-2は、業者用暗証番号になりプログラム番号51~58の共同玄関子機の電気錠解錠時間帯設定に連動し、設定された時間帯にのみ業者用暗証番号で解錠が可能です。

プログラム番号49番は欠番です。

プログラム 番号	設 定 内 容	初期値 (出荷時状態)	設定記入欄	プログラム 指定確認欄
50	初期設定でお使いください。	0		

集中制御装置に接続されている共同玄関子機(VG-K547CD<sup>1</sup>、K548CD<sup>1</sup>他)の電気錠解錠時間帯の設定登録

〔電気錠の解錠時間帯(開始～終了時刻)を決める。例えば新聞配達員等の出入口のため解錠に切り替える。〕  
 (注) 解錠時間帯の設定登録時は、必ずプログラム番号61時刻(時分秒)の設定を行うこと。

2つの解錠時間帯が登録可能。  
 1開始時刻入力～1終了時刻入力  
 2開始時刻入力～2終了時刻入力

出荷時状態未設定

プログラム 番号	対 象	開始時刻入力				終了時刻入力						
		記入例(午後16時)から 記入例(午前7時)から				記入例(午後17時30分)まで 記入例(午前10時)まで						
51	共同玄関子機 1 設定用	1	0	7	0	0	1	1	0	0	0	記入欄
												確認・チェック欄
51	共同玄関子機 1 設定用	2	1	6	0	0	2	1	7	3	0	記入欄
												確認・チェック欄
52	共同玄関子機 2 設定用	1					1					記入欄
												確認・チェック欄
52	共同玄関子機 2 設定用	2					2					記入欄
												確認・チェック欄
53	共同玄関子機 3 設定用	1					1					記入欄
												確認・チェック欄
53	共同玄関子機 3 設定用	2					2					記入欄
												確認・チェック欄
54	共同玄関子機 4 設定用	1					1					記入欄
												確認・チェック欄
54	共同玄関子機 4 設定用	2					2					記入欄
												確認・チェック欄
55	共同玄関子機 5 設定用	1					1					記入欄
												確認・チェック欄
55	共同玄関子機 5 設定用	2					2					記入欄
												確認・チェック欄
56	共同玄関子機 6 設定用	1					1					記入欄
												確認・チェック欄
56	共同玄関子機 6 設定用	2					2					記入欄
												確認・チェック欄
57	共同玄関子機 7 設定用	1					1					記入欄
												確認・チェック欄
57	共同玄関子機 7 設定用	2					2					記入欄
												確認・チェック欄
58	共同玄関子機 8 設定用	1					1					記入欄
												確認・チェック欄
58	共同玄関子機 8 設定用	2					2					記入欄
												確認・チェック欄

(例1) 9時～10時 09:00～10:00

(例2) 8時20分～9時 08:20～09:00 —頭に“0”を入れて登録のこと。

(例3) 時間 分単位  
 09:59  
 —60以上登録できない。  
 —24以上登録できない。

## 日付・時刻の設定登録

プログラム番号59は欠番です。

プログラム 番号	設 定 内 容	初期値 (出荷時状態)	設定値
60	年月日(日付の)設定	010101 2001年1月1日(西暦)	
61	時分秒(時刻の)設定	000000 00時00分00秒 (電源投入時より動作します。)	

- (1) 日付及び時刻は初回電源投入した時点、又はメモリースイッチを“セット”側にした時点より動作します。
- (2) 日付及び時刻の設定も他の設定項目と同様にメモリースイッチを“セット”側にすれば電源OFFでもバックアップされます。
- (3) 登録された日付及び時刻は管理事務室親機に表示されます。

## 通話時間・その他設定時間等の設定登録

プログラム番号62、67は欠番です。

プログラム 番号	設 定 内 容	初期値 (出荷時状態)	設定記入欄	プログラム 指定確認欄
63	監視カメラ映像最大接続時間設定 集住映像伝送アダプターに接続された監視カメラへの最大接続時間の設定です。 他の通話等が話中等になる可能性がありますので短い時間設定をおすすめします。	30 (30秒)	30 ~ 120 (30秒 ~ 120秒の秒単位)	
64	共用部通話最大接続時間設定 共用部(共同玄関子機、管理事務室親機)間及び共用部と住戸間の最大通話時間を設定します。 (一斉放送、緊急放送は10分固定です。)	03 (3分)	01 ~ 10 (1分 ~ 10分の分単位)	
65	住戸間通話最大接続時間設定 住戸間通話ユニット(VL-M606)接続システム、又はカラーモニター室内親機における住戸間通話の最大通話時間の設定です。 他の通話等が話中等になる可能性がありますので短い時間設定をおすすめします。 カラーモニター室内親機で住戸間通話を行う時は、カラーモニター室内親機に設定が必要です。	01 (1分)	01 ~ 10 (1分 ~ 10分の分単位)	
66	ガス断線発報の有り/無し設定 室内親機に接続されたガスもれ検知器が断線検出機能付(有電圧タイプ)の場合にガス断線警報を管理事務室親機に表示・鳴動するか、しないかの設定です。	有り (1)	無し (0)	
68	報知音鳴動時間帯 宅配ロッカーからの滞留報知音等を鳴動させる時間帯の設定です。	0700-1900 (7:00-19:00)	0000 ~ 2359 (0:00 ~ 23:59)	



集中制御装置に接続されている共同玄関子機(VG-K547CD「 」、K548CD「 」、他)の解錠時間の設定登録

〔電気錠の解錠時間をプログラム設定により01秒間～60秒間の範囲で選択設定できます。〕

プログラム番号69、70は欠番です。

プログラム番号	対 象	初期値 (出荷時状態)	設定記入欄	プログラム 指定確認欄
71	共同玄関子機 <sub>1</sub> 設定用	15		
72	共同玄関子機 <sub>2</sub> 設定用	15		
73	共同玄関子機 <sub>3</sub> 設定用	15		
74	共同玄関子機 <sub>4</sub> 設定用	15		
75	共同玄関子機 <sub>5</sub> 設定用	15		
76	共同玄関子機 <sub>6</sub> 設定用	15		
77	共同玄関子機 <sub>7</sub> 設定用	15		
78	共同玄関子機 <sub>8</sub> 設定用	15		

時間は01～60(秒)までの設定が可能。

[初期値(出荷時状態)...各15(秒)間]

プログラム番号79は欠番です。

プログラム番号	設 定 内 容	初期値 (出荷時状態)	設定記入欄	プログラム 指定確認欄
80	初期設定でお使いください。	0		

集住映像伝送アダプター（VG-R900D）を集中制御装置の何系統に接続するか  
の設定です。

→ 系統番号は1桁（1～8）

プログラム 番号	対 象		初期値	接続する系統番号を記入する 1桁（1～8）	確認 チェック欄
			81	1	集住映像伝送アダプター1設定用
2	集住映像伝送アダプター2設定用	空白			
3	集住映像伝送アダプター3設定用	空白			
4	集住映像伝送アダプター4設定用	空白			
5	集住映像伝送アダプター5設定用	空白			
6	集住映像伝送アダプター6設定用	空白			
7	集住映像伝送アダプター7設定用	空白			
8	集住映像伝送アダプター8設定用	空白			

1桁

1～8：接続系統番号

空白：未接続

（注1）集中制御装置1台に接続できる台数と機種

最大8台～最小0台

集住映像伝送アダプター（VG-R900D）

モニターを接続する集住映像伝送アダプターには、集住映像受信カード（VG-R901D）を1枚実装してください。

集住映像伝送アダプター1台に接続可能なカメラ、モニターの台数

カメラ	NTSC出力カメラ(推奨WV-CP460)	4台
モニター	NTSC入力モニター(推奨CM1020)	4台

同時に複数のカメラ、又はモニター映像を伝送することはできません。従って、同時に複数のカメラ、又はモニター映像を伝送したい場合は、異なる集住映像伝送アダプターにカメラ、又はモニターを接続してください。

（注2）1系統に接続可能な台数は最大8台ですが、他の共用部機器と室内親機含めた1系統合計台数が64台（配線条件により減ります）を越えないように接続してください。

（注3）接続されていない集住映像伝送アダプターに1～8を設定すると異常情報が上がります。

（注4）プログラム番号01が2ペア接続（2）設定の場合、偶数系統番号の設定は無効となります。

プログラム番号	設定内容	初期値 (出荷時状態)	設定記入欄	プログラム 指定確認欄
82	1	初期設定でお使いください。	0	
	{	}	}	
	8	初期設定でお使いください。	0	

監視カメラ1～8が、集中制御装置に接続されている何番の集住映像伝送アダプターの、何番の入力端子のカメラかを指定する設定です。

プログラム 番号	対 象	初期値	設定記入欄 2桁(11～84)	確認 チェック欄		
					2桁	11～84:連動指定
83	1	監視カメラ1設定用	空白			
	2	監視カメラ2設定用	空白			
	3	監視カメラ3設定用	空白			
	4	監視カメラ4設定用	空白			
	5	監視カメラ5設定用	空白			
	6	監視カメラ6設定用	空白			
	7	監視カメラ7設定用	空白			
	8	監視カメラ8設定用	空白			

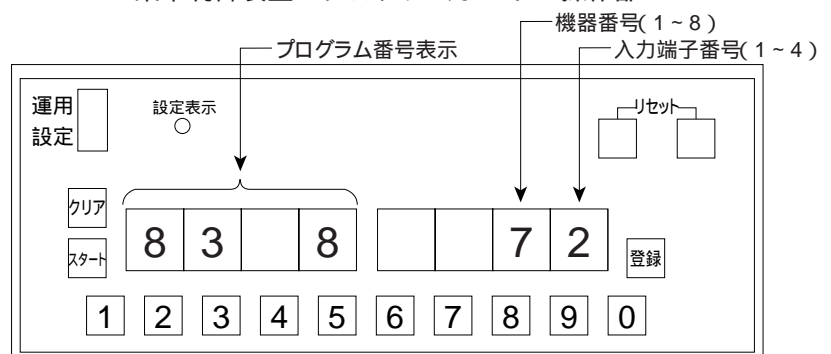
2桁

11～84:連動指定

空白:連動無し

集中制御装置のプログラムボードの操作部

(例) アドレス7番の集住映像伝送アダプターの入力端子2番のカメラを監視カメラ8として連動指定する。

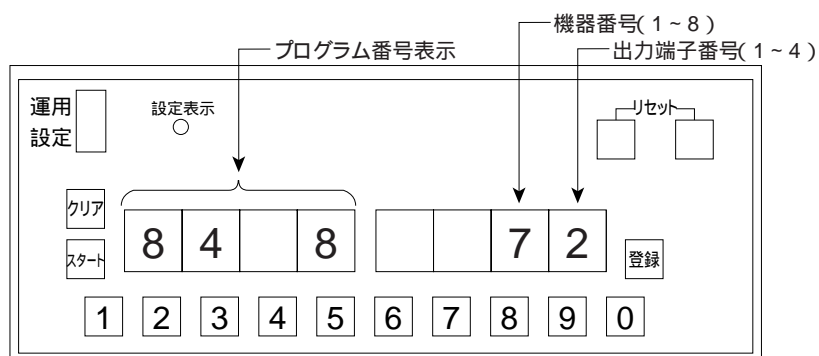


管理事務室親機1～8が、集中制御装置に接続されている何番の集住映像伝送アダプターの、何番の出力端子のモニターと連動するかを指定する設定です。

プログラム 番号	対 象	初期値	設定記入欄 2桁(11～84)	確認 チェック欄		
						1
84	2	管理事務室親機2設定用	空白			
	3	管理事務室親機3設定用	空白			
	4	管理事務室親機4設定用	空白			
	5	管理事務室親機5設定用	空白			
	6	管理事務室親機6設定用	空白			
	7	管理事務室親機7設定用	空白			
	8	管理事務室親機8設定用	空白			
						2桁 11～84：連動指定 空白：連動無し

(例) アドレス7番の集住映像伝送アダプターの出力端子2番のモニターを管理事務室親機8と連動指定する。

集中制御装置のプログラムボードの操作部



プログラム番号85～89は欠番です。

プログラム番号	設定内容	初期値 (出荷時状態)	設定記入欄	プログラム 指定確認欄
90	OLCユニット実装 / 未実装設定 OLCユニットを集中制御装置に実装しているか、していないかの設定です。	未実装 (0)	実装 (1)	

(注1)

OLCユニットの実装状態に合わせて速やかに設定してください。  
(プログラム登録の最初に確認してください。)

- ・ OLCユニットが実装されている状態で未実装設定をした場合、システムは停止状態となり、プログラムボードの異常表示が“oE-1”となります。
- ・ OLCユニットが実装されていない状態で実装設定をした場合、システムは停止状態となり、プログラムボードの異常表示が“oE-2”となります。

どちらの場合でも、制御装置が定期的にはリセットされ設定ができない場合があります。又、システムは停止状態となります。

各種アダプターを集中制御装置の何系統に接続するかの設定です。

→ 系統番号は1桁〔1～8〕

プログラム番号91は欠番です。

プログラム 番号	対 象	初期値	接続する系統番号を記入する 1桁(1～8)	確認 チェック欄
		92	1	アダプター1設定用
	2	アダプター2設定用	空白	
	3	アダプター3設定用	空白	
	4	アダプター4設定用	空白	
	5	アダプター5設定用	空白	
	6	アダプター6設定用	空白	
	7	アダプター7設定用	空白	
	8	アダプター8設定用	空白	

1桁

1～8：接続系統番号

空白：未接続

(注1) 集中制御装置1台に接続できる台数と機種

- 全ての合計が最大8台～最小0台
- データ入出力アダプター (VL-M887)
- 宅配ロッカーアダプター (VL-M889)
- 通報機アダプター (VL-4852XB)

(注2) 1系統に接続可能な台数は最大8台ですが、他の共用部機器と室内親機含めた1系統合計台数が64台 (配線条件により減ります) を越えないように接続してください。

(注3) 接続されていない各種アダプターに1～8を設定すると異常情報が上がります。

(注4) プログラム番号01が2ペア接続(2)設定の場合、偶数系統番号の設定は無効となります。

## 2 プログラム登録(変更)マニュアル

VG-C103D用

お願い プログラム設定の具体的な方法掲載  
 「中央制御装置（VG-C101DA）の要領と同様です。」と記載された項目は中央制御装置のプログラム登録（変更）マニュアルを参照願います。

### 目 次

頁

プログラムボードの準備 プログラム表とプログラムボードの関連	イニシャルセット（初期設定）の方法	79～81
プログラム設定の簡易操作説明（ <b>最初から変更登録</b> 、 <b>一部変更</b> 、 <b>確認</b> 方法）		82～84

プログラム番号	設定内容	頁
00	（設定不要）	-
01 R	1ペア / 2ペア接続方式設定	85
02	一斉放送有り / 無し設定	85
03	警報音停止有り / 無し設定	85
04 R	共同玄関子機1～8の接続系統番号設定	85
05 R	管理事務室親機1～8の接続系統番号設定	85
07	（設定不要）	86
08	管理事務室親機からの通信異常情報出力有り / 無し設定	86
09	共同玄関電気錠のセキュリティによる解錠有り / 無し設定	86
10	管理事務室親機からの共同玄関電気錠のワンタッチ解錠有り / 無し設定	86
11～18 R	系統別LC1～8の接続状態設定	87～88
19 R	各種同時接続本数設定	88
21～28 R	共同玄関子機1～8が属する棟番号設定	88
30	管理事務室親機グループ着信有り / 無し設定	89
31～38 R	管理事務室親機1～8が管理する棟番号設定	89
40	暗証番号2の種別設定	89
41～48	共同玄関子機1～8の電気錠暗証番号1、2設定	89
50	（設定不要）	89
51～58	共同玄関子機1～8の電気錠解錠時間帯1、2設定	89
60	年月日（日付の）設定	89
61	時分秒（時刻の）設定	89
63	監視カメラ映像最大接続時間設定	89
64	共用部通話最大接続時間設定	89
65	住戸間通話最大接続時間設定	89
66	ガス断線発報の有り / 無し設定	89
68	報知音鳴動時間帯設定	90
71～78	共同玄関子機1～8の電気錠解錠時間設定	90
80	（設定不要）	90
81 R	集住映像伝送アダプター1～8の接続系統番号設定	90
82	（設定不要）	90
83 R	監視カメラ1～8の連動指定設定	90
84 R	管理事務室親機1～8のモニター連動指定設定	90
90 R	OLCユニット実装 / 未実装設定	90
92 R	アダプター1～8の接続系統番号設定	90
管理事務室親機でのプログラム設定方法		91～92

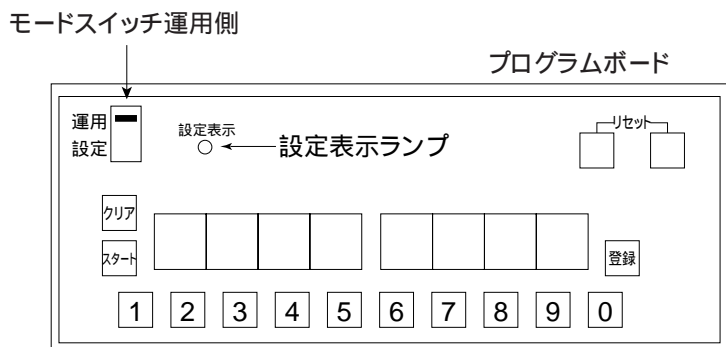
R：登録内容を変更後、プログラムボードのモードスイッチを運用側にした時点で制御装置の動作がリセットされる項目です。

# プログラムボードの準備

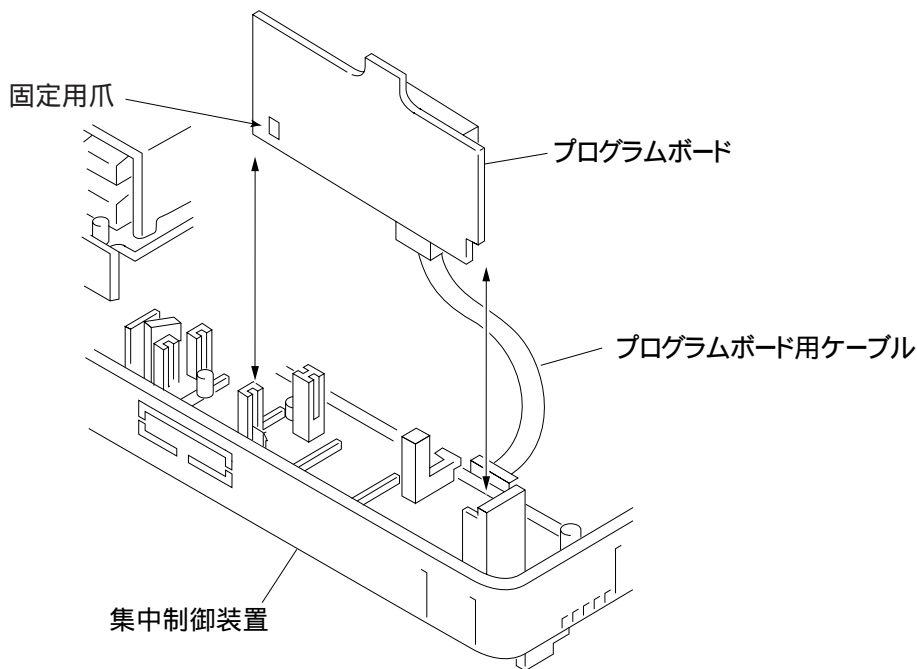
プログラムボードは、プログラム登録開始時、集中制御装置より取り出してください。  
終了後、集中制御装置に収納してください。

## お願い

プログラム設定終了後、プログラムボードのモードスイッチは、運用側にしてください。  
(設定表示ランプは、消灯)

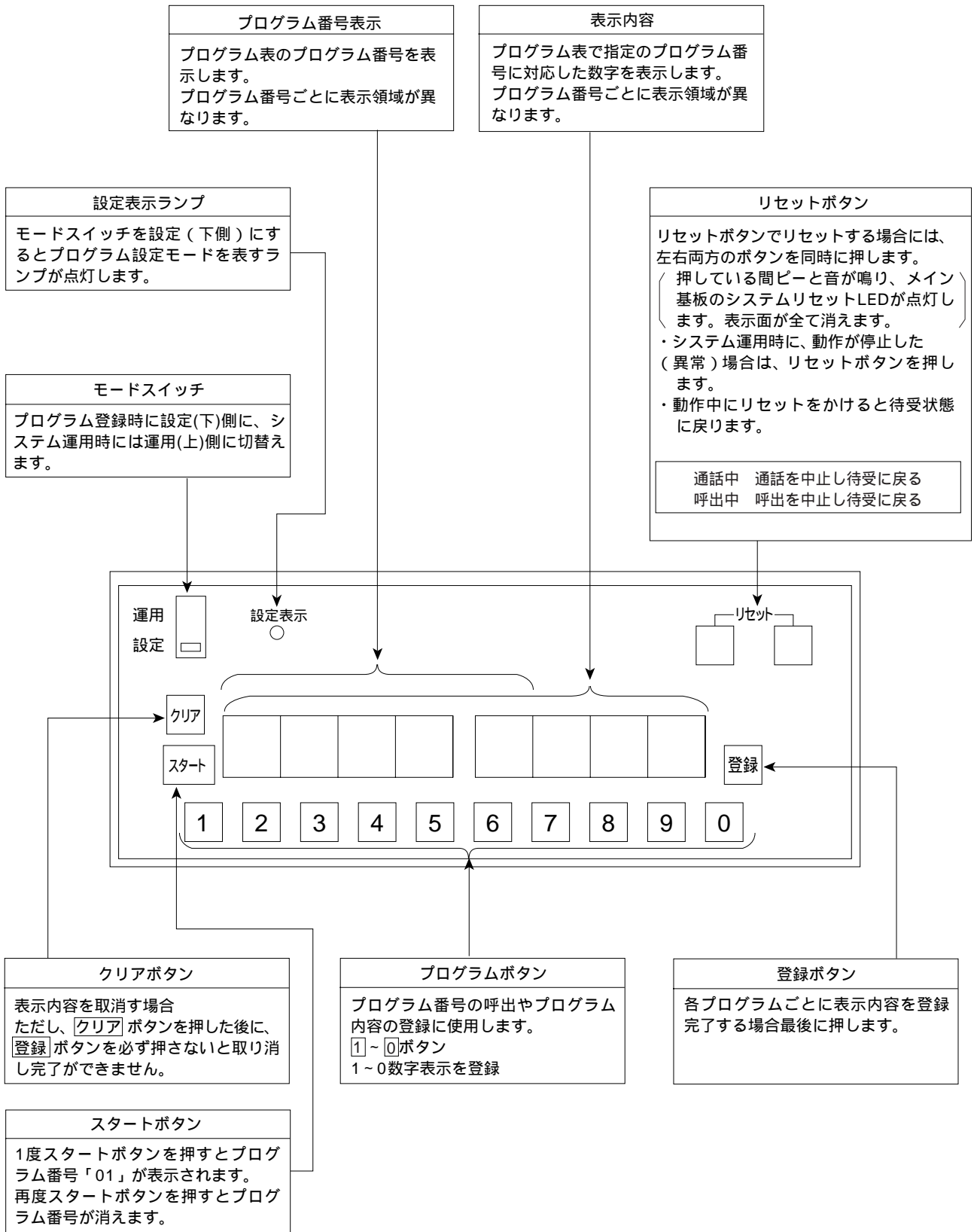


収納する場合は、固定用爪がひっかかるまで（プログラムボード用ケーブルを、はさまないように）上から押し込んでください。



# プログラム表とプログラムボードの関連

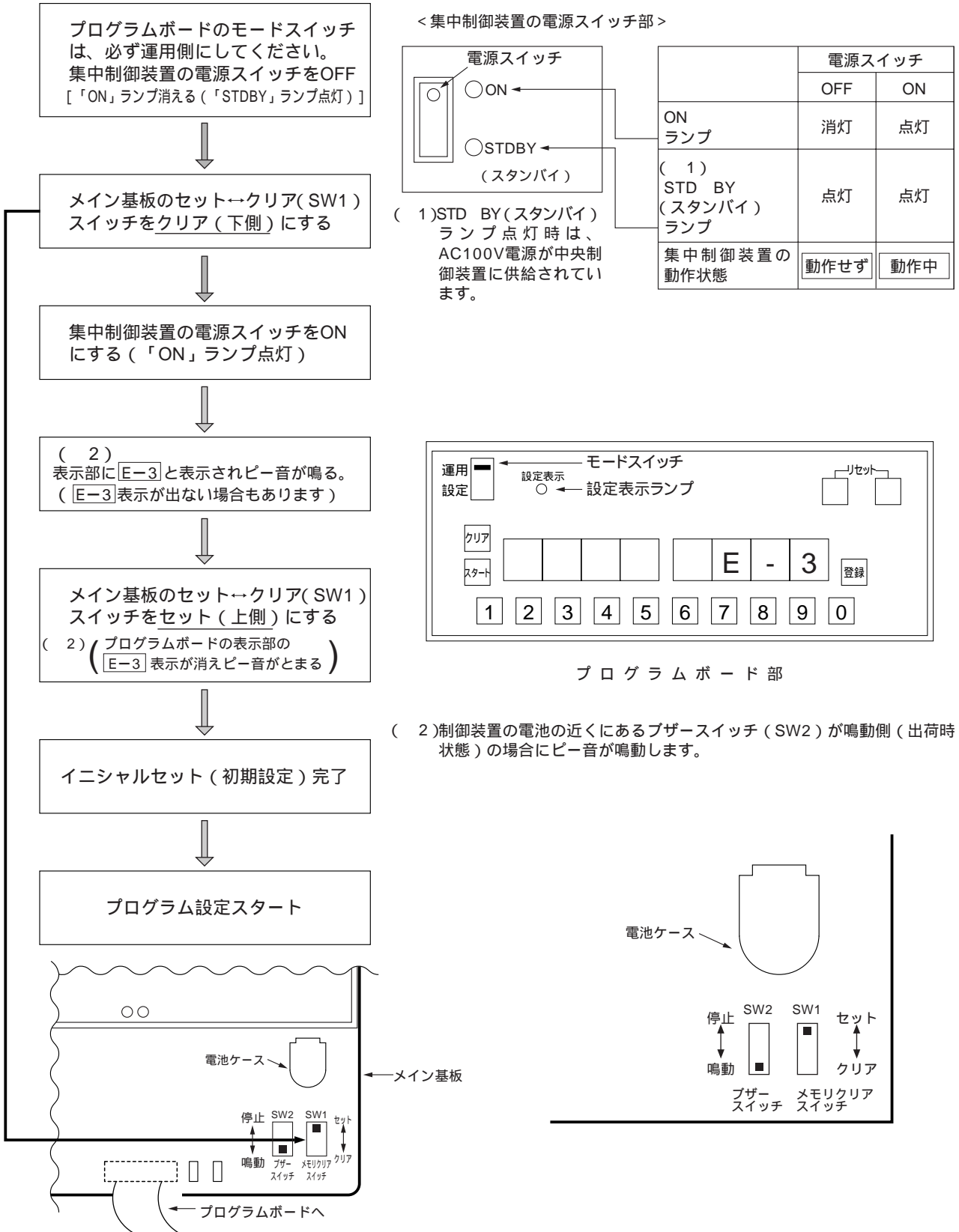
プログラム表とプログラムボードの関係およびプログラムボードの操作部の説明を下記に示します。



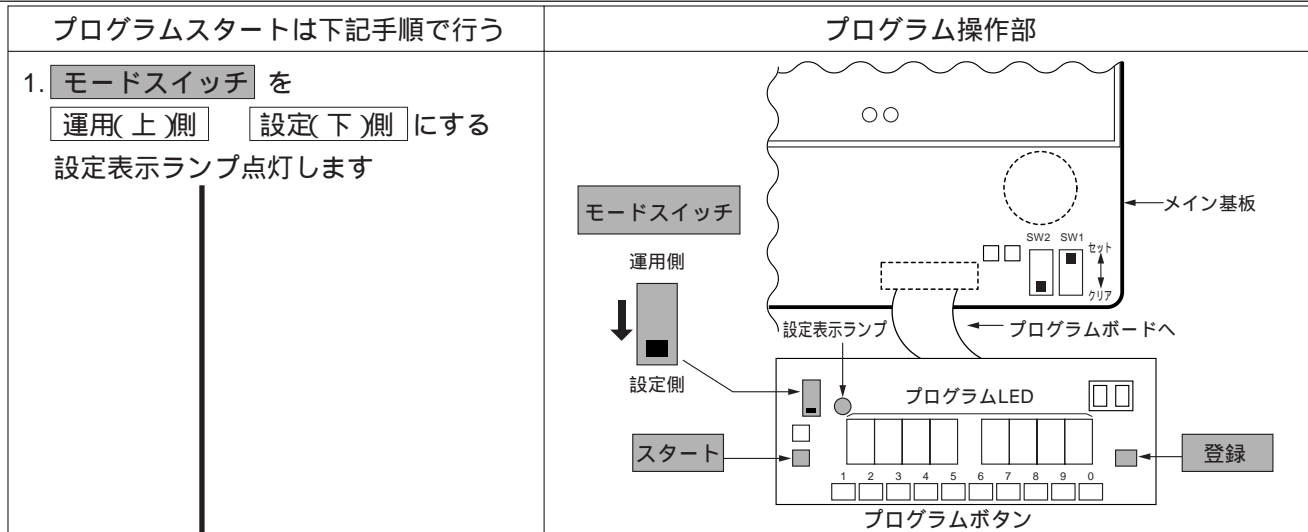


# イニシャルセット（初期設定）の方法...出荷時状態（初期値）

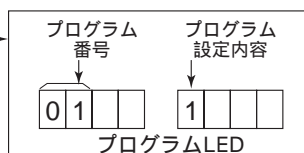
- (1) 作成したプログラムを登録完了後、または登録途中でこのイニシャルセットを実行すると登録した内容は消え全てイニシャルセット状態（工場出荷時）になります。
- (2) プログラム登録を行う前に必ずこのイニシャルセット手順を実行してください。  
イニシャルセットが不完全な場合、CPUが動作しませんのでご注意ください。
- (3) イニシャルセット後はプログラム番号90、01、11～18の設定を確認、または登録・変更してください。



# プログラムを 最初から変更登録 する場合



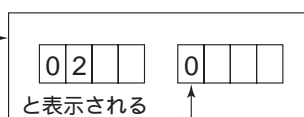
2. **スタート** ボタンを押す  
 最初のプログラム番号01が表示される(1ペア/2ペア接続方式設定)  
 (\* )



3. 必要ならばプログラム番号01の登録内容を変更する  
 85頁参照

4. **登録** ボタンを押す

- ・変更した内容が登録される
- ・次のプログラム番号02の表示(一斉放送有り/無し設定)
- ・プログラム設定内容を表示(\* )

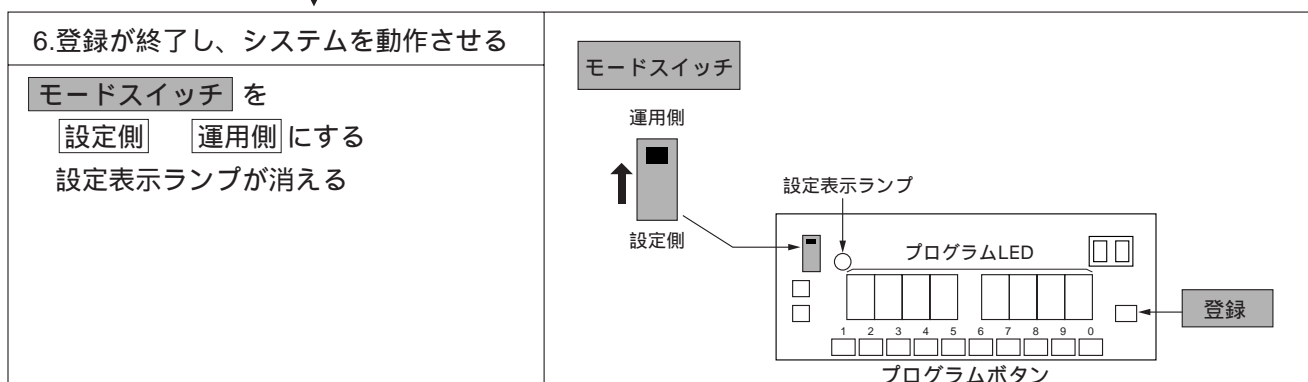


0の場合 [一斉放送無しの状態]

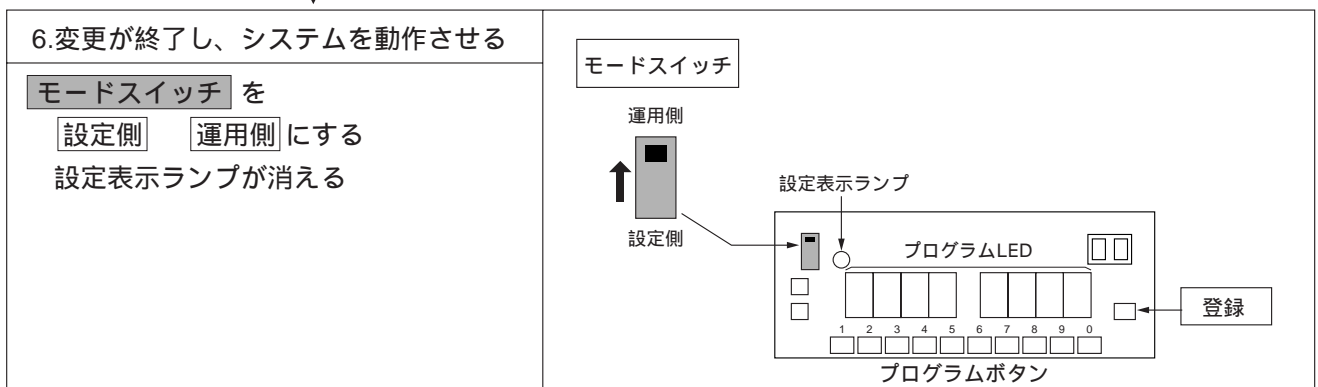
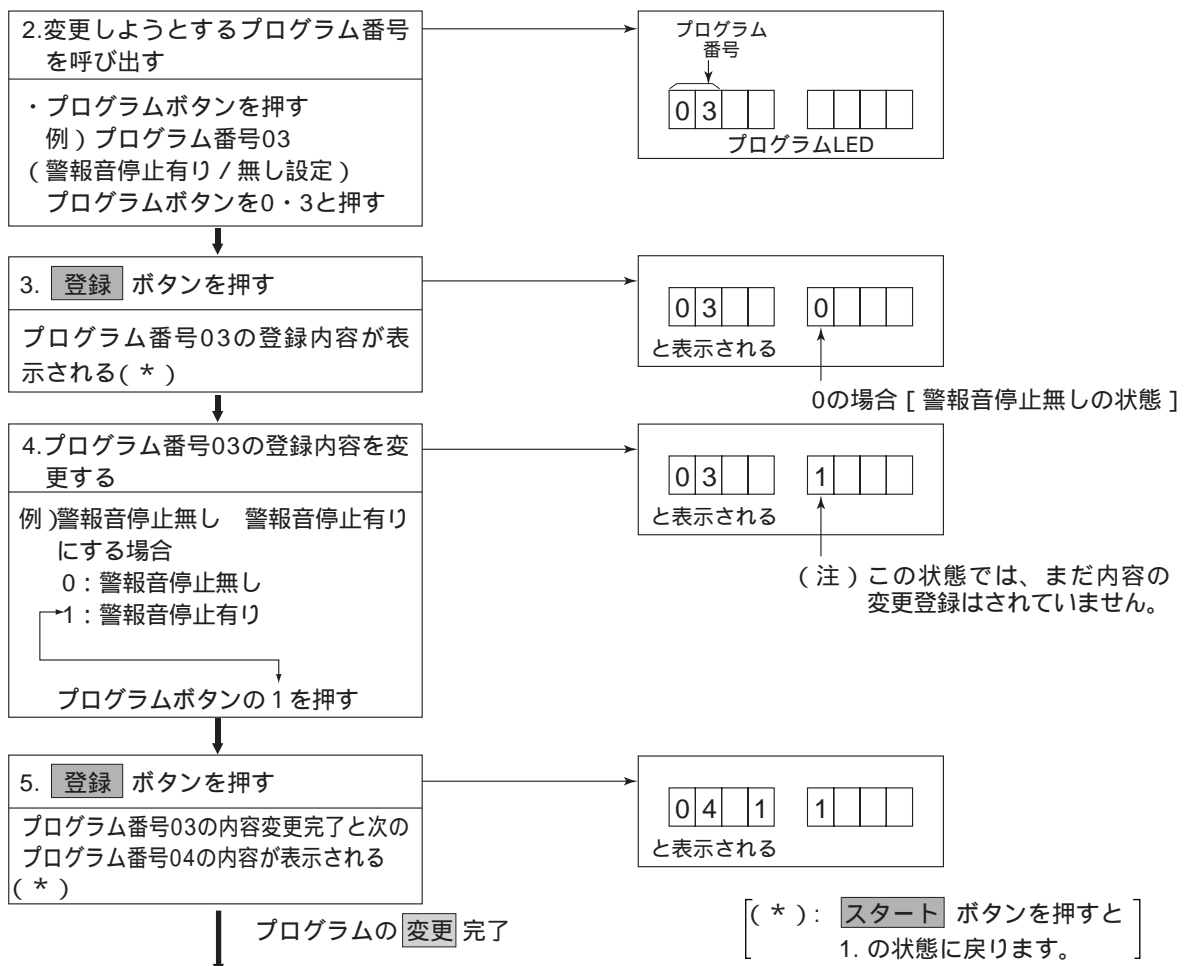
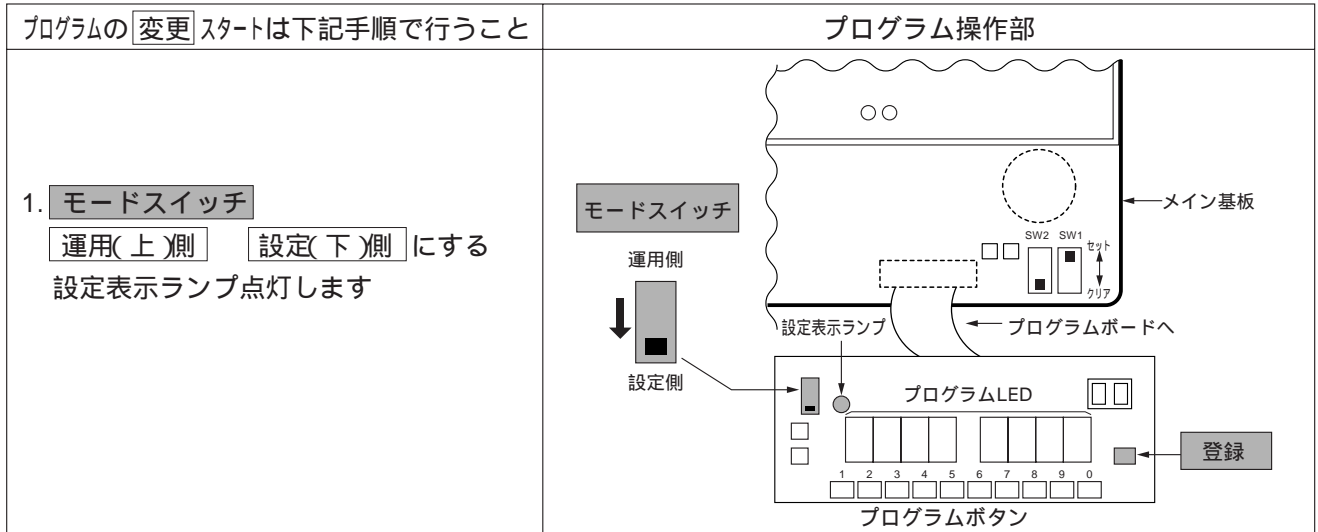
5. 必要ならばプログラム番号02の登録内容を変更する  
 85頁参照

[ (\* ) : **スタート** ボタンを押すと 1. の状態に戻ります。 ]

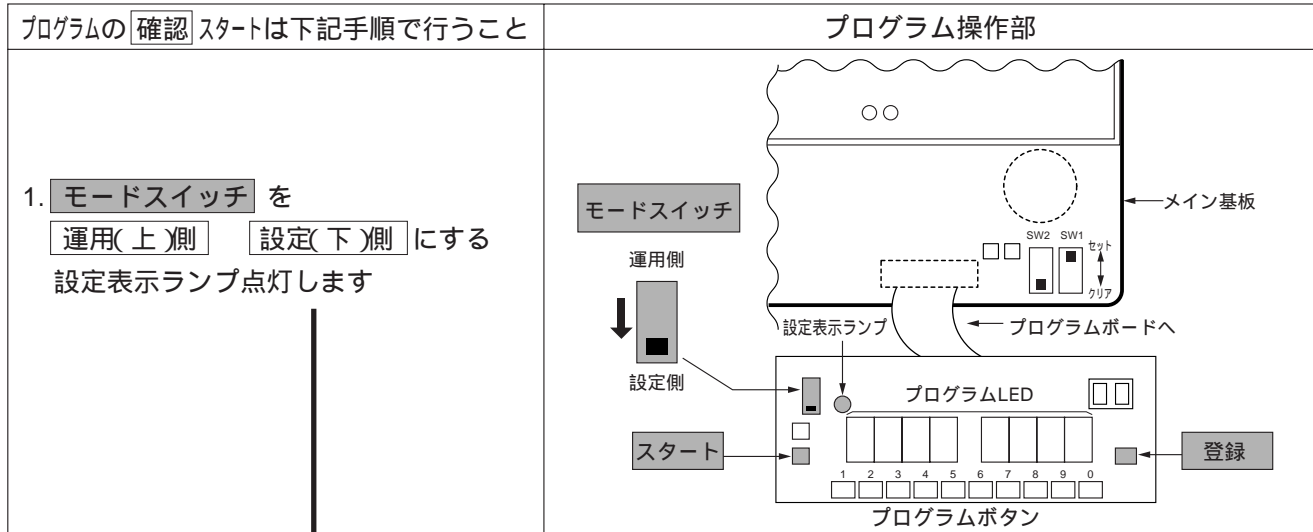
以下くり返す



# プログラムの登録内容を **一部変更** する場合

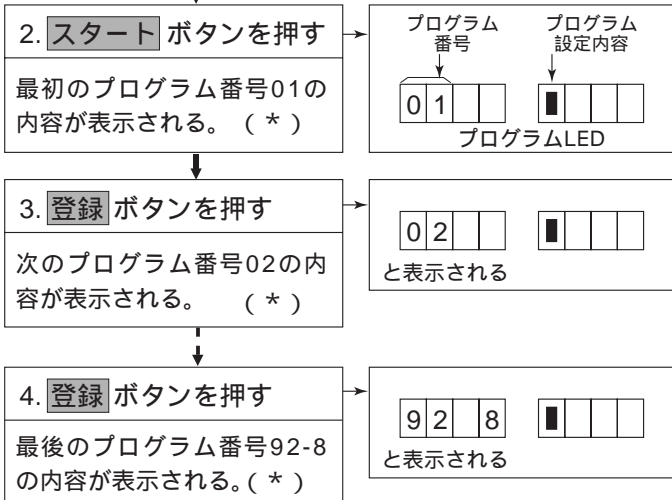


# プログラムの登録内容を **確認** する場合

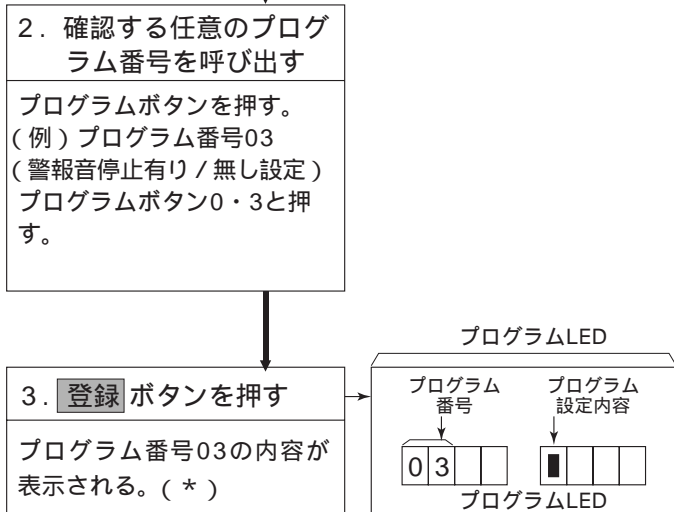


1. **モードスイッチ** を **運用(上)側** **設定(下)側** にする  
設定表示ランプ点灯します

## 最初のプログラム番号01から **確認** する場合



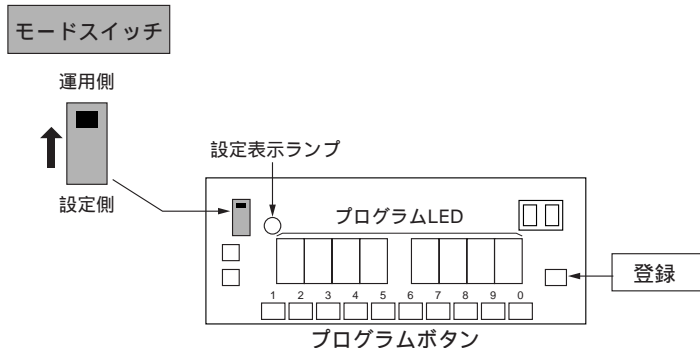
## 任意のプログラム番号を **確認** する場合



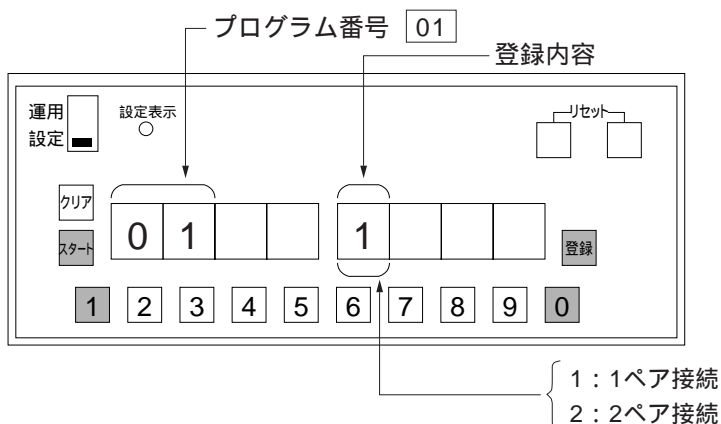
〔(\*)〕: **スタート** ボタンを押すと  
1.の状態に戻ります。

## 6.確認が終了し、システムを動作させる

- モードスイッチ** を **設定側** **運用側** にする  
設定表示ランプが消える



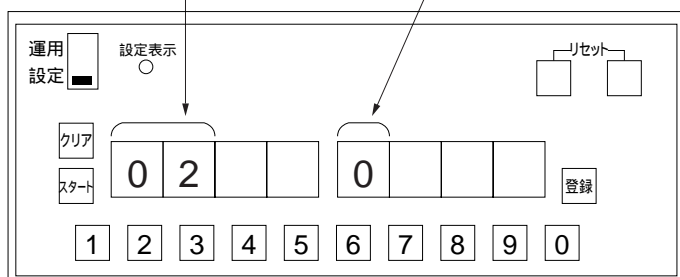
## 1ペア / 2ペア接続方式設定 (プログラム番号 01 )



- (a)
- ・モードスイッチを設定(下)側にし、スタートボタンを押す。
  - または
  - ・モードスイッチを設定(下)側にし、プログラムボタン“0”と“1”と“登録”を順に押す。

- (b) 変更はプログラムボタン“2”または“0”を押す。  
 (c) “登録”を押すと変更登録が行われ、次のプログラム番号 02 と登録内容が表示されます。

変更しない場合は、“登録”のみ押す。



## 一斉放送有り / 無し設定 (プログラム番号 02 )

その他中央制御装置 (VG-C101DA) の要領と同様です。

- (a)
- ・前の「1ペア / 2ペア接続方式設定」後、または
  - ・モードスイッチを設定(下)側にし、プログラムボタン“0”と“2”と“登録”を順に押す。

## 警報音停止有り / 無し設定 (プログラム番号 03 )

中央制御装置 (VG-C101DA) の要領と同様です。

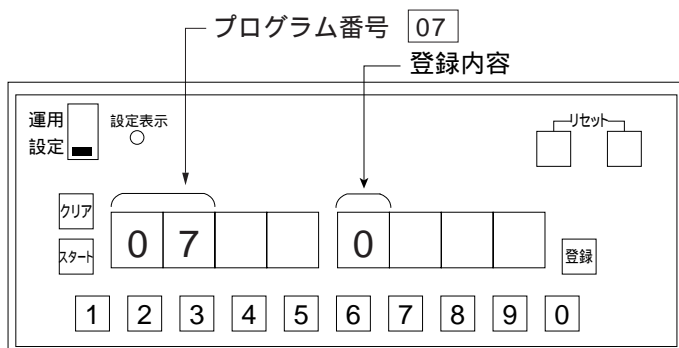
## 共同玄関子機 1 ~ 8 の接続系統番号設定 (プログラム番号 04<sup>-1</sup> ~ 04<sup>-8</sup>)

中央制御装置 (VG-C101DA) の要領と同様です。

## 管理事務室親機 1 ~ 8 の接続系統番号設定 (プログラム番号 05<sup>-1</sup> ~ 05<sup>-8</sup>)

中央制御装置 (VG-C101DA) の要領と同様です。

## 設定不要（プログラム番号 07）



### お願い

- ・設定不要です。〔プログラム番号 07 ...0の状態のままお使いください〕
- ・設定しますと、誤動作の原因になります。

プログラム番号 07 の次はプログラム番号 08 となります。

## 管理事務室親機からの通信異常情報出力有り / 無し設定 （プログラム番号 08）

その他中央制御装置（VG-C101DA）の要領と同様です。

- ①
- ・前の「設定不要（プログラム番号 07）」後、または
  - ・モードスイッチを設定（下）側にし、プログラムボタン“0”と“8”と“登録”を順に押す。

## 共同玄関電気錠のセキュリティによる解錠有り / 無し設定（プログラム番号 09）

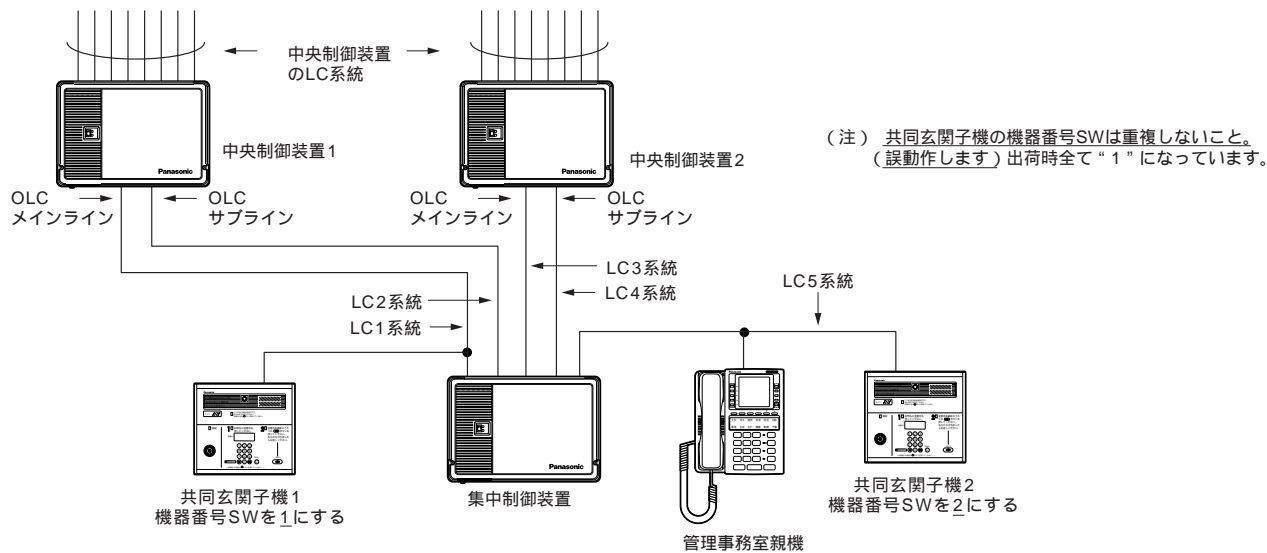
中央制御装置（VG-C101DA）の要領と同様です。

## 管理事務室親機からの共同玄関電気錠のワンタッチ解錠有り / 無し設定 （プログラム番号 10）

中央制御装置（VG-C101DA）の要領と同様です。

# 系統別LC1～8の接続状態設定(プログラム番号 11～18)

(例)中央制御装置と2ペア接続の場合



プログラム表

プログラム番号	対象	初期値	接続状態を記入する1桁(0,1)	確認チェック欄
		11	LC1系統の接続状態	0
12	LC2系統の接続状態	0		
13	LC3系統の接続状態	空白	1	
14	LC4系統の接続状態	空白		
15	LC5系統の接続状態	空白	0	
16	LC6系統の接続状態	空白		
17	LC7系統の接続状態	空白		
18	LC8系統の接続状態	空白		

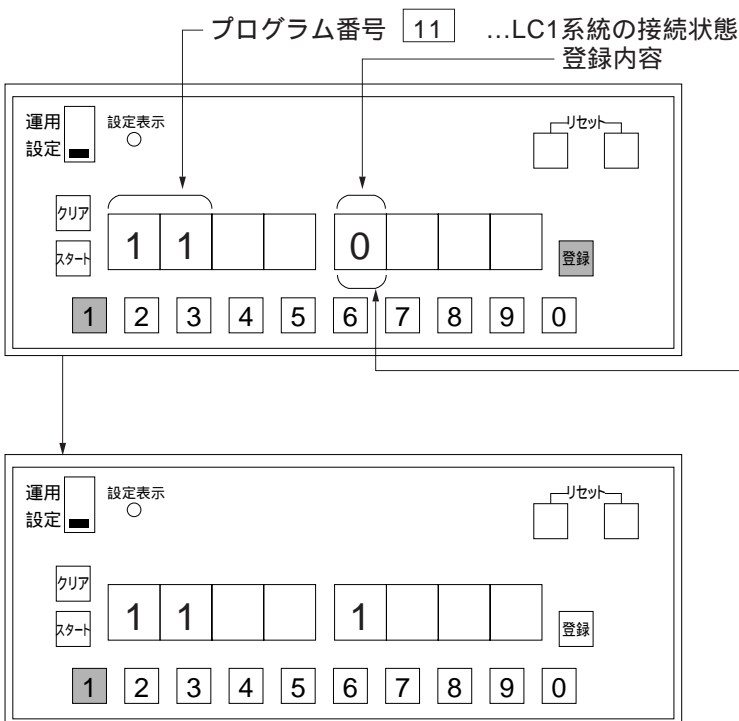
1桁

0: 共用部のみ接続

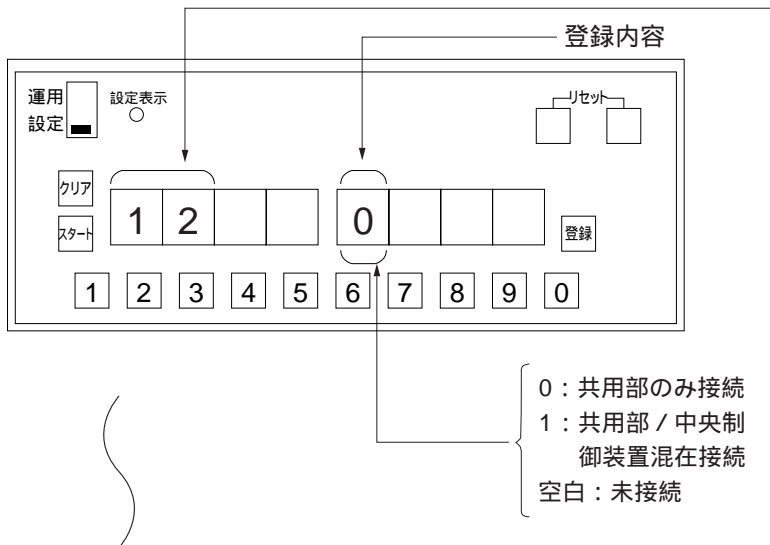
1: 共用部/中央制御装置混在接続

空白: 未実装時、または未接続

2ペア接続の場合は偶数系統の設定は不要です。

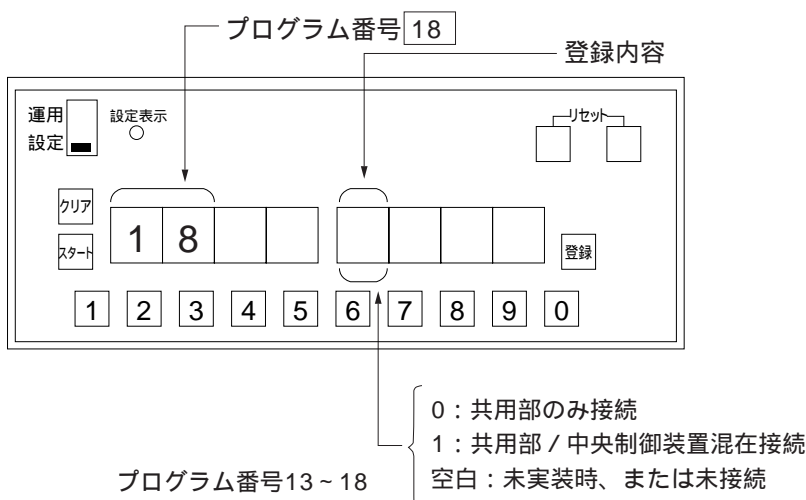


- ・前の「管理事務室親機からの共同玄関電気錠のワンタッチ解錠有り/無し設定」後、
  - (a) または
  - ・モードスイッチを設定(下)側にし、プログラムボタン“1”と“1”と“登録”を押す。
- 0: 共用部のみ接続
  - 1: 共用部/中央制御装置混在接続
- プログラム番号[11]は未設定(空白)にはできません。
- (b) 中央制御装置を接続したい場合は、プログラムボタン“1”で接続します。



③ “登録”を押すと登録が行われ次のプログラム番号12 (LC2系統の接続状態)が表示されます。

以下プログラム番号13 ~ 18まで繰り返します。



プログラム番号18の次はプログラム番号19<sup>-1</sup>となります。

### 各種同時接続本数設定 (プログラム番号 19<sup>-1</sup> ~ 19<sup>-3</sup>)

通常は初期値のままお使いください。

その他中央制御装置 (VG-C101DA) の要領と同様です。

- ①
- ・前の「系統別LC8の接続状態設定」後、または
  - ・モードスイッチを設定(下)側にし、プログラムボタン“1”と“9”と“登録”を順に押す。

プログラム番号19<sup>-3</sup>の次はプログラム番号21となります。

### 共同玄関子機1 ~ 8が属する棟番号設定 (プログラム番号 21 ~ 28)

その他中央制御装置 (VG-C101DA) の要領と同様です。

- ①
- ・前の「映像なし通話同時接続本数設定」後、または
  - ・モードスイッチを設定(下)側にし、プログラムボタン“2”と“1”と“登録”を押す。(プログラム番号21を呼び出す。)



管理事務室親機グループ着信有り / 無し設定 (プログラム番号  )

中央制御装置 (VG-C101DA) の要領と同様です。

管理事務室親機1 ~ 8が管理する棟番号設定 (プログラム番号  ~  )

中央制御装置 (VG-C101DA) の要領と同様です。

暗証番号2の種別設定 (プログラム番号  )

中央制御装置 (VG-C101DA) の要領と同様です。

共同玄関子機1 ~ 8の電気錠暗証番号1、2設定 (プログラム番号  <sub>-1</sub>  ~  <sub>-1</sub>  )

中央制御装置 (VG-C101DA) の要領と同様です。

設定不要 (プログラム番号  )

中央制御装置 (VG-C101DA) の要領と同様です。

共同玄関子機1 ~ 8の電気錠解錠時間帯1.2設定 (プログラム番号  <sub>-1</sub>  ~  <sub>-1</sub>  )

中央制御装置 (VG-C101DA) の要領と同様です。

年月日 (日付の) 設定、時分秒 (時刻の) 設定 (プログラム番号   )

中央制御装置 (VG-C101DA) の要領と同様です。

監視カメラ映像最大接続時間設定 (プログラム番号  )

中央制御装置 (VG-C101DA) の要領と同様です。

共用部通話最大接続時間設定 (プログラム番号  )

中央制御装置 (VG-C101DA) の要領と同様です。

住戸間通話最大接続時間設定 (プログラム番号  )

中央制御装置 (VG-C101DA) の要領と同様です。

ガス断線発報の有り / 無し設定 (プログラム番号  )

中央制御装置 (VG-C101DA) の要領と同様です。

## 報知音鳴動時間帯設定 (プログラム番号 68 )

その他中央制御装置 (VG-C101DA) の要領と同様です。

- ①
- ・前の「ガス断線発報の有り/無し設定」後、  
または
  - ・モードスイッチを設定 (下) 側にし、プログラムボタンを“6” “8” “登録” と押す。

## 共同玄関子機 1 ~ 8 の電気錠解錠時間設定 (プログラム番号 71 ~ 78 )

その他中央制御装置 (VG-C101DA) の要領と同様です。

- ①
- ・前の「報知音鳴動時間帯設定」後、  
または
  - ・モードスイッチを設定 (下) 側にし、プログラムボタンを“7” と“1” と“登録” との順番に押す。

## 設定不要 (プログラム番号 80 )

中央制御装置 (VG-C101DA) の要領と同様です。

## 集住映像伝送アダプター 1 ~ 8 の接続系統番号設定 (プログラム番号 81<sup>-1</sup> ~ 81<sup>-8</sup>)

中央制御装置 (VG-C101DA) の要領と同様です。

## 設定不要 (プログラム番号 82<sup>-1</sup> ~ 82<sup>-8</sup>)

中央制御装置 (VG-C101DA) の要領と同様です。

## 監視カメラ 1 ~ 8 の連動指定設定 (プログラム番号 83<sup>-1</sup> ~ 83<sup>-8</sup>)

中央制御装置 (VG-C101DA) の要領と同様です。

## 管理事務室親機 1 ~ 8 のモニター連動指定設定 (プログラム番号 84<sup>-1</sup> ~ 84<sup>-8</sup>)

中央制御装置 (VG-C101DA) の要領と同様です。

## OLCユニット実装/未実装設定 (プログラム番号 90 )

中央制御装置 (VG-C101DA) の要領と同様です。

## アダプター 1 ~ 8 の接続系統番号設定 (プログラム番号 92<sup>-1</sup> ~ 92<sup>-8</sup>)

その他中央制御装置 (VG-C101DA) の要領と同様です。

- ①
- ・前の「OLCユニット実装/未実装設定」後、  
または
  - ・モードスイッチを設定 (下) 側にし、プログラムボタン“9” “2” “登録” を順に押す。

プログラム番号 92<sup>-8</sup> の次はプログラム番号 01 に戻ります。



プログラム番号	設定内容		初期値	備考
57	1	共同玄関7の電気錠解錠時間帯1	【空白】未設定	同上 備考) 住戸用、業務用はプログラム番号 40で指定する
	2	" 2	【空白】未設定	
58	1	共同玄関8の電気錠解錠時間帯1	【空白】未設定	
	2	" 2	【空白】未設定	
60	年月日設定		【010101】01年1月1日	【YYMMDD】YY年MM月DD日
61	時分秒設定		【000000】0時0分0秒	【HHMMSS】HH時MM分SS秒
64	共用部通話最大接続時間		【03】3分	【01～10】分単位
65	住戸間通話最大接続時間		【01】1分	【01～10】分単位
68	報知音鳴動時間帯		【0700-1900】 7時0分-19時0分	【0000～2359】-[0000～2359]鳴動時間帯 【空白】鳴動無し
71	共同玄関1の電気錠解錠時間		【15】15秒	【01～60】秒単位
72	" 2	"	【15】15秒	
73	" 3	"	【15】15秒	
74	" 4	"	【15】15秒	
75	" 5	"	【15】15秒	
76	" 6	"	【15】15秒	
77	" 7	"	【15】15秒	
78	" 8	"	【15】15秒	

松下電器産業株式会社

松下通信工業株式会社 セキュリティ&セーフティ事業部

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地 ☎(045)932-1231(大代表)

AA0801-0

C8QA5788AN